

法学部に在籍する学生に対する法曹志望に関するアンケート調査結果

法務省
文部科学省

1. 目的・趣旨

法学部(法学系課程を含む。以下「法学部」という。)に在籍する学生を対象に志望動向等に関する意識調査を実施し、調査を通じて得たデータを収集・分析することによって、法曹志望者の減少に関する要因等を把握し、今後の施策の検討に活用することを目的とする。

2. 調査方法等

(1) 調査方法

ウェブアンケート

(2) 調査実施期間

令和3年度調査: 令和3年12月1日(水)～令和4年1月21日(金)

(3) 対象範囲

下記大学の法学部に在籍する学生

(4) 対象大学・回答数等(平成29年度以降の各調査を含む)

平成29年度調査から令和元年度調査は、調査翌年度以降、学生の募集を継続する法科大学院を設置する大学のうち法学部を設置している大学が対象

令和3年度調査は、令和3年度以降、入学者の募集を継続する法科大学院を設置する大学及び令和3年度(10月25日時点)において連携法曹基礎課程(法曹コース)を置く大学が対象

(5) 記述統計

記述統計については、学生回答者全体(以下「全学生」という。)を示したものと別に、女性の回答者を抽出したもの(以下「女性」という。)も示している。

	連携 協定	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和3年度		
		対象 者数	回答数	回答率	対象 者数	回答数	回答率	対象 者数	回答数	回答率	対象 者数	回答数	回答率
北海道大学		879	142	16.2%	879	82	9.3%	672	73	10.9%	902	143	15.9%
東北大学		734	87	11.9%	734	66	9.0%	714	108	15.1%	702	159	22.6%
筑波大学		253	10	4.0%	253	36	14.2%	211	6	2.8%	49	6	12.2%
千葉大学		852	105	12.3%	852	159	18.7%	817	145	17.7%	829	87	10.5%
東京大学		1,799	458	25.5%	1799	278	15.5%	1795	237	13.2%	1,803	247	13.7%
一橋大学		796	158	19.8%	796	97	12.2%	772	69	8.9%	758	119	15.7%
新潟大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	787	136	17.3%
金沢大学		725	249	34.3%	725	226	31.2%	731	314	43.0%	717	158	22.0%
信州大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	345	50	14.5%
名古屋大学		680	94	13.8%	680	40	5.9%	694	74	10.7%	683	54	7.9%
京都大学		1,506	292	19.4%	1506	235	15.6%	1459	198	13.6%	1,455	57	3.9%
大阪大学		1,089	80	7.3%	707	66	9.3%	1077	120	11.1%	1,084	146	13.5%
神戸大学		814	88	10.8%	814	130	16.0%	825	89	10.8%	822	30	3.6%
岡山大学		984	380	38.6%	984	208	21.1%	964	270	28.0%	991	121	12.2%
広島大学		815	201	24.7%	815	159	19.5%	795	232	29.2%	771	184	23.9%
九州大学		854	69	8.1%	854	60	7.0%	834	82	9.8%	815	59	7.2%
熊本大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	900	73	8.1%
鹿児島大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,795	44	2.5%
琉球大学		240	68	28.3%	240	35	14.6%	246	32	13.0%	322	9	2.8%
東京都立大学		868	101	11.6%	868	91	10.5%	867	35	4.0%	862	64	7.4%
大阪市立大学		707	44	6.2%	1089	27	2.5%	716	70	9.8%	702	57	8.1%
北海学園大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,938	172	8.9%
学習院大学		2,095	161	7.7%	2095	89	4.2%	2058	114	5.5%	1,985	190	9.6%
慶應義塾大学		5,284	68	1.3%	5284	34	0.6%	5148	118	2.3%	5,252	308	5.9%
駒澤大学		3,009	165	5.5%	3009	114	3.8%	2988	101	3.4%	2,833	133	4.7%
上智大学		1,452	44	3.0%	1452	289	19.9%	1424	242	17.0%	1,413	194	13.7%
専修大学		3,452	45	1.3%	3452	66	1.9%	3190	1	0.0%	3,025	100	3.3%

創価大学		1,162	109	9.4%	1162	328	28.2%	1096	406	37.0%	1,084	138	12.7%
中央大学		6,041	560	9.3%	6041	611	10.1%	5818	523	9.0%	5,794	128	2.2%
日本大学		6,763	1,166	17.2%	6763	464	6.9%	6864	442	6.4%	7,326	1,151	15.7%
法政大学		3,835	378	9.9%	3835	220	5.7%	3728	315	8.4%	3,431	197	5.7%
明治大学		3,766	149	4.0%	3766	141	3.7%	3662	79	2.2%	3,691	170	4.6%
明治学院大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,557	381	14.9%
立教大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,423	156	6.4%
早稲田大学		3,460	353	10.2%	3460	430	12.4%	3062	276	9.0%	3,152	198	6.3%
愛知大学		1,524	276	18.1%	1524	286	18.8%	1466	2	0.1%	1,475	52	3.5%
南山大学		1,269	180	14.2%	1269	207	16.3%	1164	188	16.2%	1,116	225	20.2%
同志社大学		3,472	168	4.8%	3472	211	6.1%	3700	95	2.6%	2,604	168	6.5%
立命館大学		3,469	625	18.0%	3469	595	17.2%	3024	537	17.8%	2,920	150	5.1%
関西大学		3,269	33	1.0%	3269	36	1.1%	3109	23	0.7%	2,943	196	6.7%
近畿大学		2,834	1,156	40.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西学院大学		2,938	367	12.5%	2938	323	11.0%	2888	32	1.1%	2,800	213	7.6%
甲南大学		1,674	55	3.3%	1674	34	2.0%	-	-	-	-	-	-
西南学院大学	○	1,721	554	32.2%	-	-	-	-	-	-	1,727	87	5.0%
福岡大学		2,717	420	15.5%	2717	266	9.8%	2654	166	6.3%	2,555	201	7.9%
計	8	79,801	9,658	12.1%	75,246	6,739	9.0%	71,232	5,814	8.2%	82,138	6,911	8.4%

目次

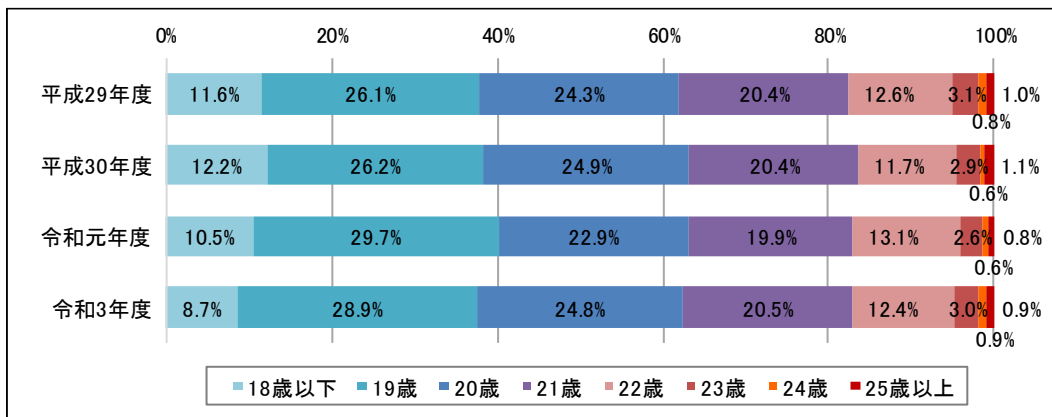
第1 回答者の属性.....	1
1. 年齢.....	1
2. 性別.....	1
3. 在籍学年.....	2
第2 法学部選択理由.....	3
第3 進路選択.....	5
1. 法曹等志望の有無.....	5
2. 過去の法曹等志望の有無.....	6
3. 将来の職業志望(第一志望).....	7
4. 職業選択に当たり重視すること.....	10
第4 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹等の魅力等.....	16
1. 法曹等を志望した時期.....	16
2. 法曹等を志望したきっかけ.....	18
3. 法曹等の魅力.....	23
4. 法曹等としての進路.....	27
第5 法曹等を志望するに当たっての不安や迷い、法曹等を断念した理由等.....	29
1. 法曹等を志望するに当たっての不安や迷いの有無.....	29
2. 法曹等を志望するに当たって感じている不安や迷いの内容.....	30
3. 不安や迷いを軽減、払拭するためにあったらよいと思うもの.....	35
4. 法曹等を断念した(選択肢から外した)理由.....	36
5. 法曹等を志望しない(選択肢の1つとしても考えない)理由.....	41
6. 法曹等に魅力を感じない理由.....	44
第6 法曹コース(連携法曹基礎課程)・法科大学院への進学希望の有無等.....	47
1. 法曹コースの認知度.....	47
2. 法曹コースへの進学希望.....	48
3. 法曹コースへの進学希望.....	49
4. 法曹コースを希望しない理由.....	51
5. 法科大学院への進学予定.....	52
6. 法科大学院選択の際に重視するもの.....	56
7. 予備試験受験予定.....	60
8. 予備試験受験理由.....	61
9. 予備試験に合格した場合の法科大学院進学予定.....	65
10. 予備試験に合格しなかった場合の法科大学院進学予定.....	67
11. 司法試験予備校の利用の有無.....	69
第7 法曹等の活動領域拡大についての認知度・関心.....	71
1. 法曹等の活動領域拡大についての認知度.....	71
2. 拡大領域への関心の有無.....	73
3. 具体的な関心分野.....	74

第1 回答者の属性

回答者の性別については、女性の割合が増加傾向にあり、令和3年度調査では男女はほぼ同数となっている。

また、回答者の在籍学年については、1・2年次がおよそ60%を占めている。

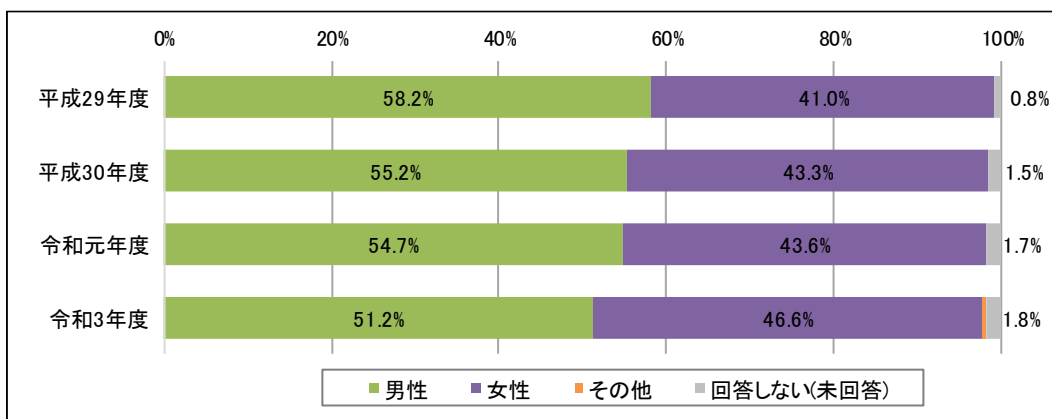
1. 年齢



SA	選択肢	18歳以下	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳以上	回答者数
平成29年度	回答数	1,122	2,520	2,345	1,972	1,219	304	77	99	9,658
	割合	11.6%	26.1%	24.3%	20.4%	12.6%	3.1%	0.8%	1.0%	100.0%
平成30年度	回答数	821	1,764	1,676	1,376	789	198	40	75	6,739
	割合	12.2%	26.2%	24.9%	20.4%	11.7%	2.9%	0.6%	1.1%	100.0%
令和元年度	回答数	608	1,726	1,332	1,156	759	151	36	46	5,814
	割合	10.5%	29.7%	22.9%	19.9%	13.1%	2.6%	0.6%	0.8%	100.0%
令和3年度	回答数	600	1,994	1,713	1,419	854	207	62	62	6,911
	割合	8.7%	28.9%	24.8%	20.5%	12.4%	3.0%	0.9%	0.9%	100.0%

※平成30年度調査までは9月末日現在、令和元年度調査以降は10月末日現在の年齢

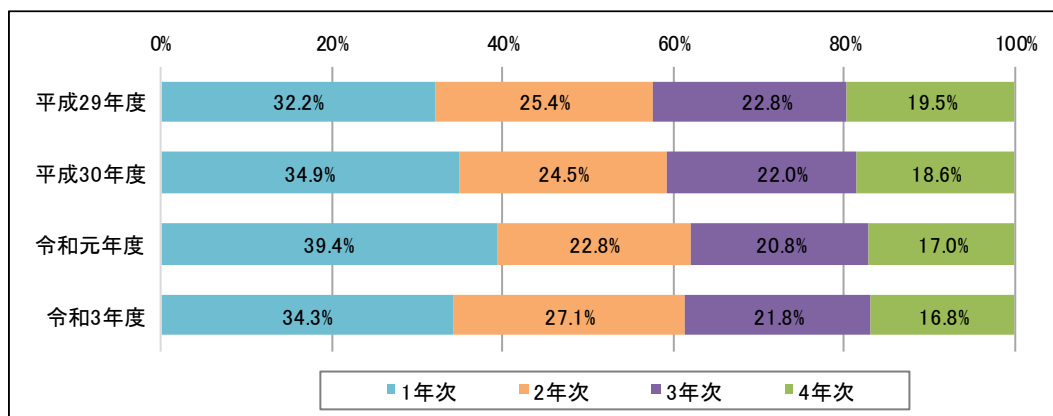
2. 性別



SA	選択肢	男性	女性	その他	回答しない(未回答)	回答者数
平成29年度	回答数	5,625	3,957	-	76	9,658
	割合	58.2%	41.0%	-	0.8%	100.0%
平成30年度	回答数	3,720	2,919	-	100	6,739
	割合	55.2%	43.3%	-	1.5%	100.0%
令和元年度	回答数	3,180	2,533	-	101	5,814
	割合	54.7%	43.6%	-	1.7%	100.0%
令和3年度	回答数	3,536	3,218	32	125	6,911
	割合	51.2%	46.6%	0.5%	1.8%	100.0%

※令和3年度調査から、選択肢に「その他」及び「回答しない」を追加

3. 在籍学年



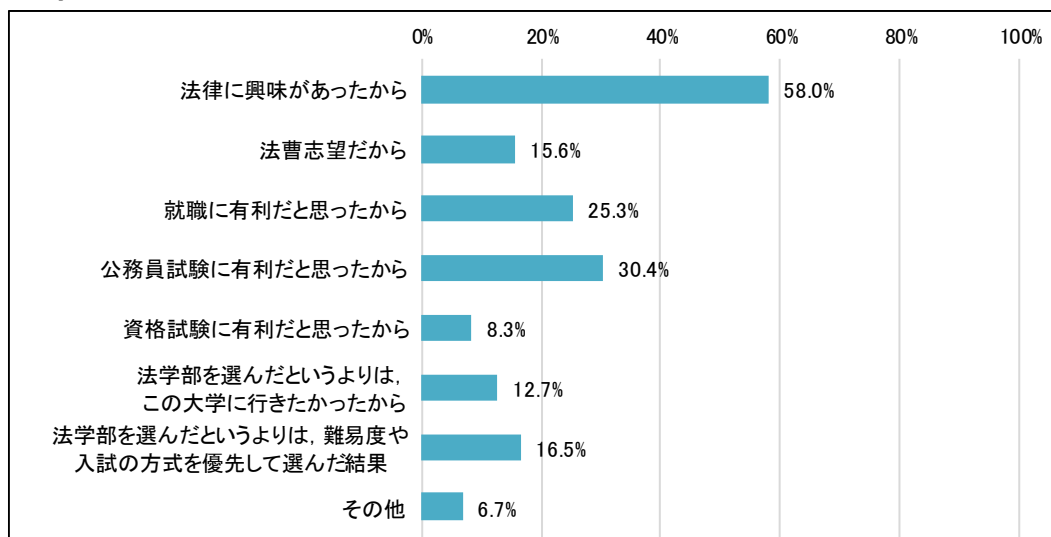
SA	選択肢	1年次	2年次	3年次	4年次	回答者数
平成29年度	回答数	3,114	2,451	2,205	1,888	9,658
	割合	32.2%	25.4%	22.8%	19.5%	100.0%
平成30年度	回答数	2,353	1,650	1,485	1,251	6,739
	割合	34.9%	24.5%	22.0%	18.6%	100.0%
令和元年度	回答数	2,288	1,328	1,211	987	5,814
	割合	39.4%	22.8%	20.8%	17.0%	100.0%
令和3年度	回答数	2,373	1,873	1,504	1,161	6,911
	割合	34.3%	27.1%	21.8%	16.8%	100.0%

第2 法学部選択理由

大学進学の際、法学部(法学系課程を含む)を選んだ理由を尋ねた結果、「法律に興味があったから」との回答割合が58%と最も多く、次いで「公務員試験に有利だと思ったから」(約30%)、「就職に有利だと思ったから」(約25%)となった。女性に限って見た場合も、各選択肢の回答割合は全体とほぼ同様であった。

なお、「その他」として、令和3年度調査では、「興味のある授業・コース・学科等があったから((国際)政治学・社会学・公共政策等/メディア・ジャーナリズム等)」、「法律を学ぶことは有用だと思ったから」、「将来の選択肢が多そうだったから(潰しが効くと思ったから)」、「家族や教師等、周りの人に勧められたから」、「推薦等入試方式の結果・滑り止め等入試の結果」などの回答があった。

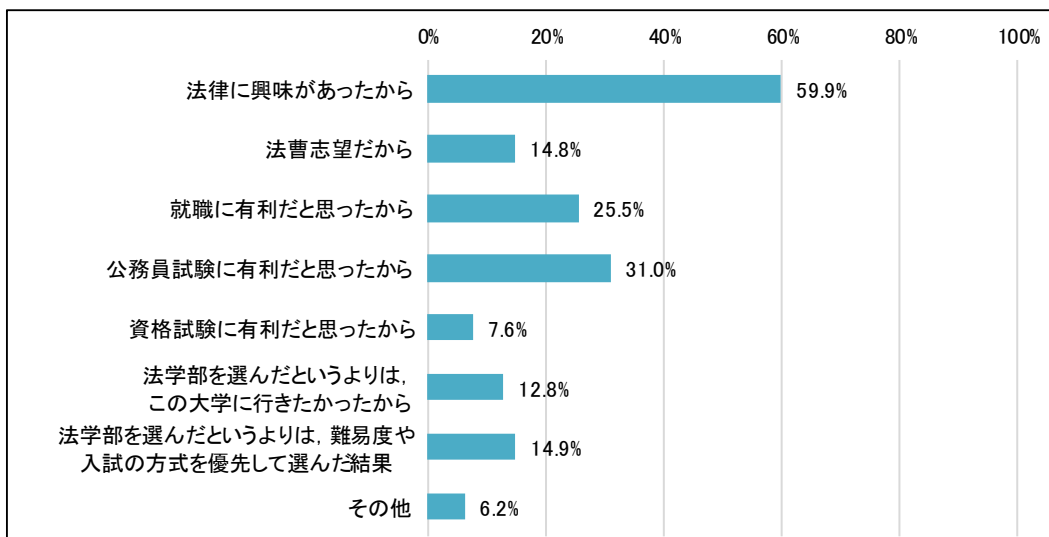
ア 全学生



MA	選択肢	法律に興味があったから	法曹志望だから	就職に有利だと思ったから	公務員試験に有利だと思ったから	資格試験に有利だと思ったから	法学部を選んだというよりは、この大学に行きたかったから	法学部を選んだというよりは、難易度や入試の方式を優先して選んだ結果	その他	回答者数
令和3年度	回答数	4,011	1,079	1,748	2,100	575	876	1,142	466	6,911
	割合	58.0%	15.6%	25.3%	30.4%	8.3%	12.7%	16.5%	6.7%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

イ 女性



MA	選択肢	法律に興味があったから	法曹志望だから	就職に有利だと思ったから	公務員試験に有利だと思ったから	資格試験に有利だと思ったから	法学部を選んだというよりは、この大学に行きたかったから	法学部を選んだというよりは、難易度や入試の方式を優先して選んだ結果	その他	回答者数
令和3年度	回答数	1,929	477	822	997	244	413	480	199	3,218
	割合	59.9%	14.8%	25.5%	31.0%	7.6%	12.8%	14.9%	6.2%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

第3 進路選択

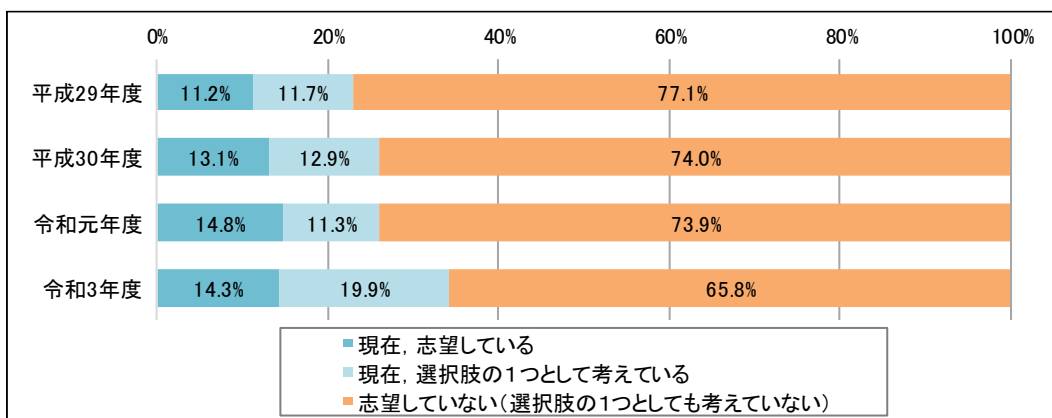
1. 法曹等志望の有無

法曹等^{*}を志望する学生の割合は令和3年度調査で約14%、選択肢の1つとして考えている学生の割合は約20%で、いずれも増加している。

女性に限って見た場合、全体と比べて各回答割合に大きな違いはなく、「現在、志望している」と「現在、選択肢の1つとして考えている」の回答割合の合計は増加傾向にある。

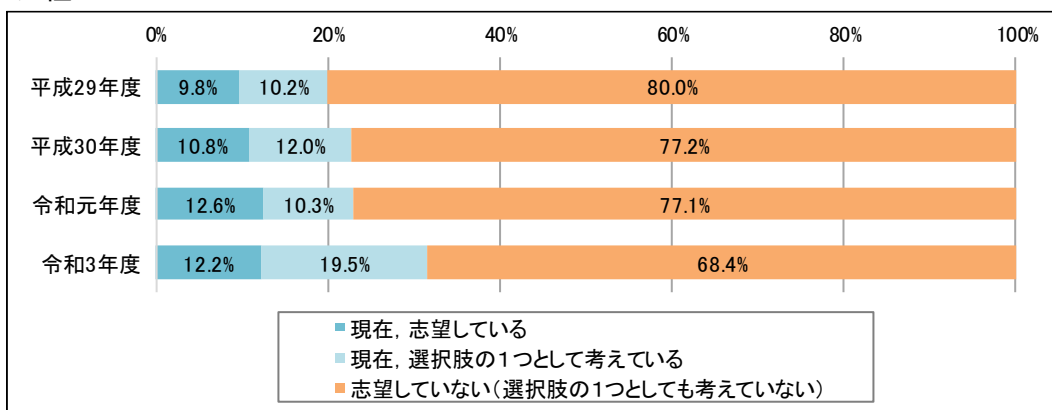
※ 法曹(裁判官、検察官及び弁護士)のみならず、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む。以下、同じ。

ア 全学生



SA	選択肢	現在、志望している	現在、選択肢の1つとして考えている	志望していない(選択肢の1つとして考えていない)	回答者数
平成29年度	回答数	1,081	1,131	7,446	9,658
	割合	11.2%	11.7%	77.1%	100.0%
平成30年度	回答数	882	869	4,988	6,739
	割合	13.1%	12.9%	74.0%	100.0%
令和元年度	回答数	860	655	4,299	5,814
	割合	14.8%	11.3%	73.9%	100.0%
令和3年度	回答数	989	1,377	4,545	6,911
	割合	14.3%	19.9%	65.8%	100.0%

イ 女性

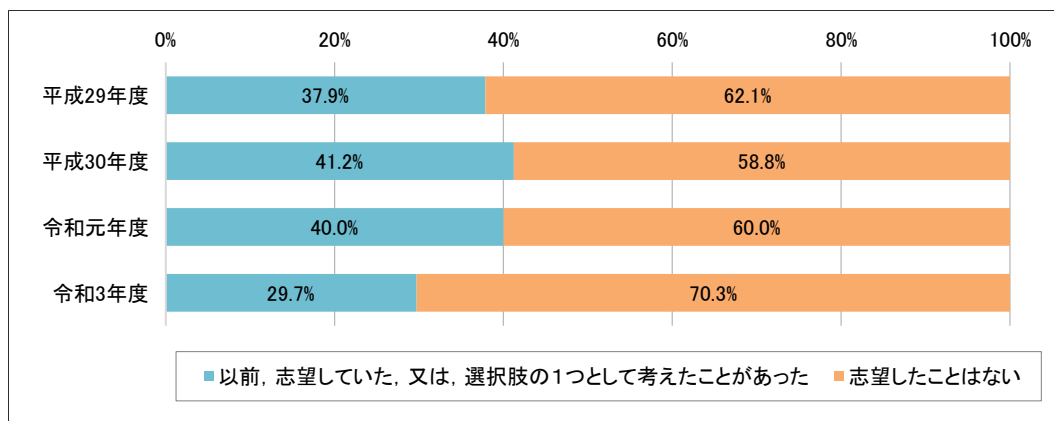


SA	選択肢	現在、志望している	現在、選択肢の1つとして考えている	志望していない(選択肢の1つとして考えていない)	回答者数
平成29年度	回答数	386	405	3,166	3,957
	割合	9.8%	10.2%	80.0%	100.0%
平成30年度	回答数	315	350	2,254	2,919
	割合	10.8%	12.0%	77.2%	100.0%
令和元年度	回答数	319	260	1,954	2,533
	割合	12.6%	10.3%	77.1%	100.0%
令和3年度	回答数	392	626	2,200	3,218
	割合	12.2%	19.5%	68.4%	100.0%

2. 過去の法曹等志望の有無

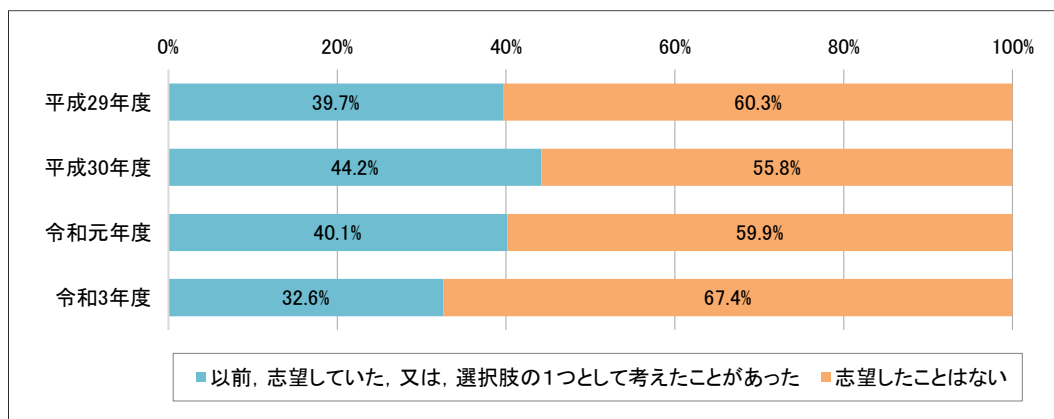
法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)と回答した学生に、過去に法曹等を志望したことがあるかを尋ねた結果、令和3年度調査では約30%の学生が「以前、志望していた、又は選択肢の1つとして考えたことがあった」と回答した。過去に法曹等を志望していた(選択肢の1つとして考えていた)学生の割合は、平成30年度調査以降減少しており、女性に限って見た場合にも同様の傾向にある。

ア 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



SA	選択肢	以前、志望していた、又は、選択肢の1つとして考えたことがあった	志望したことはない	回答者数
平成29年度	回答数	2,819	4,627	7,446
	割合	37.9%	62.1%	100.0%
平成30年度	回答数	2,056	2,932	4,988
	割合	41.2%	58.8%	100.0%
令和元年度	回答数	1,720	2,579	4,299
	割合	40.0%	60.0%	100.0%
令和3年度	回答数	1,350	3,195	4,545
	割合	29.7%	70.3%	100.0%

イ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)女性



SA	選択肢	以前、志望していた、又は、選択肢の1つとして考えたことがあった	志望したことはない	回答者数
平成29年度	回答数	1,258	1,908	3,166
	割合	39.7%	60.3%	100.0%
平成30年度	回答数	996	1,258	2,254
	割合	44.2%	55.8%	100.0%
令和元年度	回答数	784	1,170	1,954
	割合	40.1%	59.9%	100.0%
令和3年度	回答数	717	1,483	2,200
	割合	32.6%	67.4%	100.0%

3. 将来の職業志望(第一志望)

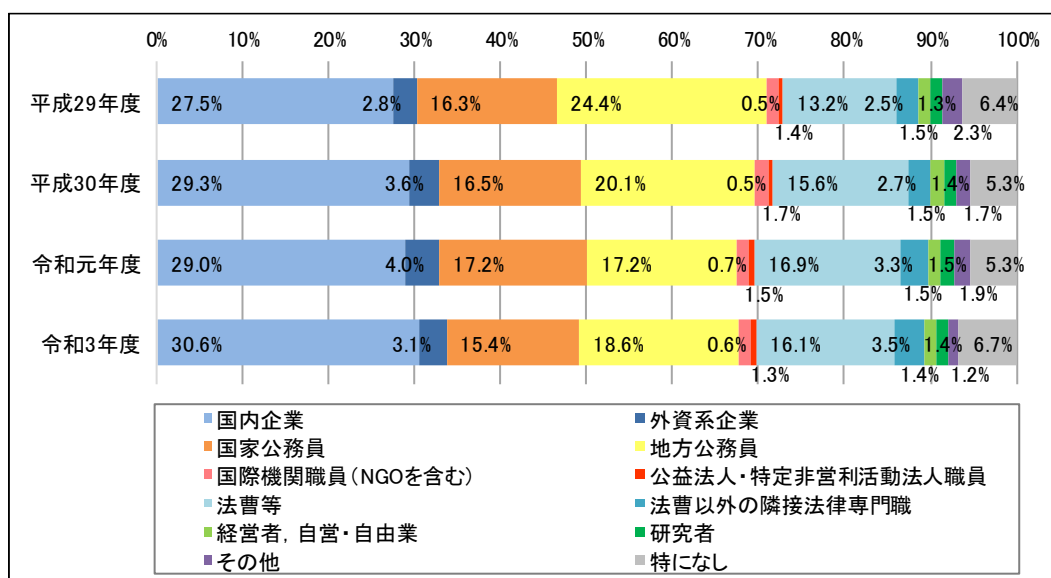
現時点で第一志望として考えている職業について尋ねた結果、平成29年度以降、「国内企業」が30%前後と最も高く、次いで「地方公務員」、「国家公務員」、「法曹等」の志望割合が高かった。ただし、公務員志望者は全体として減少傾向、法曹等志望者は増加傾向にある。

女性に限って見た場合、全体と比べて顕著な違いは見られないが、相対的に「国家公務員」の志望割合が高く、「法曹等」の志望割合が低い。

学年別で見ると、「国内企業」の志望者は年次を追うごとに増加する傾向にあり、逆に「外資系企業」、「法曹等」の志望者は減少する傾向にある。

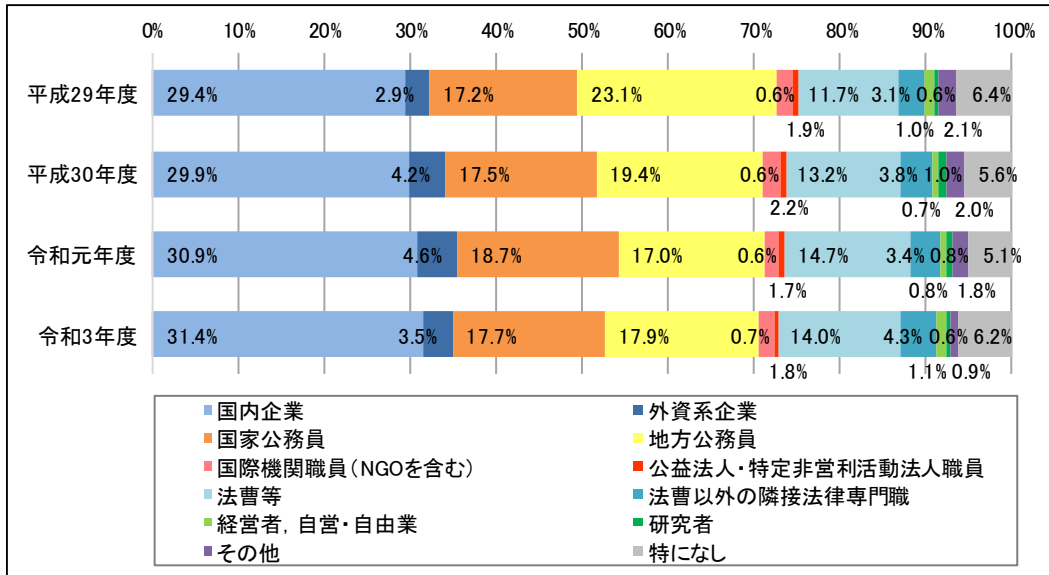
なお、「その他」として、令和3年度調査では、教員等の教育関係職、芸能関係、マスコミ、政治家などの回答があった。

ア 全学生



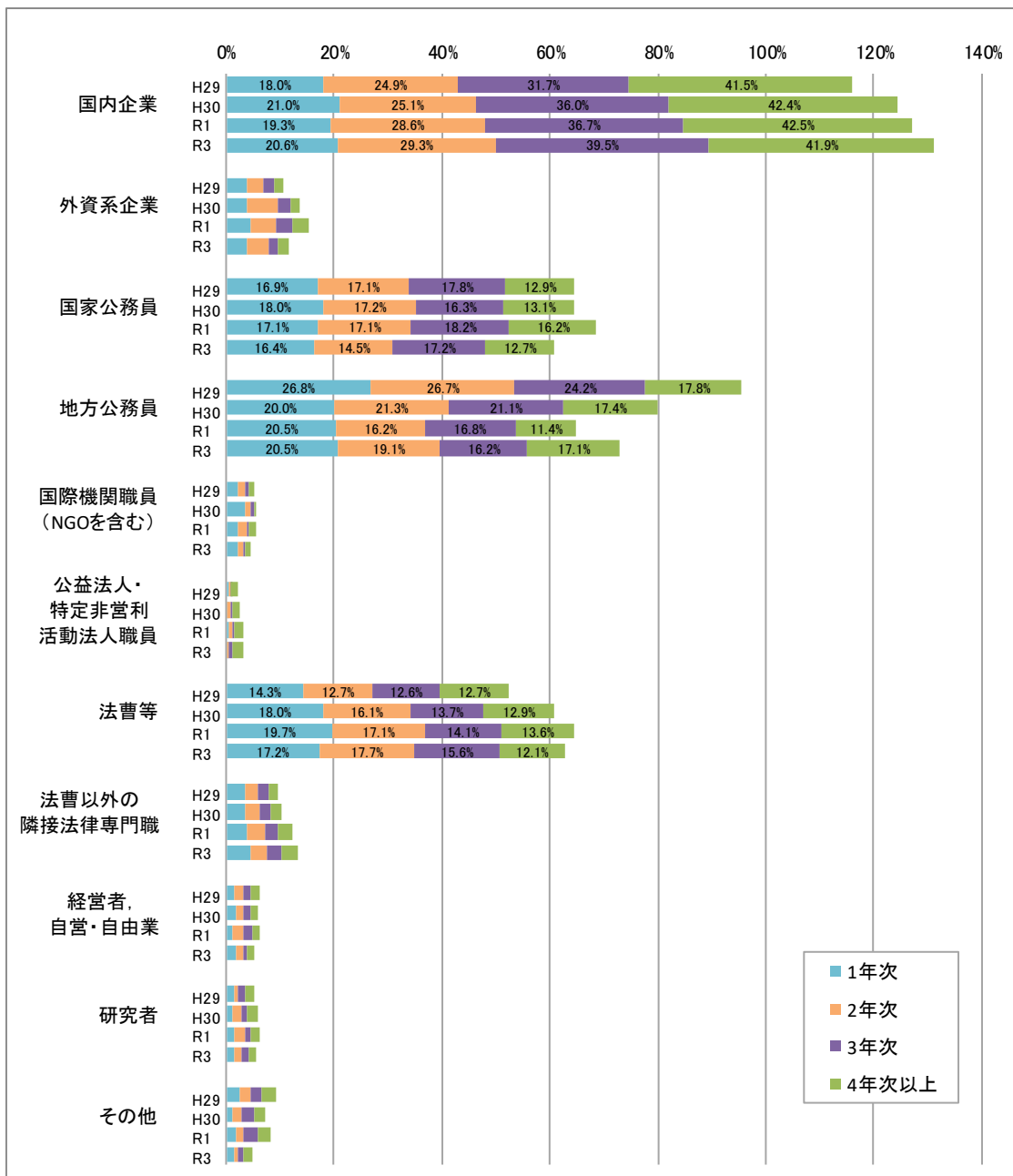
SA	選択肢	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	国際機関職員 (NGOを含む)	公益法人・NPO 法人職員	法曹等	法曹以外の隣接法律専門職	経営者、自営・自由業	研究者	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	2,653	269	1,578	2,358	132	49	1,273	240	149	121	219	617	9,658
	割合	27.5%	2.8%	16.3%	24.4%	1.4%	0.5%	13.2%	2.5%	1.5%	1.3%	2.3%	6.4%	100.0%
平成30年度	回答数	1,974	243	1,113	1,353	112	37	1,053	184	103	96	116	355	6,739
	割合	29.3%	3.6%	16.5%	20.1%	1.7%	0.5%	15.6%	2.7%	1.5%	1.4%	1.7%	5.3%	100.0%
令和元年度	回答数	1,685	230	1,000	1,001	88	39	982	189	88	90	113	309	5,814
	割合	29.0%	4.0%	17.2%	17.2%	1.5%	0.7%	16.9%	3.3%	1.5%	1.5%	1.9%	5.3%	100.0%
令和3年度	回答数	2,117	215	1,067	1,287	90	43	1,116	242	95	95	81	463	6,911
	割合	30.6%	3.1%	15.4%	18.6%	1.3%	0.6%	16.1%	3.5%	1.4%	1.4%	1.2%	6.7%	100.0%

イ 女性



SA	選択肢	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	国際機関職員 (NGOを含む)	公益法人・NPO法人職員	法曹等	法曹以外の隣接法律専門職	経営者、自営・自由業	研究者	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	1,162	115	681	915	76	22	461	124	39	24	84	254	3,957
	割合	29.4%	2.9%	17.2%	23.1%	1.9%	0.6%	11.7%	3.1%	1.0%	0.6%	2.1%	6.4%	100.0%
平成30年度	回答数	874	122	511	566	63	17	385	111	20	29	57	164	2,919
	割合	29.9%	4.2%	17.5%	19.4%	2.2%	0.6%	13.2%	3.8%	0.7%	1.0%	2.0%	5.6%	100.0%
令和元年度	回答数	783	116	473	431	43	16	372	85	20	19	46	129	2,533
	割合	30.9%	4.6%	18.7%	17.0%	1.7%	0.6%	14.7%	3.4%	0.8%	0.8%	1.8%	5.1%	100.0%
令和3年度	回答数	1,011	113	570	575	57	21	452	137	35	19	28	200	3,218
	割合	31.4%	3.5%	17.7%	17.9%	1.8%	0.7%	14.0%	4.3%	1.1%	0.6%	0.9%	6.2%	100.0%

ウ 学年別



	SA	選択肢	国内 企業	外資系 企業	国家 公務員	地方 公務員	国際機 関職員 (NGO 含む)	公益法 人・ NPO 法 人職員	法曹等	法曹以 外の隣 接法律 専門職	経営者 自営・ 自由業	研究者	その他	特に なし	回答 者数
1年次	平成29年度	回答数	560	117	525	834	70	11	446	104	48	43	76	280	3,114
		割合	18.0%	3.8%	16.9%	26.8%	2.2%	0.4%	14.3%	3.3%	1.5%	1.4%	2.4%	9.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	495	93	424	470	79	4	423	84	42	24	26	189	2,353
		割合	21.0%	4.0%	18.0%	20.0%	3.4%	0.2%	18.0%	3.6%	1.8%	1.0%	1.1%	8.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	442	100	392	469	48	9	450	90	28	32	38	190	2,288
		割合	19.3%	4.4%	17.1%	20.5%	2.1%	0.4%	19.7%	3.9%	1.2%	1.4%	1.7%	8.3%	100.0%
	令和3年度	回答数	489	89	390	487	53	6	408	107	42	32	34	236	2,373
		割合	20.6%	3.8%	16.4%	20.5%	2.2%	0.3%	17.2%	4.5%	1.8%	1.3%	1.4%	9.9%	100.0%
2年次	平成29年度	回答数	611	77	418	655	29	7	311	63	37	22	51	170	2,451
		割合	24.9%	3.1%	17.1%	26.7%	1.2%	0.3%	12.7%	2.6%	1.5%	0.9%	2.1%	6.9%	100.0%
	平成30年度	回答数	414	92	283	352	18	10	265	44	22	29	31	90	1,650
		割合	25.1%	5.6%	17.2%	21.3%	1.1%	0.6%	16.1%	2.7%	1.3%	1.8%	1.9%	5.5%	100.0%
	令和元年度	回答数	380	66	227	215	23	10	227	42	28	27	22	61	1,328
		割合	28.6%	5.0%	17.1%	16.2%	1.7%	0.8%	17.1%	3.2%	2.1%	2.0%	1.7%	4.6%	100.0%
	令和3年度	回答数	548	77	271	358	19	6	332	58	25	26	14	139	1,873
		割合	29.3%	4.1%	14.5%	19.1%	1.0%	0.3%	17.7%	3.1%	1.3%	1.4%	0.7%	7.4%	100.0%
3年次	平成29年度	回答数	698	44	392	533	18	6	277	46	29	28	42	92	2,205
		割合	31.7%	2.0%	17.8%	24.2%	0.8%	0.3%	12.6%	2.1%	1.3%	1.3%	1.9%	4.2%	100.0%
	平成30年度	回答数	534	35	242	313	9	5	203	29	22	18	32	43	1,485
		割合	36.0%	2.4%	16.3%	21.1%	0.6%	0.3%	13.7%	2.0%	1.5%	1.2%	2.2%	2.9%	100.0%
	令和元年度	回答数	444	36	221	204	6	4	171	29	17	15	29	35	1,211
		割合	36.7%	3.0%	18.2%	16.8%	0.5%	0.3%	14.1%	2.4%	1.4%	1.2%	2.4%	2.9%	100.0%
	令和3年度	回答数	594	28	258	243	6	10	235	41	12	20	17	40	1,504
		割合	39.5%	1.9%	17.2%	16.2%	0.4%	0.7%	15.6%	2.7%	0.8%	1.3%	1.1%	2.7%	100.0%
4年次 以上	平成29年度	回答数	784	31	243	336	15	25	239	27	35	28	50	75	1,888
		割合	41.5%	1.6%	12.9%	17.8%	0.8%	1.3%	12.7%	1.4%	1.9%	1.5%	2.6%	4.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	531	23	164	218	6	18	162	27	17	25	27	33	1,251
		割合	42.4%	1.8%	13.1%	17.4%	0.5%	1.4%	12.9%	2.2%	1.4%	2.0%	2.2%	2.6%	100.0%
	令和元年度	回答数	419	28	160	113	11	16	134	28	15	16	24	23	987
		割合	42.5%	2.8%	16.2%	11.4%	1.1%	1.6%	13.6%	2.8%	1.5%	1.6%	2.4%	2.3%	100.0%
	令和3年度	回答数	486	21	148	199	12	21	141	36	16	17	16	48	1,161
		割合	41.9%	1.8%	12.7%	17.1%	1.0%	1.8%	12.1%	3.1%	1.4%	1.5%	1.4%	4.1%	100.0%

4. 職業選択に当たり重視すること

職業選択に当たり重視することについて尋ねた結果、「自分の興味・関心のある分野で活躍できること」との回答割合が70%前後と最も高く、「経済的に安定していること」がおおよそ60%で続いている。

「仕事の内容が幅広いこと」、「社会への貢献度が高いこと」及び「社会的地位・信用が高いこと」との回答割合は、令和3年度調査の結果が令和元年度調査に比べて8ポイント以上減少している。

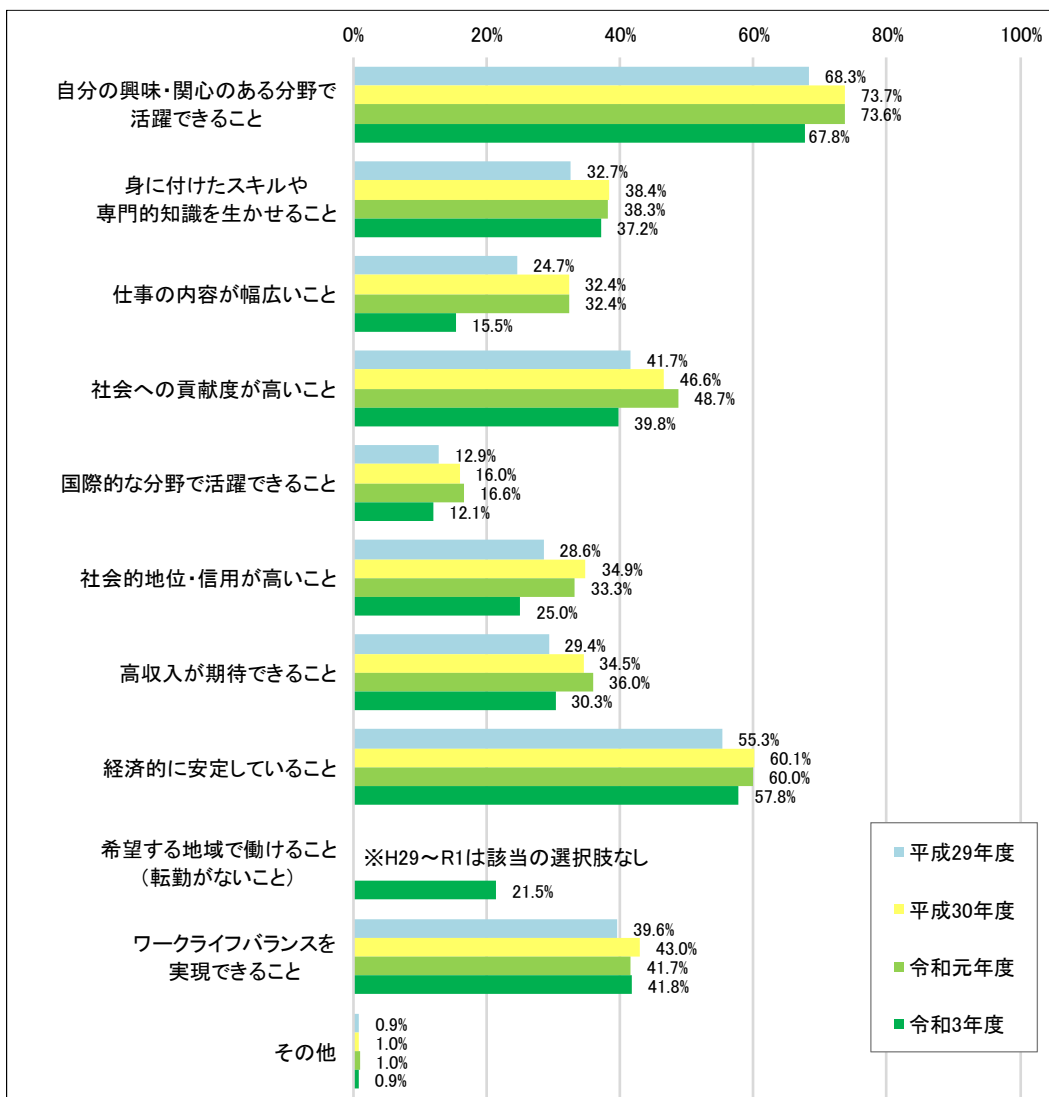
女性に限って見た場合、全体と比べて「ワークライフバランスを実現できること」との回答割合が相対的に高い。

法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に限って見ると、全体に比して「身に付けたスキルや専門的知識を生かせること」、「社会的地位・信用が高いこと」及び「高収入が期待できること」の回答割合が相対的に高く、その傾向は、法曹等を志望している学生のみを見た場合により顕著である。また、法曹等を志望している学生は、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生と比べて「社会への貢献度が高いこと」の回答割合が高い。

法曹等を志望していない学生では、全体と比べて「身に付けたスキルや専門的知識を生かせること」、「高収入が期待できること」との回答割合が相対的に低い。

なお、「その他」として、令和3年度調査では、「好きなこと・やりたいことができること」、「自由や裁量があること」、「自分に合っていること」、「女性であることで差別等を受けないこと」、「職場の雰囲気・人間関係が良いこと」などの回答があった。

ア 全学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること (転動がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成29年度	回答数	6,600	3,157	2,381	4,023	1,249	2,765	2,837	5,345	-	3,827	91	9,658
	割合	68.3%	32.7%	24.7%	41.7%	12.9%	28.6%	29.4%	55.3%	-	39.6%	0.9%	-
平成30年度	回答数	4,968	2,589	2,184	3,141	1,078	2,353	2,328	4,050	-	2,899	65	6,739
	割合	73.7%	38.4%	32.4%	46.6%	16.0%	34.9%	34.5%	60.1%	-	43.0%	1.0%	-
令和元年度	回答数	4,282	2,226	1,886	2,834	968	1,936	2,092	3,486	-	2,424	59	5,814
	割合	73.6%	38.3%	32.4%	48.7%	16.6%	33.3%	36.0%	60.0%	-	41.7%	1.0%	-
令和3年度	回答数	4,683	2,570	1,068	2,751	834	1,731	2,097	3,994	1,487	2,891	61	6,911
	割合	67.8%	37.2%	15.5%	39.8%	12.1%	25.0%	30.3%	57.8%	21.5%	41.8%	0.9%	-

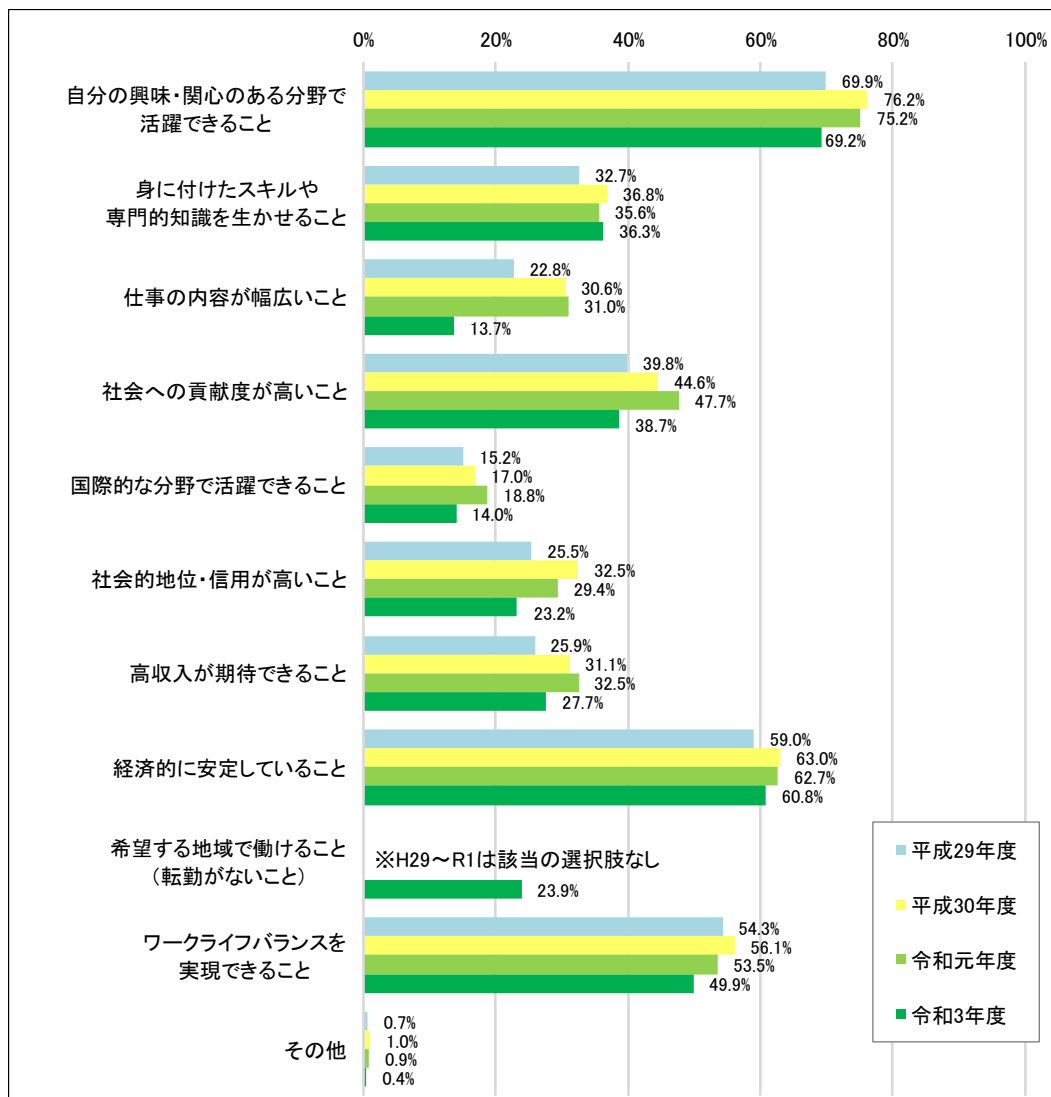
※2 番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3 番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9 番目の選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10 番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

イ 女性



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること (転動がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成29年度	回答数	2,766	1,292	901	1,576	601	1,008	1,025	2,336	-	2,148	26	3,957
	割合	69.9%	32.7%	22.8%	39.8%	15.2%	25.5%	25.9%	59.0%	-	54.3%	0.7%	-
平成30年度	回答数	2,224	1,075	892	1,301	495	949	909	1,840	-	1,638	29	2,919
	割合	76.2%	36.8%	30.6%	44.6%	17.0%	32.5%	31.1%	63.0%	-	56.1%	1.0%	-
令和元年度	回答数	1,904	902	785	1,208	477	745	824	1,588	-	1,356	22	2,533
	割合	75.2%	35.6%	31.0%	47.7%	18.8%	29.4%	32.5%	62.7%	-	53.5%	0.9%	-
令和3年度	回答数	2,228	1,167	442	1,246	451	748	890	1,958	770	1,605	14	3,218
	割合	69.2%	36.3%	13.7%	38.7%	14.0%	23.2%	27.7%	60.8%	23.9%	49.9%	0.4%	-

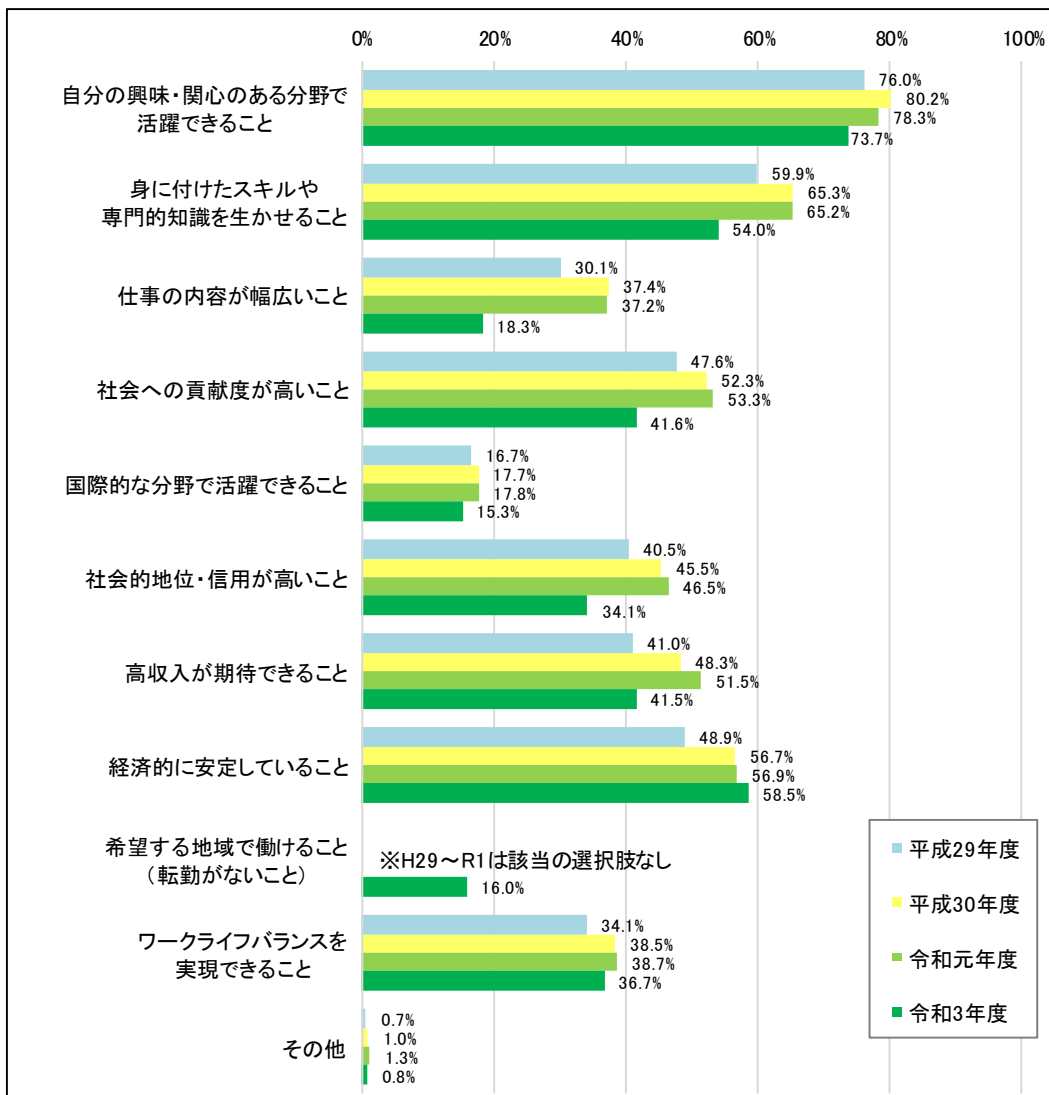
※2 番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3 番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9 番目の選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10 番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

ウ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること(転勤がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成29年度	回答数	1,682	1,325	666	1,054	369	895	908	1,082	-	754	15	2,212
	割合	76.0%	59.9%	30.1%	47.6%	16.7%	40.5%	41.0%	48.9%	-	34.1%	0.7%	-
平成30年度	回答数	1,405	1,144	655	915	310	796	846	992	-	674	17	1,751
	割合	80.2%	65.3%	37.4%	52.3%	17.7%	45.5%	48.3%	56.7%	-	38.5%	1.0%	-
令和元年度	回答数	1,186	988	564	807	269	704	780	862	-	587	19	1,515
	割合	78.3%	65.2%	37.2%	53.3%	17.8%	46.5%	51.5%	56.9%	-	38.7%	1.3%	-
令和3年度	回答数	1,743	1,277	434	984	361	807	983	1,385	378	869	19	2,366
	割合	73.7%	54.0%	18.3%	41.6%	15.3%	34.1%	41.5%	58.5%	16.0%	36.7%	0.8%	-

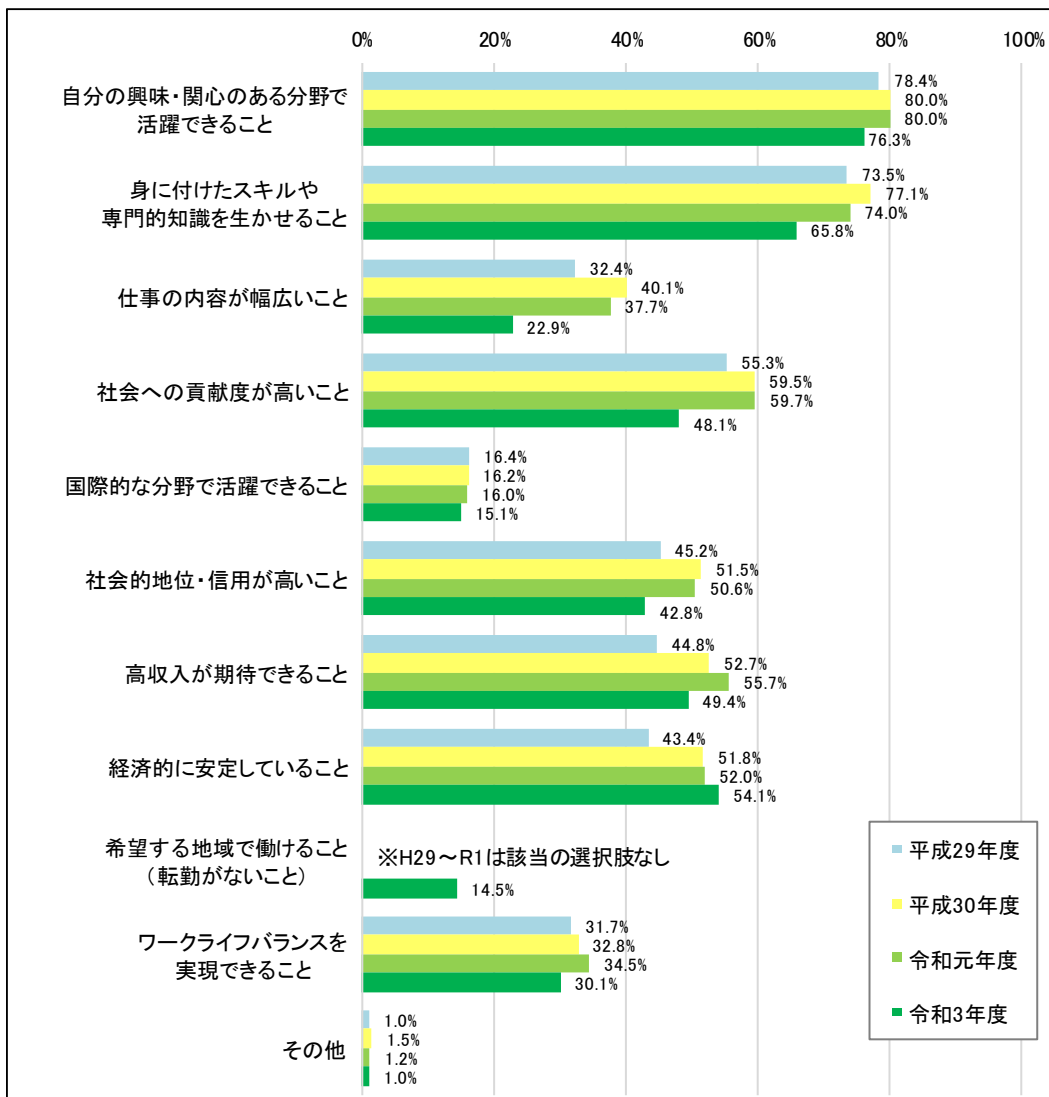
※2 番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3 番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9 番目の選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10 番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

エ 法曹等を志望している学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること(転勤がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成29年度	回答数	848	795	350	598	177	489	484	469	-	343	11	1,081
	割合	78.4%	73.5%	32.4%	55.3%	16.4%	45.2%	44.8%	43.4%	-	31.7%	1.0%	-
平成30年度	回答数	706	680	354	525	143	454	465	457	-	289	13	882
	割合	80.0%	77.1%	40.1%	59.5%	16.2%	51.5%	52.7%	51.8%	-	32.8%	1.5%	-
令和元年度	回答数	688	636	324	513	138	435	479	447	-	297	10	860
	割合	80.0%	74.0%	37.7%	59.7%	16.0%	50.6%	55.7%	52.0%	-	34.5%	1.2%	-
令和3年度	回答数	755	651	226	476	149	423	489	535	143	298	10	989
	割合	76.3%	65.8%	22.9%	48.1%	15.1%	42.8%	49.4%	54.1%	14.5%	30.1%	1.0%	-

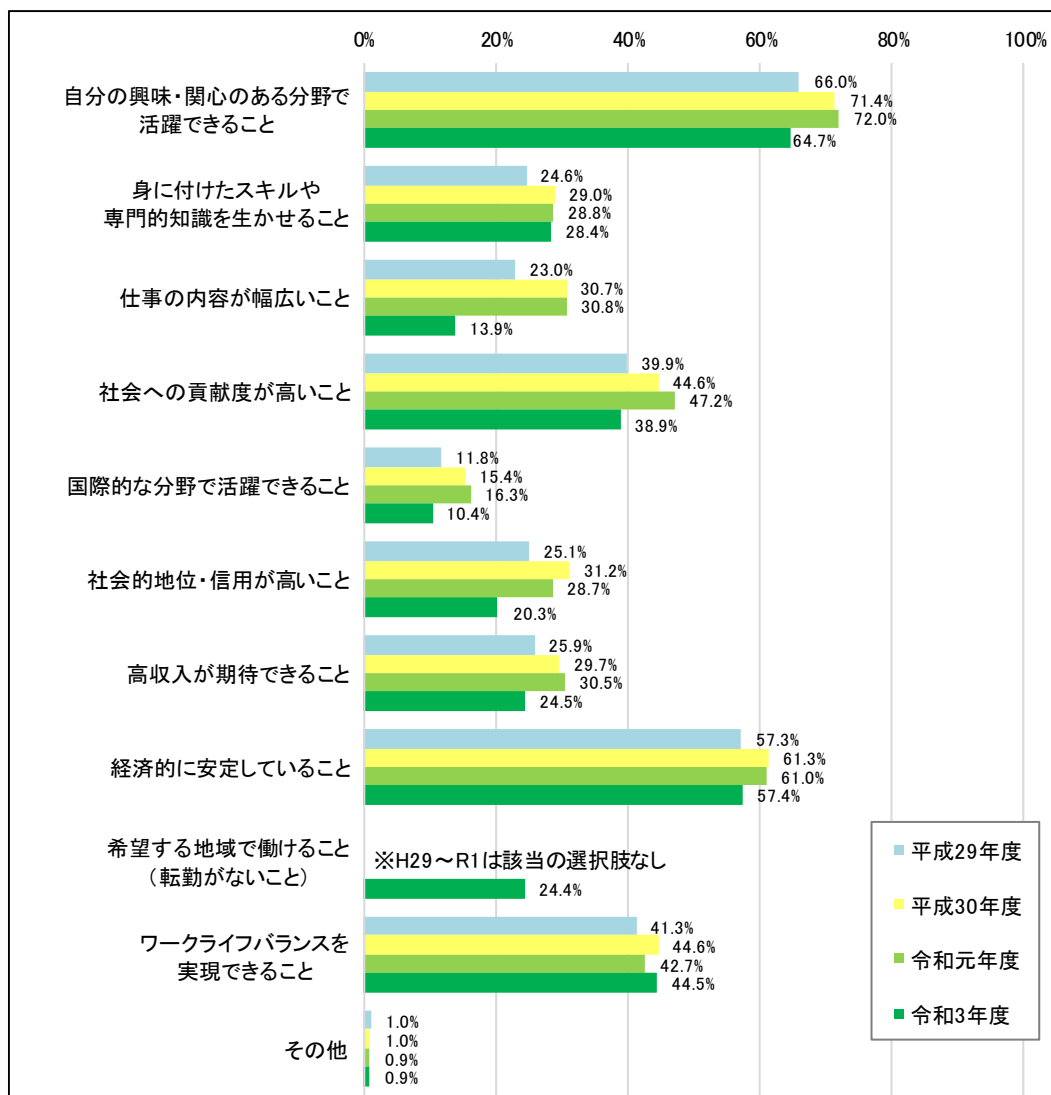
※2 番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3 番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9 番目の選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10 番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

オ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること(転勤がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成29年度	回答数	4,918	1,832	1,715	2,969	880	1,870	1,929	4,263	-	3,073	76	7,446
	割合	66.0%	24.6%	23.0%	39.9%	11.8%	25.1%	25.9%	57.3%	-	41.3%	1.0%	-
平成30年度	回答数	3,563	1,445	1,529	2,226	768	1,557	1,482	3,058	-	2,225	48	4,988
	割合	71.4%	29.0%	30.7%	44.6%	15.4%	31.2%	29.7%	61.3%	-	44.6%	1.0%	-
令和元年度	回答数	3,096	1,238	1,322	2,027	699	1,232	1,312	2,624	-	1,837	40	4,299
	割合	72.0%	28.8%	30.8%	47.2%	16.3%	28.7%	30.5%	61.0%	-	42.7%	0.9%	-
令和3年度	回答数	2,940	1,293	634	1,767	473	924	1,114	2,609	1,109	2,022	42	4,545
	割合	64.7%	28.4%	13.9%	38.9%	10.4%	20.3%	24.5%	57.4%	24.4%	44.5%	0.9%	-

※2 番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3 番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9 番目の選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10 番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

第4 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹等の魅力等

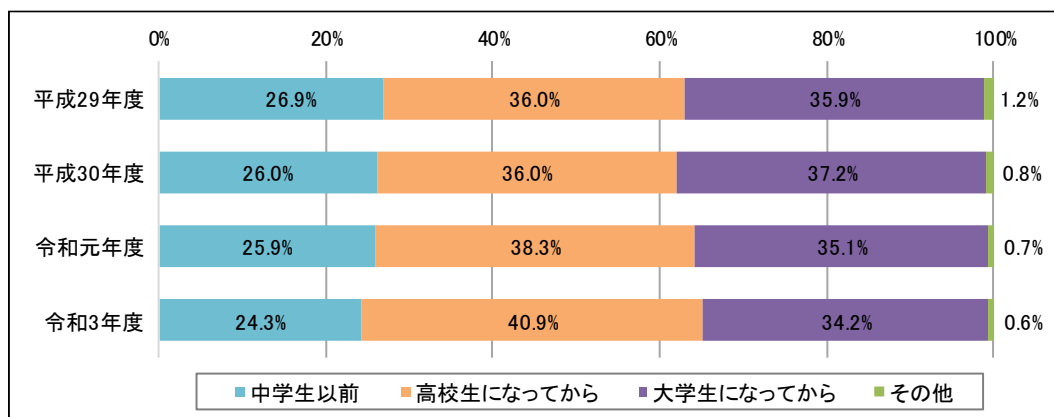
1. 法曹等を志望した時期

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に法曹等を志望した時期を尋ねた結果、60%以上の学生が高校生以前と回答した。

女性に限って見た場合も、全体とほぼ同様であった。

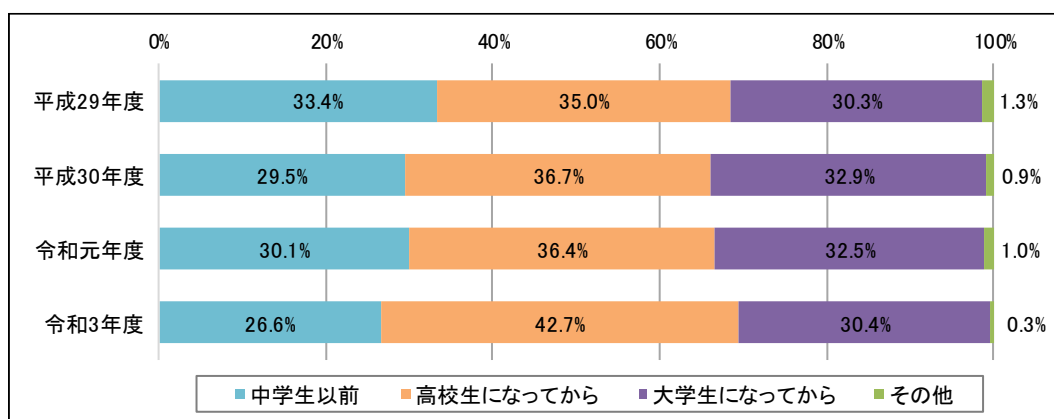
また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生については、高校生以前に志望した割合が70%以上であった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



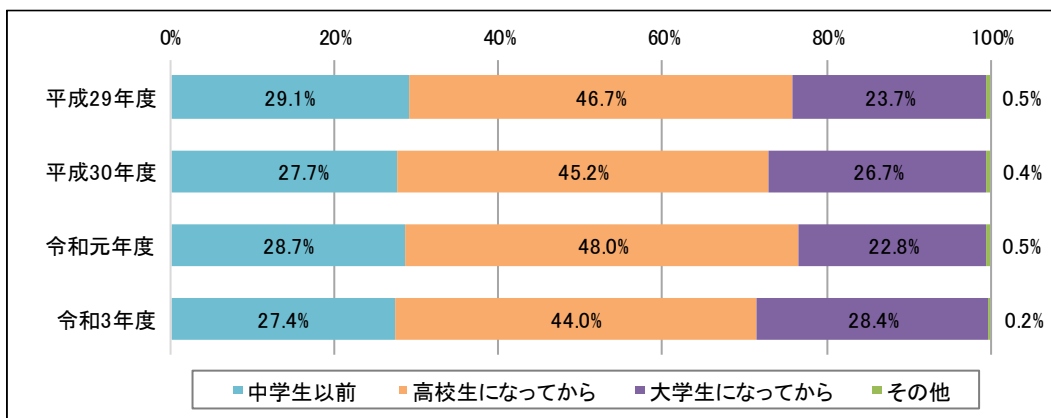
SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	595	797	794	26	2,212
	割合	26.9%	36.0%	35.9%	1.2%	100.0%
平成 30 年度	回答数	456	630	651	14	1,751
	割合	26.0%	36.0%	37.2%	0.8%	100.0%
令和元年度	回答数	393	580	532	10	1,515
	割合	25.9%	38.3%	35.1%	0.7%	100.0%
令和 3 年度	回答数	575	968	808	15	2,366
	割合	24.3%	40.9%	34.2%	0.6%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



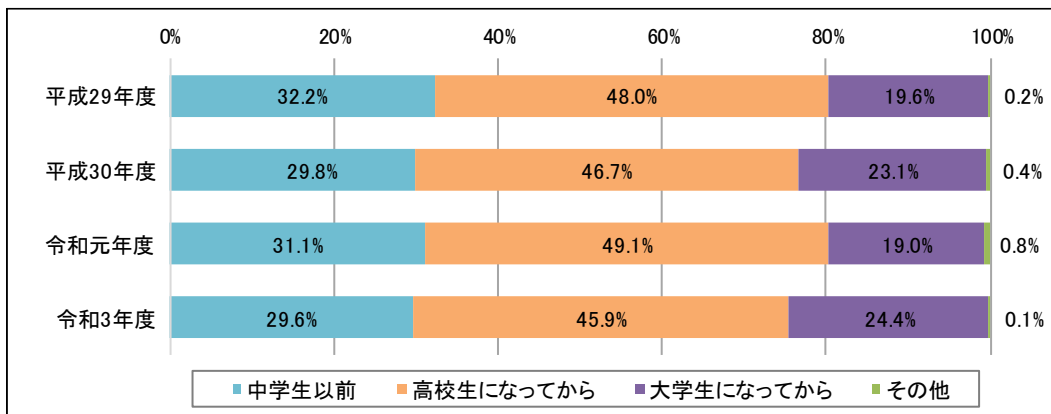
SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	264	277	240	10	791
	割合	33.4%	35.0%	30.3%	1.3%	100.0%
平成 30 年度	回答数	196	244	219	6	665
	割合	29.5%	36.7%	32.9%	0.9%	100.0%
令和元年度	回答数	174	211	188	6	579
	割合	30.1%	36.4%	32.5%	1.0%	100.0%
令和 3 年度	回答数	271	435	309	3	1,018
	割合	26.6%	42.7%	30.4%	0.3%	100.0%

ウ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	820	1,317	668	14	2,819
	割合	29.1%	46.7%	23.7%	0.5%	100.0%
平成 30 年度	回答数	569	930	548	9	2,056
	割合	27.7%	45.2%	26.7%	0.4%	100.0%
令和元年度	回答数	494	825	392	9	1,720
	割合	28.7%	48.0%	22.8%	0.5%	100.0%
令和 3 年度	回答数	370	594	383	3	1,350
	割合	27.4%	44.0%	28.4%	0.2%	100.0%

エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	405	604	246	3	1,258
	割合	32.2%	48.0%	19.6%	0.2%	100.0%
平成 30 年度	回答数	297	465	230	4	996
	割合	29.8%	46.7%	23.1%	0.4%	100.0%
令和元年度	回答数	244	385	149	6	784
	割合	31.1%	49.1%	19.0%	0.8%	100.0%
令和 3 年度	回答数	212	329	175	1	717
	割合	29.6%	45.9%	24.4%	0.1%	100.0%

2. 法曹等を志望したきっかけ

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に法曹等を志望したきっかけを尋ねた結果、平成29年度調査以降の全調査において「法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから」との回答割合が最も高く、60%を超えている。続いて、「社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから」が40%前後、「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」が30%強で推移している。

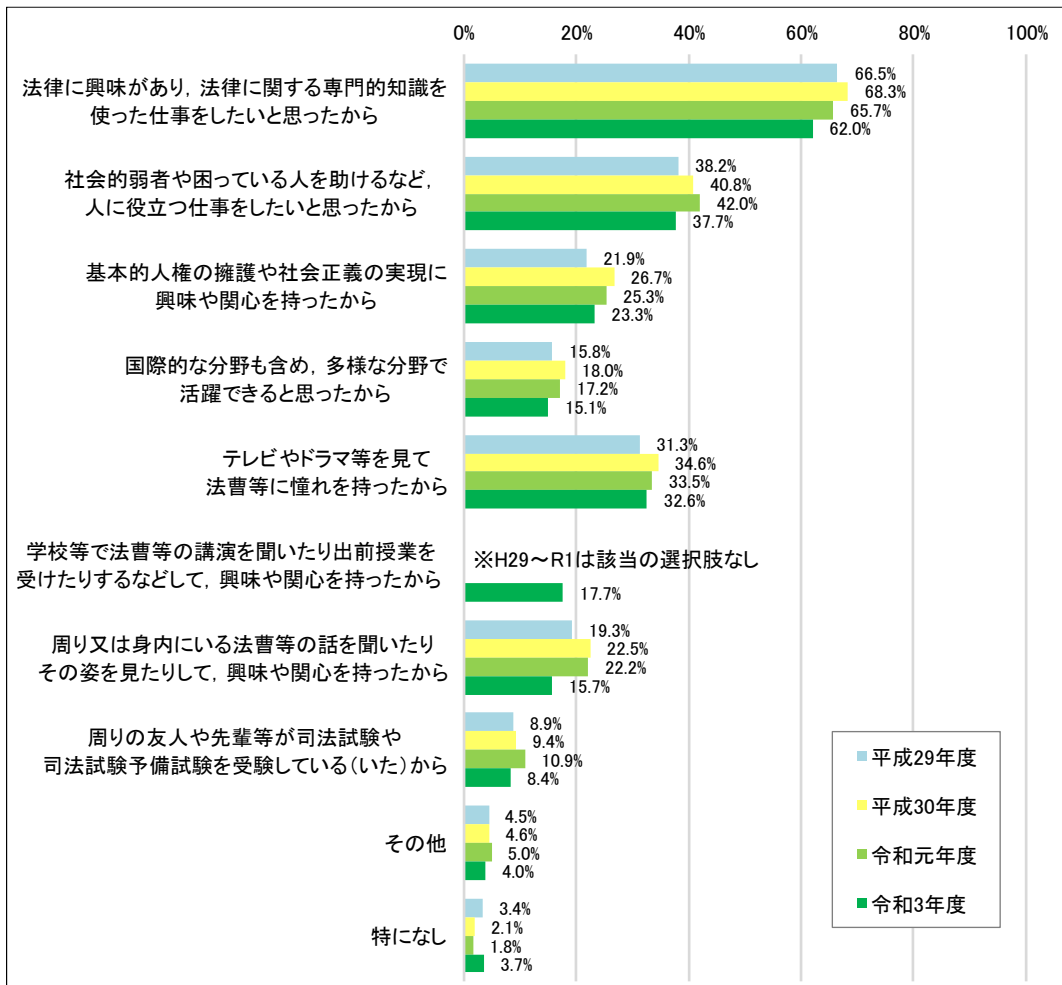
「周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから」との回答割合は、令和3年度調査の結果が令和元年度調査の結果に比べて6ポイント以上減少しているが、令和3年度調査で「学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから」との選択肢を新設したことの影響も考えられる。

女性に限って見た場合、「学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから」との回答割合が全体と比べて相対的に高かった。

また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生について見ると、現在志望又は選択肢の1つとして考えている学生に比べて、「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」との回答割合が相対的に高く、「学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから」を除く他の選択肢の回答割合は相対的に低い。この傾向は、女性に限って見た場合も同様である。

なお、「その他」として、令和3年度調査では、「ゲームや本の影響/裁判傍聴/模擬法廷/弁護士会のイベントに参加して興味を持った」、「弁護士の YouTuber を見て興味を持った」、「法学部に入学し法学を学んで興味を持った」などの回答があった。

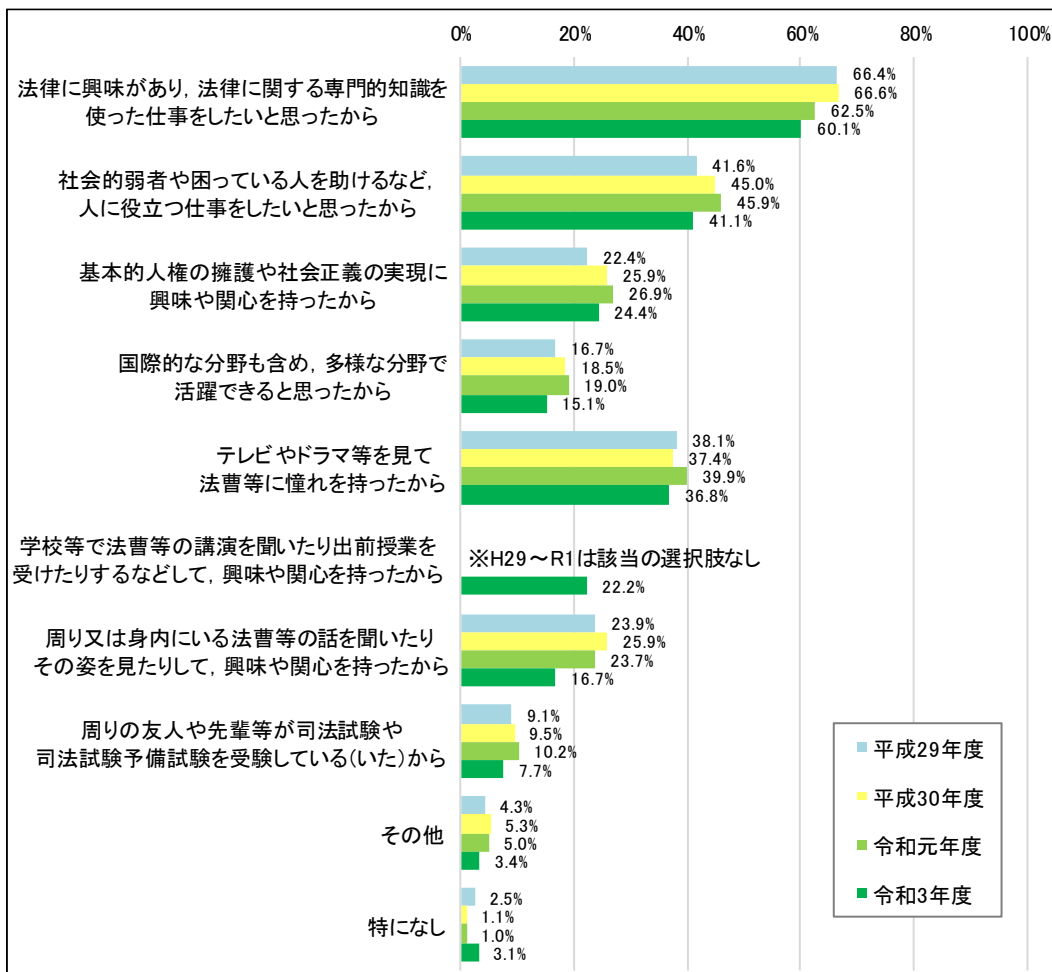
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	1,471	844	484	349	692	-	426	197	99	76	2,212
平成29年度	割合	66.5%	38.2%	21.9%	15.8%	31.3%	-	19.3%	8.9%	4.5%	3.4%	-
平成30年度	回答数	1,196	715	468	316	605	-	394	164	80	36	1,751
平成30年度	割合	68.3%	40.8%	26.7%	18.0%	34.6%	-	22.5%	9.4%	4.6%	2.1%	-
令和元年度	回答数	995	636	384	260	507	-	336	165	76	27	1,515
令和元年度	割合	65.7%	42.0%	25.3%	17.2%	33.5%	-	22.2%	10.9%	5.0%	1.8%	-
令和3年度	回答数	1,468	891	552	357	772	419	372	199	94	88	2,366
令和3年度	割合	62.0%	37.7%	23.3%	15.1%	32.6%	17.7%	15.7%	8.4%	4.0%	3.7%	-

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

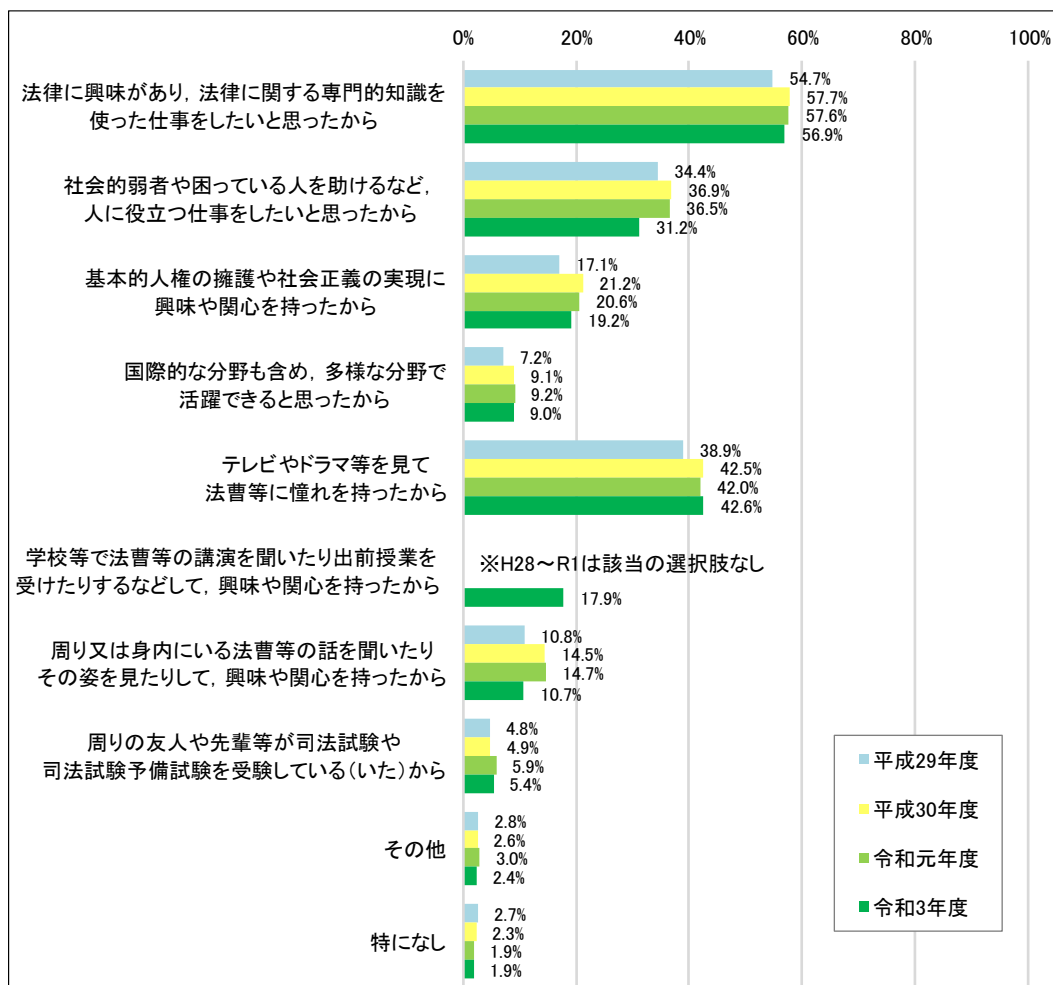
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	525	329	177	132	301	-	189	72	34	20	791
	割合	66.4%	41.6%	22.4%	16.7%	38.1%	-	23.9%	9.1%	4.3%	2.5%	-
平成30年度	回答数	443	299	172	123	249	-	172	63	35	7	665
	割合	66.6%	45.0%	25.9%	18.5%	37.4%	-	25.9%	9.5%	5.3%	1.1%	-
令和元年度	回答数	362	266	156	110	231	-	137	59	29	6	579
	割合	62.5%	45.9%	26.9%	19.0%	39.9%	-	23.7%	10.2%	5.0%	1.0%	-
令和3年度	回答数	612	418	248	154	375	226	170	78	35	32	1,018
	割合	60.1%	41.1%	24.4%	15.1%	36.8%	22.2%	16.7%	7.7%	3.4%	3.1%	-

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

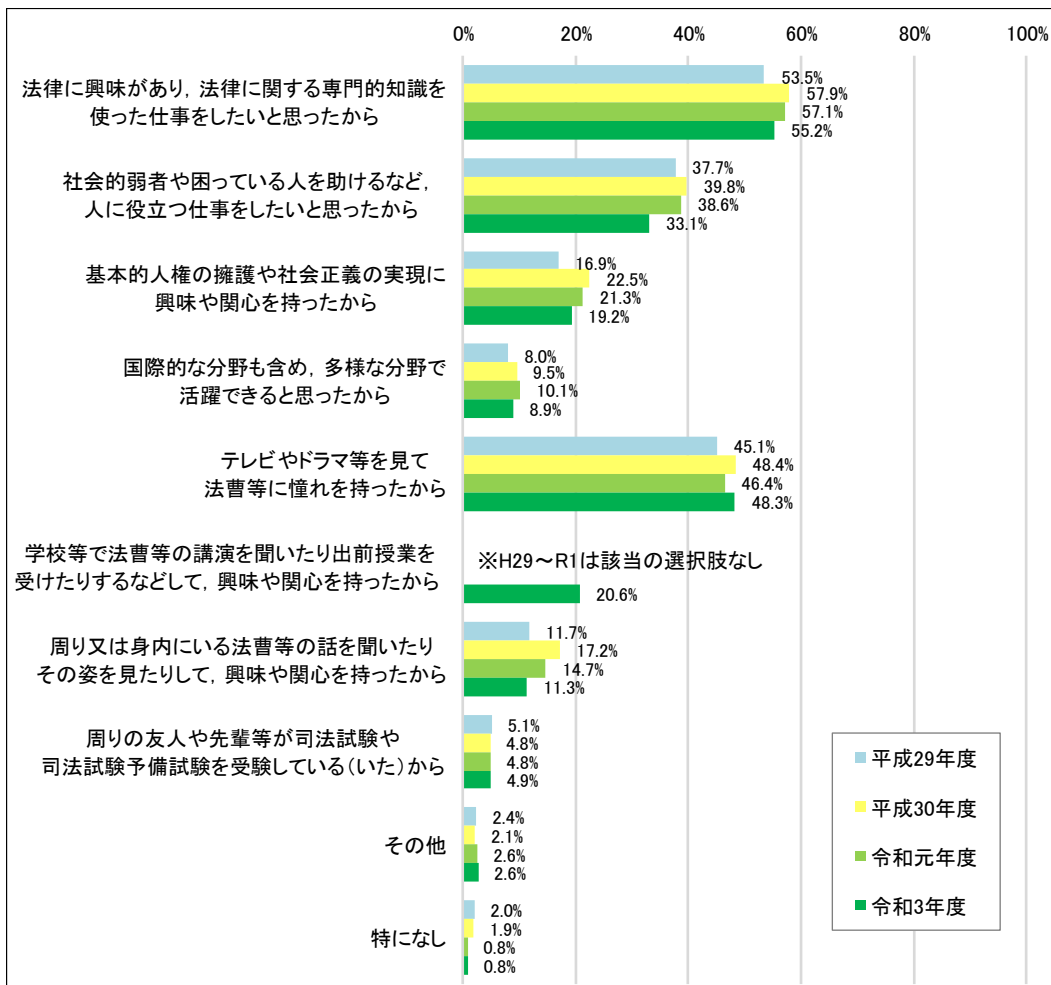
ウ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	1,543	970	482	204	1,097	-	305	135	78	76	2,819
	割合	54.7%	34.4%	17.1%	7.2%	38.9%	-	10.8%	4.8%	2.8%	2.7%	-
平成30年度	回答数	1,187	758	436	188	874	-	299	101	53	48	2,056
	割合	57.7%	36.9%	21.2%	9.1%	42.5%	-	14.5%	4.9%	2.6%	2.3%	-
令和元年度	回答数	991	628	354	158	722	-	252	101	52	33	1,720
	割合	57.6%	36.5%	20.6%	9.2%	42.0%	-	14.7%	5.9%	3.0%	1.9%	-
令和3年度	回答数	768	421	259	121	575	241	145	73	33	26	1,350
	割合	56.9%	31.2%	19.2%	9.0%	42.6%	17.9%	10.7%	5.4%	2.4%	1.9%	-

※6 番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	673	474	213	101	567	-	147	64	30	25	1,258
	割合	53.5%	37.7%	16.9%	8.0%	45.1%	-	11.7%	5.1%	2.4%	2.0%	-
平成30年度	回答数	577	396	224	95	482	-	171	48	21	19	996
	割合	57.9%	39.8%	22.5%	9.5%	48.4%	-	17.2%	4.8%	2.1%	1.9%	-
令和元年度	回答数	448	303	167	79	364	-	115	38	20	6	784
	割合	57.1%	38.6%	21.3%	10.1%	46.4%	-	14.7%	4.8%	2.6%	0.8%	-
令和3年度	回答数	396	237	138	64	346	148	81	35	19	6	717
	割合	55.2%	33.1%	19.2%	8.9%	48.3%	20.6%	11.3%	4.9%	2.6%	0.8%	-

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

3. 法曹等の魅力

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹等の仕事のどんなところに魅力を感じるかを尋ねた結果、平成 29 年度以降の全調査において、「法律に関する専門的知識を使った仕事ができる」との回答割合が最も高く、おおむね 65%から 70%となっている。次いで、「社会的弱者や困っている人を助けることができる」と、「社会的地位・信用が高い」との回答割合が高い。

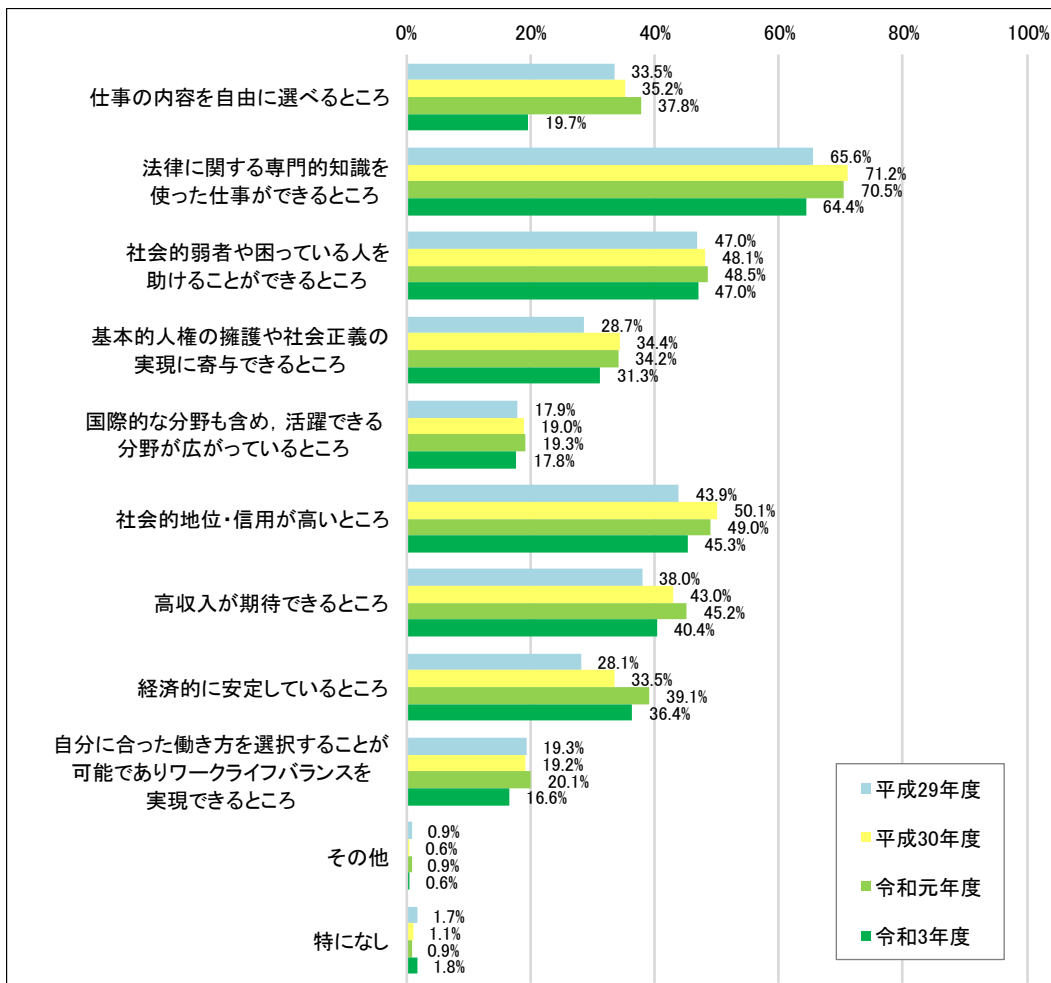
「仕事の内容を自由に選べる」との回答割合は、令和3年度調査において、令和元年度調査から 18 ポイント以上減少している。

女性に限って見た場合、全体に比して「社会的弱者や困っている人を助けることができる」との回答割合が相対的に高い。

また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生については、現在志望又は選択肢の1つとして考えている学生に比して、「国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっている」と、「経済的に安定している」と、「自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できる」との回答割合が相対的に低い。この傾向は、女性に限って見た場合も同様である。

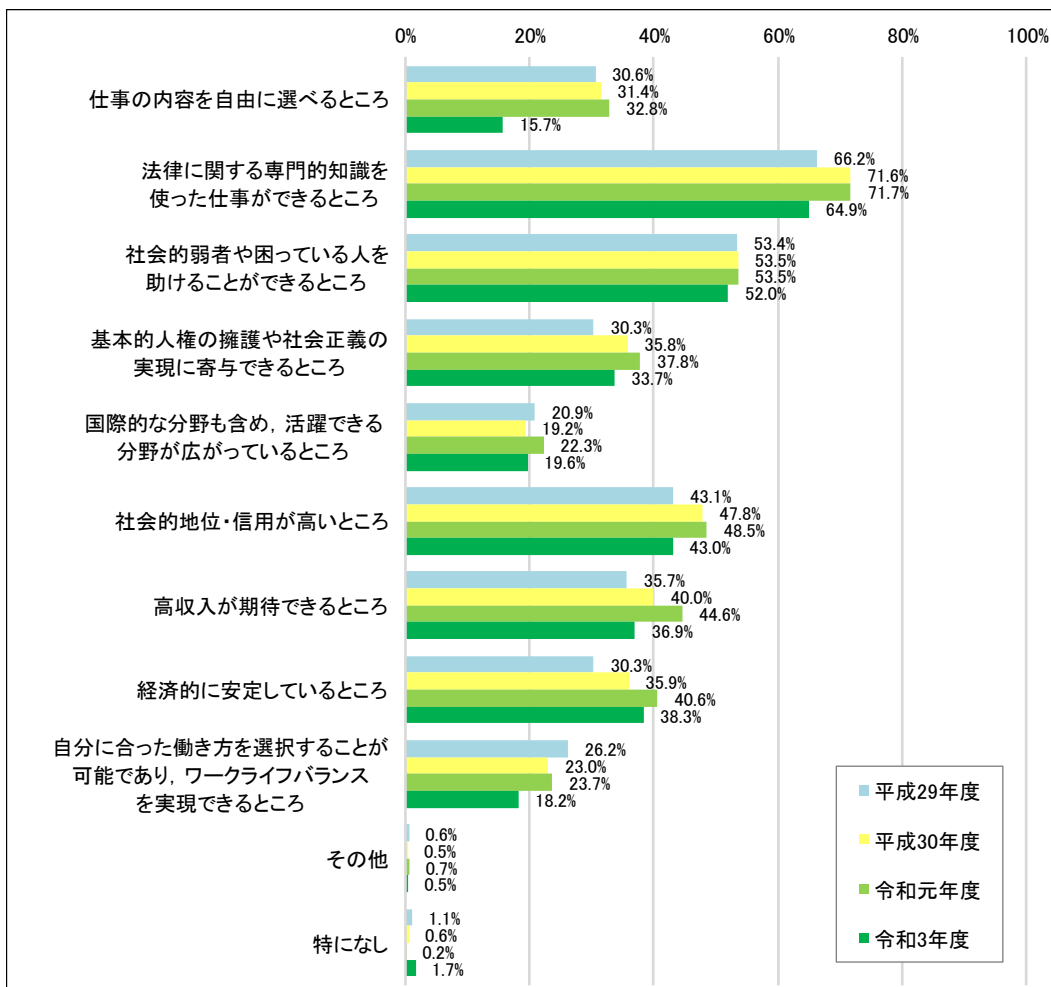
なお、「その他」として、令和3年度調査では、「自分のやりたいことができる可能性が高い」、「法律を知っていれば、今後生きていく上で大きなアドバンテージになる」、「離婚や相続等で自分や家族が当事者になっても安心」、「裁判官や検察官は全国転勤ができる」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



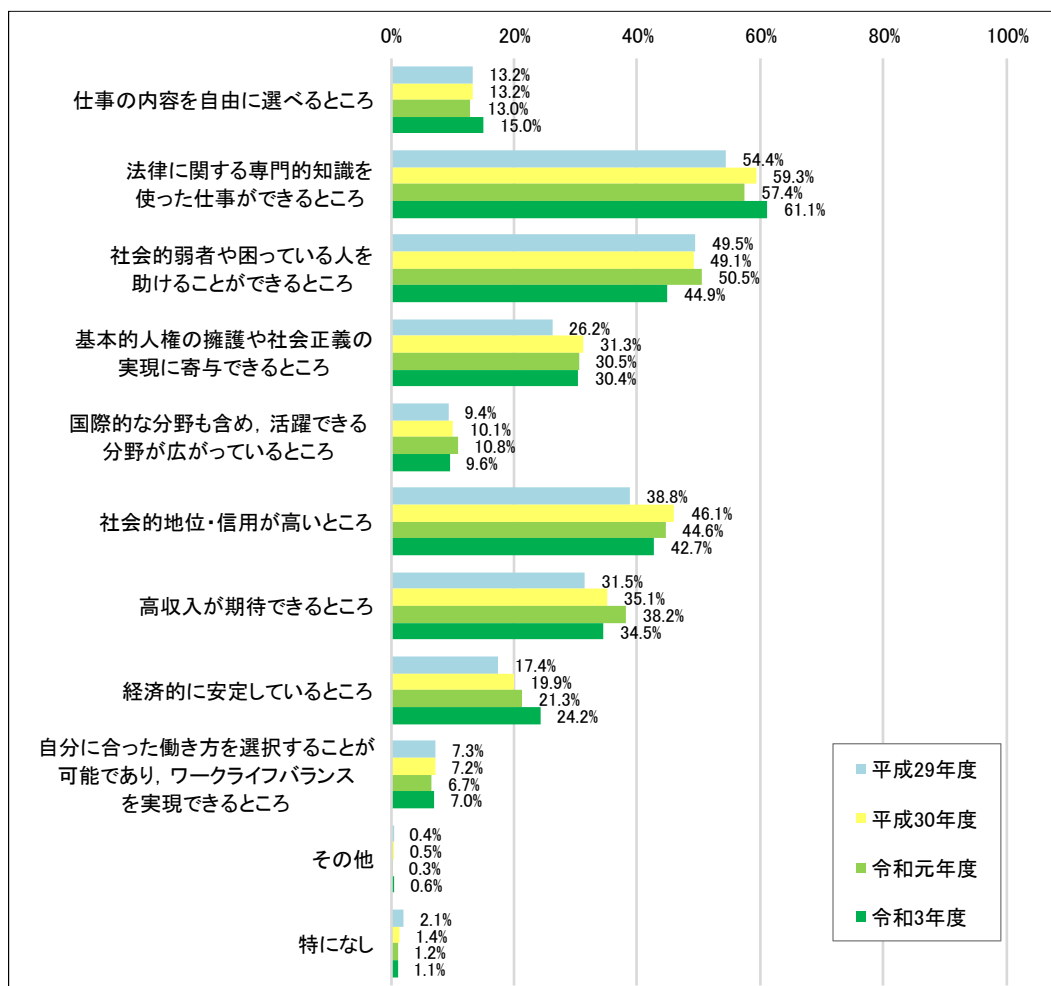
MA	選択肢	仕事の内容を自由に選べる	法律に関する専門的知識を使った仕事ができる	社会的弱者や困っている人を助けることができる	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できる	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっている	社会的地位・信用が高い	高収入が期待できる	経済的に安定している	自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できる	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	741	1,450	1,039	635	397	972	840	622	427	21	38	2,212
	割合	33.5%	65.6%	47.0%	28.7%	17.9%	43.9%	38.0%	28.1%	19.3%	0.9%	1.7%	-
平成30年度	回答数	617	1,246	843	602	333	877	753	587	336	10	19	1,751
	割合	35.2%	71.2%	48.1%	34.4%	19.0%	50.1%	43.0%	33.5%	19.2%	0.6%	1.1%	-
令和元年度	回答数	573	1,068	735	518	292	743	685	593	305	13	13	1,515
	割合	37.8%	70.5%	48.5%	34.2%	19.3%	49.0%	45.2%	39.1%	20.1%	0.9%	0.9%	-
令和3年度	回答数	466	1,523	1,112	740	421	1,072	955	862	393	14	42	2,366
	割合	19.7%	64.4%	47.0%	31.3%	17.8%	45.3%	40.4%	36.4%	16.6%	0.6%	1.8%	-

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



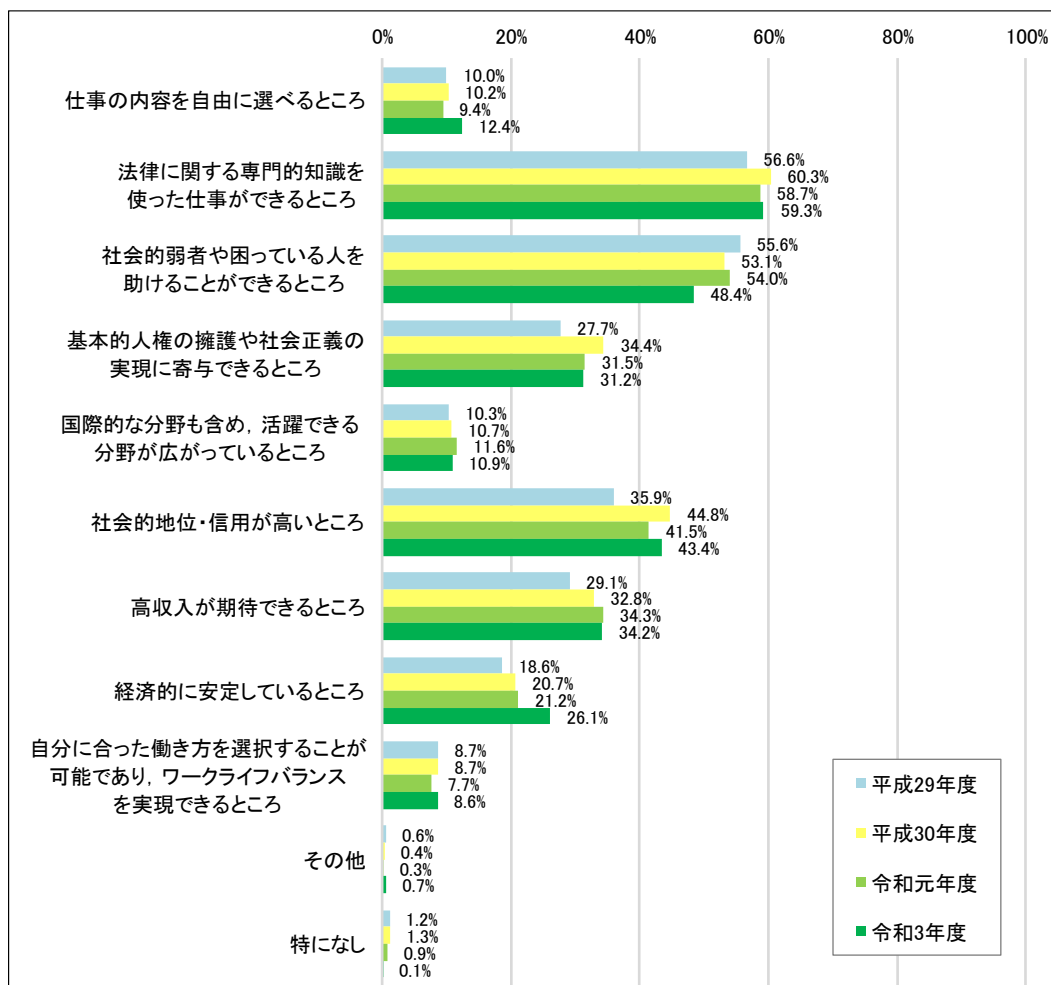
MA	選択肢	仕事の内容を自由に選べる場所	法律に関する専門的知識を使った仕事ができる場所	社会的弱者や困っている人を助けることができる場所	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できる場所	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっている場所	社会的地位・信用が高い場所	高収入が期待できる場所	経済的に安定している場所	自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できる場所	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	242	524	422	240	165	341	282	240	207	5	9	791
	割合	30.6%	66.2%	53.4%	30.3%	20.9%	43.1%	35.7%	30.3%	26.2%	0.6%	1.1%	-
平成30年度	回答数	209	476	356	238	128	318	266	239	153	3	4	665
	割合	31.4%	71.6%	53.5%	35.8%	19.2%	47.8%	40.0%	35.9%	23.0%	0.5%	0.6%	-
令和元年度	回答数	190	415	310	219	129	281	258	235	137	4	1	579
	割合	32.8%	71.7%	53.5%	37.8%	22.3%	48.5%	44.6%	40.6%	23.7%	0.7%	0.2%	-
令和3年度	回答数	160	661	529	343	200	438	376	390	185	5	17	1,018
	割合	15.7%	64.9%	52.0%	33.7%	19.6%	43.0%	36.9%	38.3%	18.2%	0.5%	1.7%	-

ウ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



MA	選択肢	仕事の内容を自由に選べる	法律に関する専門的知識を使った仕事ができる	社会的弱者や困っている人を助けることができる	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できる	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっている	社会的地位・信用が高い	高収入が期待できる	経済的に安定している	自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できる	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	373	1,533	1,394	738	264	1,093	888	491	206	12	59	2,819
	割合	13.2%	54.4%	49.5%	26.2%	9.4%	38.8%	31.5%	17.4%	7.3%	0.4%	2.1%	-
平成30年度	回答数	272	1,219	1,010	643	208	947	722	410	148	10	29	2,056
	割合	13.2%	59.3%	49.1%	31.3%	10.1%	46.1%	35.1%	19.9%	7.2%	0.5%	1.4%	-
令和元年度	回答数	223	988	868	525	186	767	657	367	115	6	20	1,720
	割合	13.0%	57.4%	50.5%	30.5%	10.8%	44.6%	38.2%	21.3%	6.7%	0.3%	1.2%	-
令和3年度	回答数	203	825	606	411	129	577	466	327	95	8	15	1,350
	割合	15.0%	61.1%	44.9%	30.4%	9.6%	42.7%	34.5%	24.2%	7.0%	0.6%	1.1%	-

エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



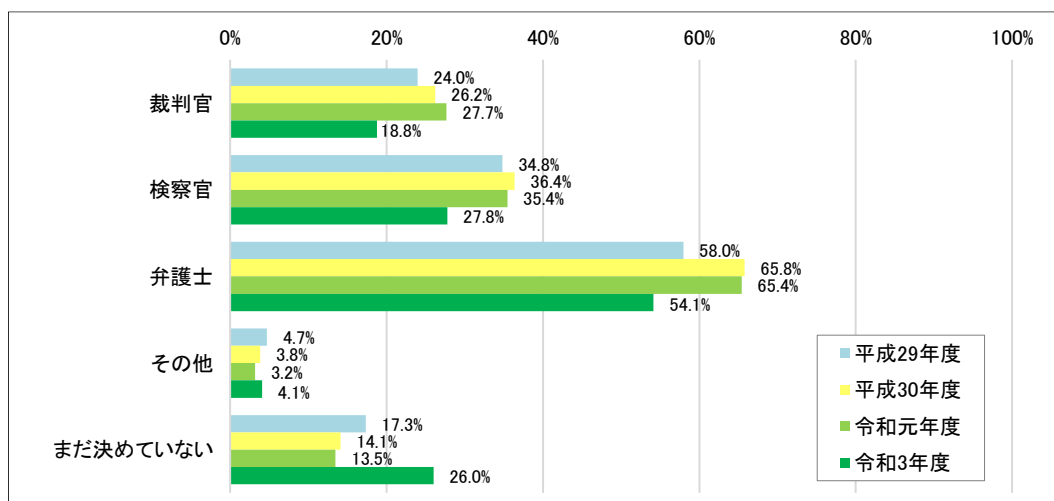
MA	選択肢	仕事の内容を自由に選べる	法律に関する専門的知識を使った仕事ができる	社会的弱者や困っている人を助けることができる	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できる	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっている	社会的地位・信用が高い	高収入が期待できる	経済的に安定している	自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できる	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	126	712	699	348	130	452	366	234	110	8	15	1,258
	割合	10.0%	56.6%	55.6%	27.7%	10.3%	35.9%	29.1%	18.6%	8.7%	0.6%	1.2%	-
平成30年度	回答数	102	601	529	343	107	446	327	206	87	4	13	996
	割合	10.2%	60.3%	53.1%	34.4%	10.7%	44.8%	32.8%	20.7%	8.7%	0.4%	1.3%	-
令和元年度	回答数	74	460	423	247	91	325	269	166	60	2	7	784
	割合	9.4%	58.7%	54.0%	31.5%	11.6%	41.5%	34.3%	21.2%	7.7%	0.3%	0.9%	-
令和3年度	回答数	89	425	347	224	78	311	245	187	62	5	1	717
	割合	12.4%	59.3%	48.4%	31.2%	10.9%	43.4%	34.2%	26.1%	8.6%	0.7%	0.1%	-

4. 法曹等としての進路

現在、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹等としてどのような進路を考えているかを尋ねた結果、平成29年度以降の全調査において、「弁護士」との回答割合が最も多く、過半数を占め、次いで「検察官」、「裁判官」の順となった。

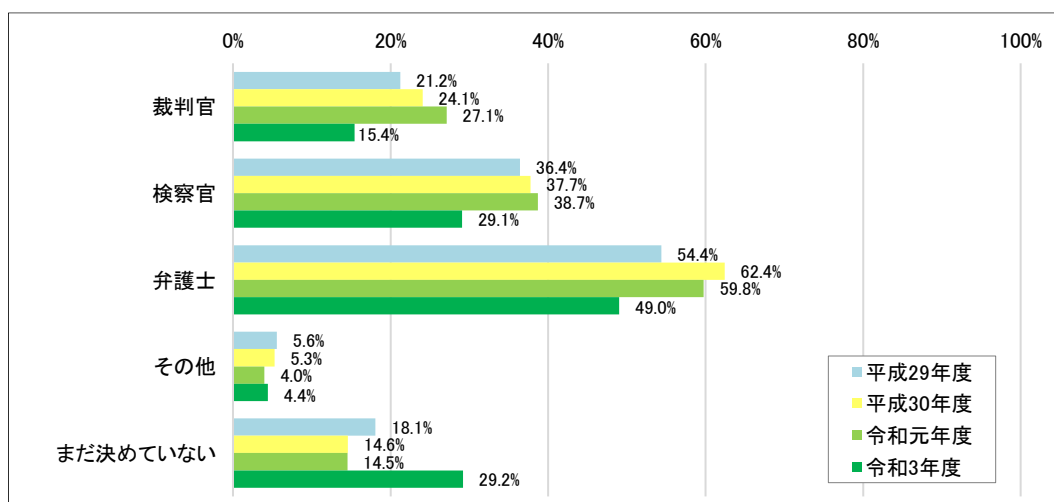
女性に限って見た場合も、全体と比べて顕著な違いは見られなかった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	裁判官	検察官	弁護士	その他	まだ決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	530	770	1,282	104	383	2,212
	割合	24.0%	34.8%	58.0%	4.7%	17.3%	-
平成 30 年度	回答数	459	637	1,152	67	247	1,751
	割合	26.2%	36.4%	65.8%	3.8%	14.1%	-
令和元年度	回答数	419	537	991	48	204	1,515
	割合	27.7%	35.4%	65.4%	3.2%	13.5%	-
令和 3 年度	回答数	444	657	1,281	96	615	2,366
	割合	18.8%	27.8%	54.1%	4.1%	26.0%	-

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	裁判官	検察官	弁護士	その他	まだ決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	168	288	430	44	143	791
	割合	21.2%	36.4%	54.4%	5.6%	18.1%	-
平成 30 年度	回答数	160	251	415	35	97	665
	割合	24.1%	37.7%	62.4%	5.3%	14.6%	-
令和元年度	回答数	157	224	346	23	84	579
	割合	27.1%	38.7%	59.8%	4.0%	14.5%	-
令和 3 年度	回答数	157	296	499	45	297	1,018
	割合	15.4%	29.1%	49.0%	4.4%	29.2%	-

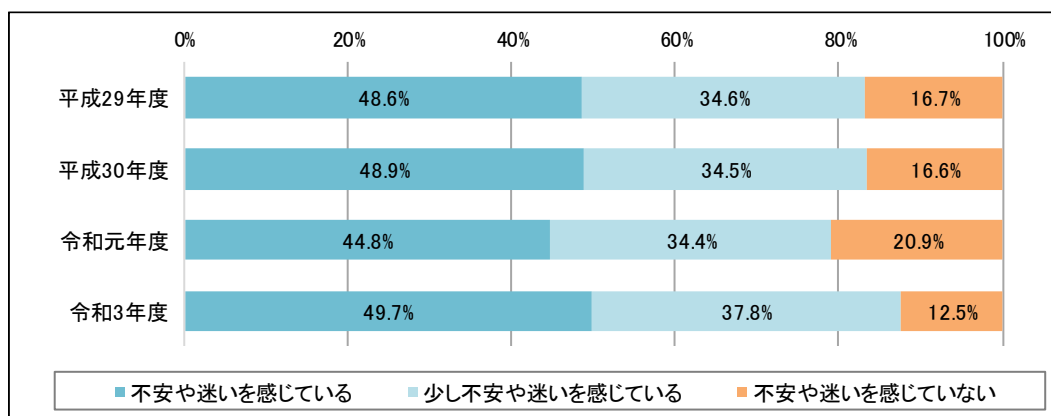
第5 法曹等を志望するに当たっての不安や迷い、法曹等を断念した理由等

1. 法曹等を志望するに当たっての不安や迷いの有無

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹等を志望するに当たって不安や迷いを感じているかを尋ねた結果、半数近い学生が「不安や迷いを感じている」と回答した。「不安や迷いを感じている」と「少し不安や迷いを感じている」の回答割合の合計は、平成29年度以降、80%前後で推移してきたところ、令和3年度調査では87.5%に増加している。

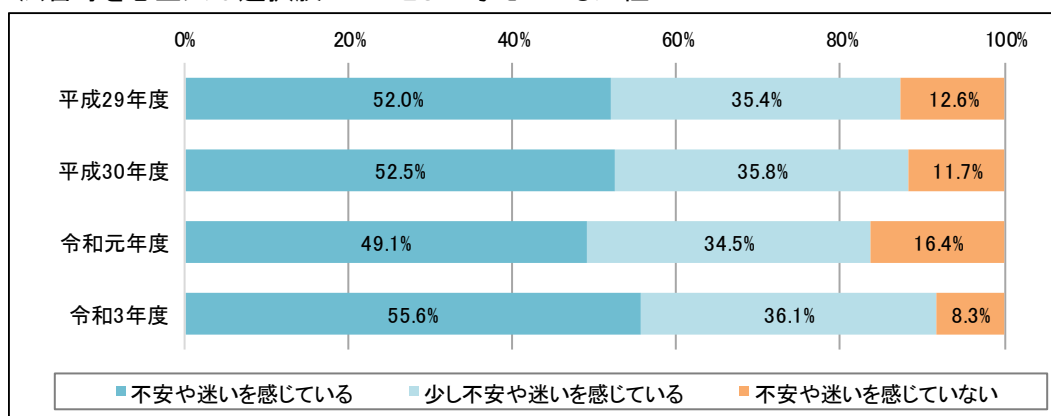
女性に限って見た場合、全体的な傾向に大きな違いはないが、不安や迷いを感じている割合が相対的に高い。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	不安や迷いを感じている	少し不安や迷いを感じている	不安や迷いを感じていない	回答者数
平成29年度	回答数	1,076	766	370	2,212
	割合	48.6%	34.6%	16.7%	100.0%
平成30年度	回答数	856	604	291	1,751
	割合	48.9%	34.5%	16.6%	100.0%
令和元年度	回答数	678	521	316	1,515
	割合	44.8%	34.4%	20.9%	100.0%
令和3年度	回答数	1,177	894	295	2,366
	割合	49.7%	37.8%	12.5%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	不安や迷いを感じている	少し不安や迷いを感じている	不安や迷いを感じていない	回答者数
平成29年度	回答数	411	280	100	791
	割合	52.0%	35.4%	12.6%	100.0%
平成30年度	回答数	349	238	78	665
	割合	52.5%	35.8%	11.7%	100.0%
令和元年度	回答数	284	200	95	579
	割合	49.1%	34.5%	16.4%	100.0%
令和3年度	回答数	566	367	85	1,018
	割合	55.6%	36.1%	8.3%	100.0%

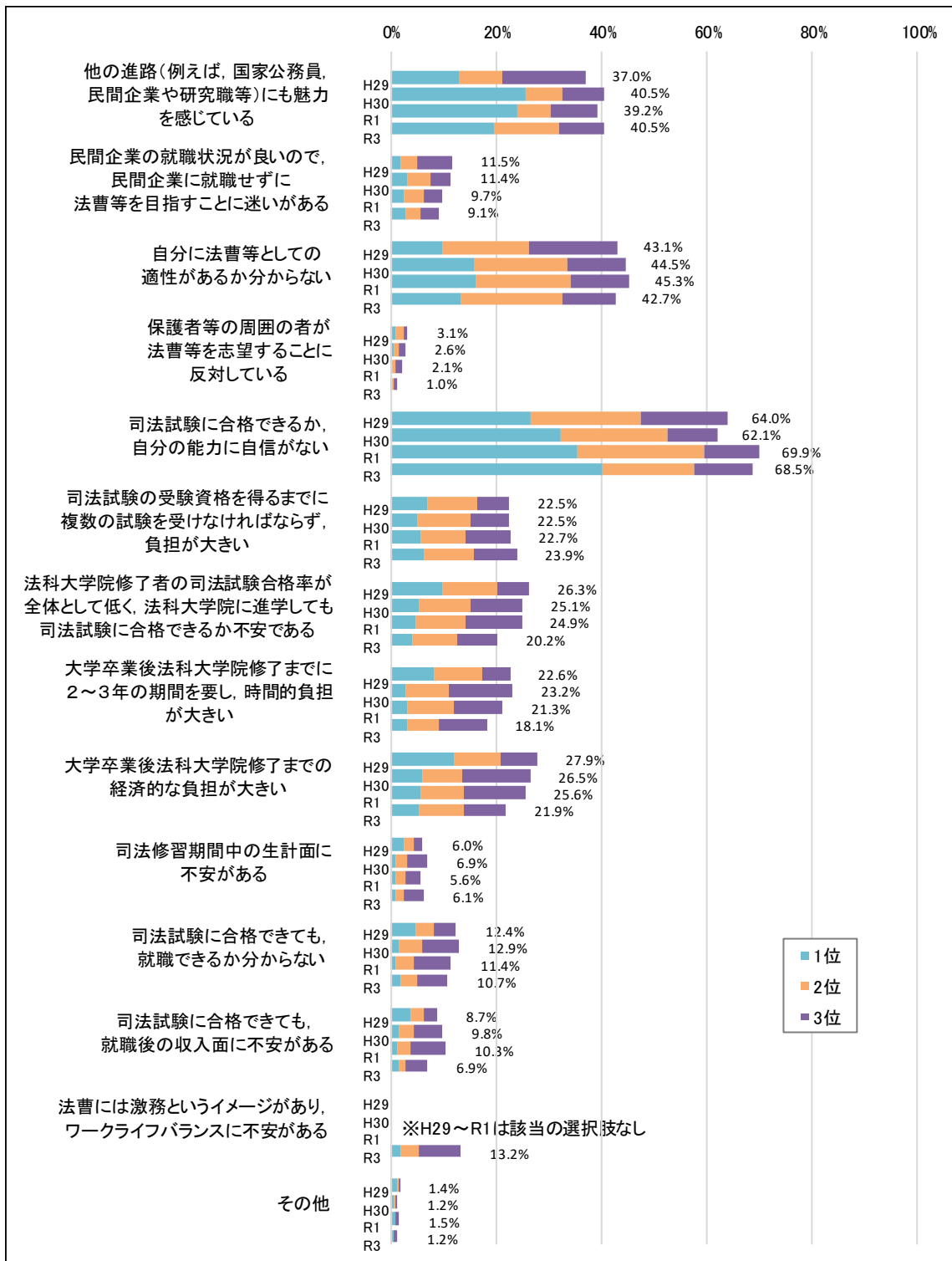
2. 法曹等を志望するに当たって感じている不安や迷いの内容

法曹等を志望するに当たって不安や迷いを感じていると回答した学生に、不安や迷いの内容について大きいものから順に3つ選んでもらった結果、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない」との回答が最も多く、60%以上となった。続いて、「自分に法曹等としての適性があるか分からない」との回答割合が40%以上、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている」との回答割合が40%前後であった。一方、経済的負担や時間的負担の大きさを挙げる学生の割合は減少傾向にあり、令和3年度調査ではいずれも20%前後であった。

女性に限って見た場合も大きな差はないが、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない」との回答割合が、全体に比して相対的に高かった。

なお、「その他」として、令和3年度調査では、「法科大学院に合格できるか/授業についていけるか不安」、「大学生生活/就職活動と試験勉強を両立できるか不安」、「法科大学院進学までに必要なことや留学などについての情報が少ない」、「司法試験の勉強に専念することで選択肢が狭まってしまうことに不安を感じる」、「法曹になっても現場に対応できるか、続けていけるか不安」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

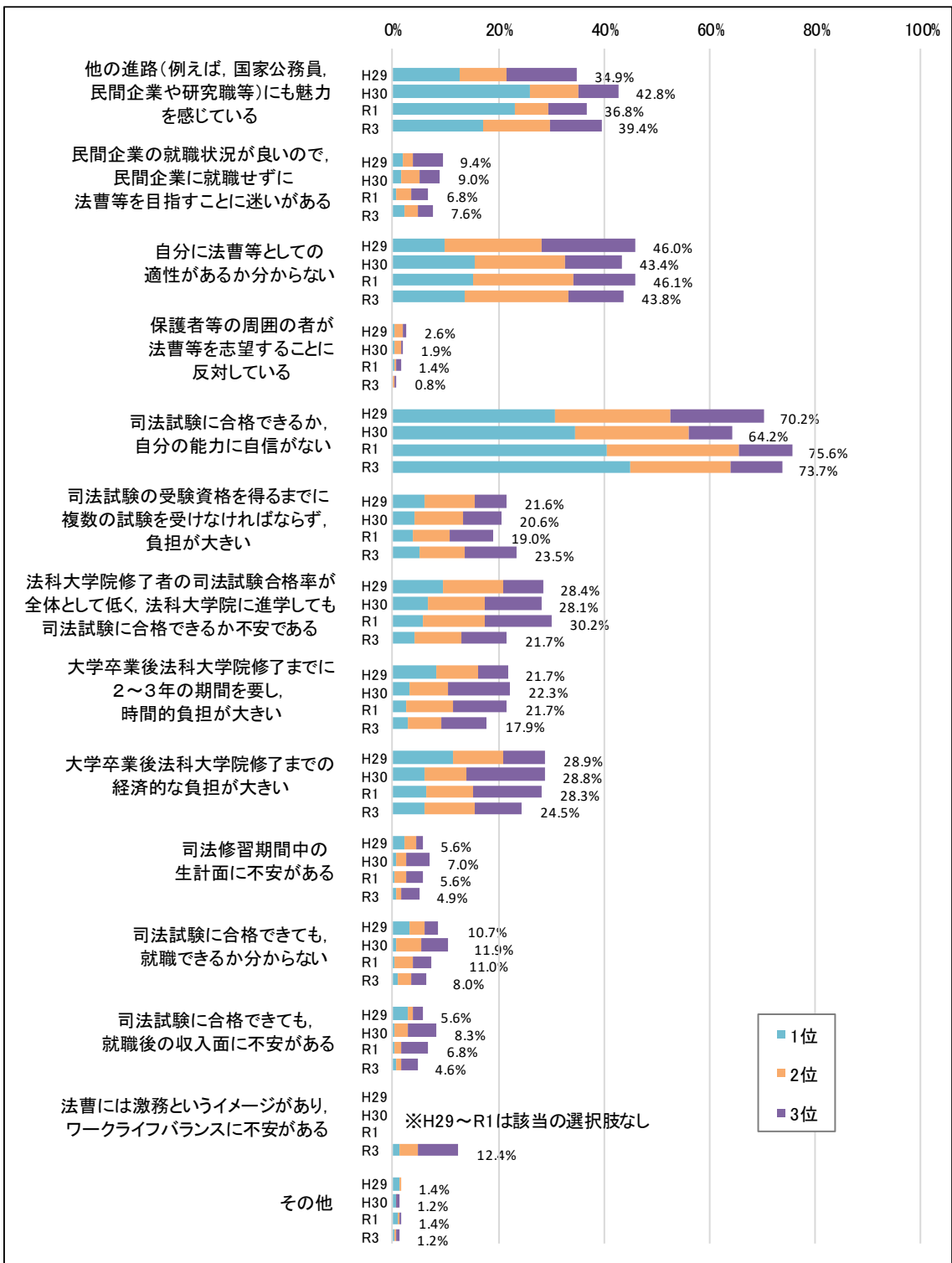


	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せず法曹を目指すことに迷いがある	自分に法曹等としての適性があるか分からない	保護者等の周囲者が法曹等を志望することに反対している	司法試験に合格できるか、自信がない	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	司法修習期間中の生活に不安がある	司法試験に合格できても、就職先が不安	司法試験に合格できても、就職後の収入に不安がある	法曹には激務というイメージがあり、ワークライフバランスに不安がある	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度	回答数	235	30	180	13	488	127	181	148	222	45	84	69	-	20	0	1,842
		割合	12.8%	1.6%	9.8%	0.7%	26.5%	6.9%	9.8%	8.0%	12.1%	2.4%	4.6%	3.7%	-	1.1%	0.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	374	44	229	6	470	74	76	41	84	12	20	21	-	9	0	1,460
		割合	25.6%	3.0%	15.7%	0.4%	32.2%	5.1%	5.2%	2.8%	5.8%	0.8%	1.4%	1.4%	-	0.6%	0.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	287	29	192	2	425	66	56	37	66	8	10	12	-	9	0	1,199
		割合	23.9%	2.4%	16.0%	0.2%	35.4%	5.5%	4.7%	3.1%	5.5%	0.7%	0.8%	1.0%	-	0.8%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	402	56	271	1	834	127	86	64	110	14	36	28	34	8	0	2,071
		割合	19.4%	2.7%	13.1%	0.0%	40.3%	6.1%	4.2%	3.1%	5.3%	0.7%	1.7%	1.4%	1.6%	0.4%	0.0%	100.0%
2位	平成29年度	回答数	155	62	300	30	385	175	193	168	162	35	64	47	-	4	62	1,842
		割合	8.4%	3.4%	16.3%	1.6%	20.9%	9.5%	10.5%	9.1%	8.8%	1.9%	3.5%	2.6%	-	0.2%	3.4%	100.0%
	平成30年度	回答数	101	66	262	17	298	146	145	121	114	32	66	44	-	3	45	1,460
		割合	6.9%	4.5%	17.9%	1.2%	20.4%	10.0%	9.9%	8.3%	7.8%	2.2%	4.5%	3.0%	-	0.2%	3.1%	100.0%
	令和元年度	回答数	76	46	218	8	288	105	115	105	99	26	42	31	-	2	38	1,199
		割合	6.3%	3.8%	18.2%	0.7%	24.0%	8.8%	9.6%	8.8%	8.3%	2.2%	3.5%	2.6%	-	0.2%	3.2%	100.0%
	令和3年度	回答数	257	61	402	10	361	197	173	126	178	36	65	28	78	5	94	2,071
		割合	12.4%	2.9%	19.4%	0.5%	17.4%	9.5%	8.4%	6.1%	8.6%	1.7%	3.1%	1.4%	3.8%	0.2%	4.5%	100.0%
3位	平成29年度	回答数	291	119	313	14	306	113	111	100	130	31	80	45	-	2	187	1,842
		割合	15.8%	6.5%	17.0%	0.8%	16.6%	6.1%	6.0%	5.4%	7.1%	1.7%	4.3%	2.4%	-	0.1%	10.2%	100.0%
	平成30年度	回答数	117	56	159	15	139	108	145	176	189	57	102	78	-	6	113	1,460
		割合	8.0%	3.8%	10.9%	1.0%	9.5%	7.4%	9.9%	12.1%	12.9%	3.9%	7.0%	5.3%	-	0.4%	7.7%	100.0%
	令和元年度	回答数	107	41	133	15	125	101	127	113	142	33	85	80	-	7	90	1,199
		割合	8.9%	3.4%	11.1%	1.3%	10.4%	8.4%	10.6%	9.4%	11.8%	2.8%	7.1%	6.7%	-	0.6%	7.5%	100.0%
	令和3年度	回答数	180	71	212	10	224	171	160	185	165	77	121	86	162	11	236	2,071
		割合	8.7%	3.4%	10.2%	0.5%	10.8%	8.3%	7.7%	8.9%	8.0%	3.7%	5.8%	4.2%	7.8%	0.5%	11.4%	100.0%
合計	平成29年度	回答数	681	211	793	57	1,179	415	485	416	514	111	228	161	-	26	249	1,842
		割合	37.0%	11.5%	43.1%	3.1%	64.0%	22.5%	26.3%	22.6%	27.9%	6.0%	12.4%	8.7%	-	1.4%	13.5%	100.0%
	平成30年度	回答数	592	166	650	38	907	328	366	338	387	101	188	143	-	18	158	1,460
		割合	40.5%	11.4%	44.5%	2.6%	62.1%	22.5%	25.1%	23.2%	26.5%	6.9%	12.9%	9.8%	-	1.2%	10.8%	100.0%
	令和元年度	回答数	470	116	543	25	838	272	298	255	307	67	137	123	-	18	128	1,199
		割合	39.2%	9.7%	45.3%	2.1%	69.9%	22.7%	24.9%	21.3%	25.6%	5.6%	11.4%	10.3%	-	1.5%	10.7%	100.0%
	令和3年度	回答数	839	188	885	21	1,419	495	419	375	453	127	222	142	274	24	330	2,071
		割合	40.5%	9.1%	42.7%	1.0%	68.5%	23.9%	20.2%	18.1%	21.9%	6.1%	10.7%	6.9%	13.2%	1.2%	15.9%	100.0%

※10 番目の選択肢については、平成 28 年度調査においては「司法修習の 1 年間、貸与制の下で給与の支給を受けられない」

※13 番目の選択肢(激務でワークライフバランスに不安がある)は令和 3 年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せず法曹を目指すことに迷いがある	自分に法曹等としての適性があるから分らない	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	司法修習期間中の生計面に不安がある	司法試験に合格できても、就職先が分らない	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	法曹には激務というイメージがあり、ワークライフバランスに不安がある	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度	回答数	88	13	68	2	212	42	65	56	78	16	23	20	-	8	0	691
		割合	12.7%	1.9%	9.8%	0.3%	30.7%	6.1%	9.4%	8.1%	11.3%	2.3%	3.3%	2.9%	-	1.2%	0.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	152	10	92	2	203	24	39	18	36	3	3	2	-	3	0	587
		割合	25.9%	1.7%	15.7%	0.3%	34.6%	4.1%	6.6%	3.1%	6.1%	0.5%	0.5%	0.3%	-	0.5%	0.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	112	3	73	1	196	19	28	12	30	1	2	2	-	5	0	484
		割合	23.1%	0.6%	15.1%	0.2%	40.5%	3.9%	5.8%	2.5%	6.2%	0.2%	0.4%	0.4%	-	1.0%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	160	21	126	0	421	47	38	28	56	5	8	7	13	3	0	933
		割合	17.1%	2.3%	13.5%	0.0%	45.1%	5.0%	4.1%	3.0%	6.0%	0.5%	0.9%	0.8%	1.4%	0.3%	0.0%	100.0%
2位	平成29年度	回答数	60	14	127	12	152	65	80	55	66	14	18	7	-	2	19	691
		割合	8.7%	2.0%	18.4%	1.7%	22.0%	9.4%	11.6%	8.0%	9.6%	2.0%	2.6%	1.0%	-	0.3%	2.7%	100.0%
	平成30年度	回答数	55	19	100	8	127	55	63	43	46	12	29	14	-	1	15	587
		割合	9.4%	3.2%	17.0%	1.4%	21.6%	9.4%	10.7%	7.3%	7.8%	2.0%	4.9%	2.4%	-	0.2%	2.6%	100.0%
	令和元年度	回答数	30	14	92	2	122	33	57	43	43	11	17	5	-	1	14	484
		割合	6.2%	2.9%	19.0%	0.4%	25.2%	6.8%	11.8%	8.9%	8.9%	2.3%	3.5%	1.0%	-	0.2%	2.9%	100.0%
	令和3年度	回答数	118	22	183	4	175	80	83	57	88	11	26	9	31	3	43	933
		割合	12.6%	2.4%	19.6%	0.4%	18.8%	8.6%	8.9%	6.1%	9.4%	1.2%	2.8%	1.0%	3.3%	0.3%	4.6%	100.0%
3位	平成29年度	回答数	93	38	123	4	121	42	51	39	56	9	33	12	-	0	70	691
		割合	13.5%	5.5%	17.8%	0.6%	17.5%	6.1%	7.4%	5.6%	8.1%	1.3%	4.8%	1.7%	-	0.0%	10.1%	100.0%
	平成30年度	回答数	44	24	63	1	47	42	63	70	87	26	38	33	-	3	46	587
		割合	7.5%	4.1%	10.7%	0.2%	8.0%	7.2%	10.7%	11.9%	14.8%	4.4%	6.5%	5.6%	-	0.5%	7.8%	100.0%
	令和元年度	回答数	36	16	58	4	48	40	61	50	64	15	34	26	-	1	31	484
		割合	7.4%	3.3%	12.0%	0.8%	9.9%	8.3%	12.6%	10.3%	13.2%	3.1%	7.0%	5.4%	-	0.2%	6.4%	100.0%
	令和3年度	回答数	90	28	100	3	92	92	81	82	85	30	41	27	72	5	105	933
		割合	9.6%	3.0%	10.7%	0.3%	9.9%	9.9%	8.7%	8.8%	9.1%	3.2%	4.4%	2.9%	7.7%	0.5%	11.3%	100.0%
合計	平成29年度	回答数	241	65	318	18	485	149	196	150	200	39	74	39	-	10	89	691
		割合	34.9%	9.4%	46.0%	2.6%	70.2%	21.6%	28.4%	21.7%	28.9%	5.6%	10.7%	5.6%	-	1.4%	12.9%	100.0%
	平成30年度	回答数	251	53	255	11	377	121	165	131	169	41	70	49	-	7	61	587
		割合	42.8%	9.0%	43.4%	1.9%	64.2%	20.6%	28.1%	22.3%	28.8%	7.0%	11.9%	8.3%	-	1.2%	10.4%	100.0%
	令和元年度	回答数	178	33	223	7	366	92	146	105	137	27	53	33	-	7	45	484
		割合	36.8%	6.8%	46.1%	1.4%	75.6%	19.0%	30.2%	21.7%	28.3%	5.6%	11.0%	6.8%	-	1.4%	9.3%	100.0%
	令和3年度	回答数	368	71	409	7	688	219	202	167	229	46	75	43	116	11	148	933
		割合	39.4%	7.6%	43.8%	0.8%	73.7%	23.5%	21.7%	17.9%	24.5%	4.9%	8.0%	4.6%	12.4%	1.2%	15.9%	100.0%

※10 番目の選択肢については、平成 28 年度調査においては「司法修習の 1 年間、貸与制の下で給与の支給を受けられない」

※13 番目の選択肢(激務でワークライフバランスに不安がある)は令和 3 年度調査から新たに設けたもの

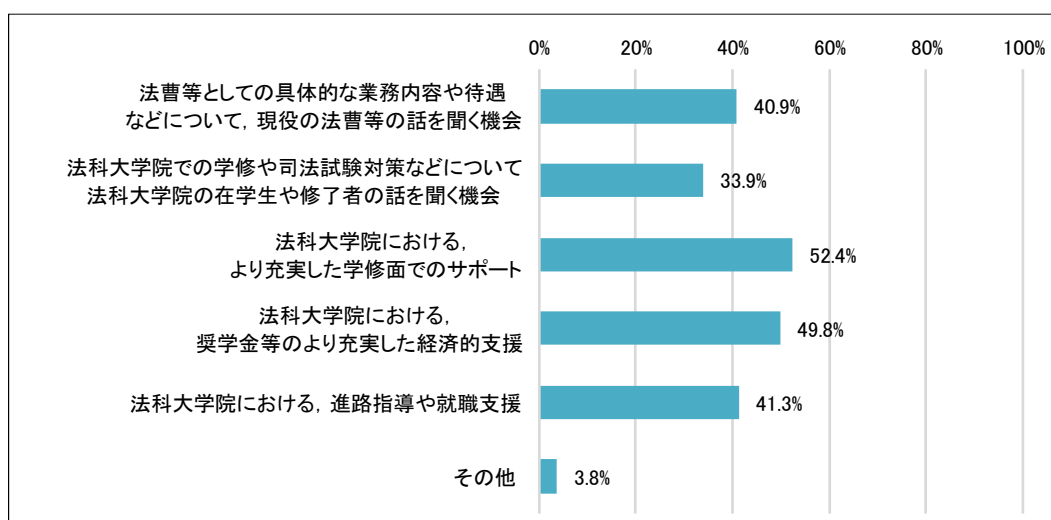
3. 不安や迷いを軽減、払拭するためにあつたらよいと思うもの

法曹等を志望するに当たって不安や迷いを感じていると回答した学生に、不安や迷いを軽減、払拭するためにあつたらよいと思うものを尋ねた結果、「法科大学院における、より充実した学修面でのサポート」及び「法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援」との回答割合が50%前後と最も高かった。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

なお、「その他」として、令和3年度調査では、学部における「より充実した学修面でのサポート」、「法学以外の勉強の負担軽減」、法科大学院における「社会人になった後も仕事と両立できるカリキュラム」、「法曹資格者による指導機会の拡充」、司法試験に関して「難易度を下げる」、「公認会計士のような科目ごとの合格システム」、「受験資格の見直し(予備試験の撤廃/法学部卒業での受験資格付与)」、「試験回数を増やす(年に2回)」、経済的支援について「予備校につかえる奨学金制度」、「給付型奨学金の拡充」などが挙げられたほか、「弁護士事務所、検察庁、裁判所の見学や業務体験」、「就活と両立して司法試験の勉強をしている先輩に話を伺う機会」、「予備試験合格者の話を聞く機会」、「司法試験に不合格だった人の就職状況などを聞く機会」などの回答があつた。

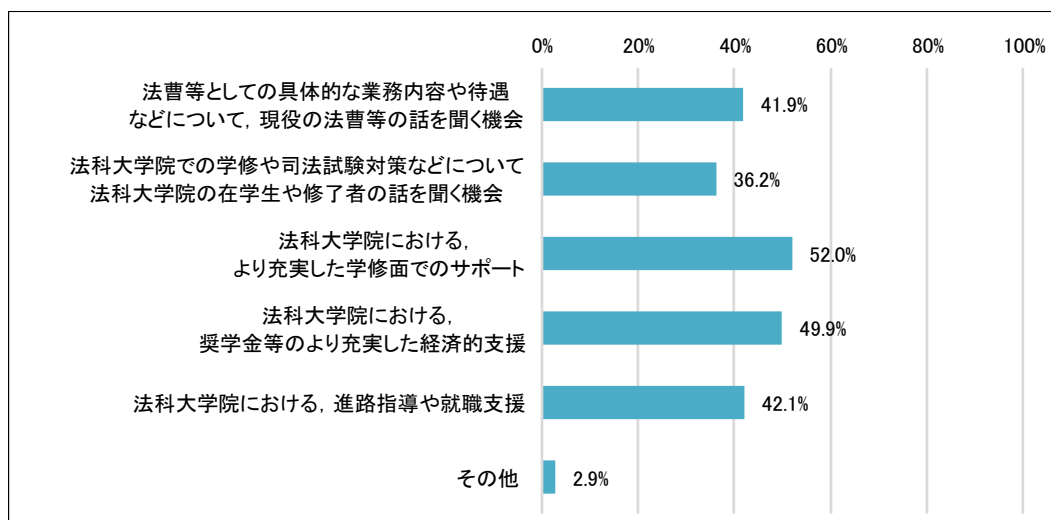
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	法曹等としての具体的な業務内容や待遇などについて、現役の法曹等の話を聞く機会	法科大学院での学修や司法試験対策などについて法科大学院の在學生や修了者の話を聞く機会	法科大学院における、より充実した学修面でのサポート	法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援	法科大学院における、進路指導や就職支援	その他	回答者数
令和3年度	回答数	847	703	1,085	1,032	855	78	2,071
	割合	40.9%	33.9%	52.4%	49.8%	41.3%	3.8%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	法曹等としての具体的な業務内容や待遇などについて、現役の法曹等の話を聞く機会	法科大学院での学修や司法試験対策などについて法科大学院の在學生や修了者の話を聞く機会	法科大学院における、より充実した学修面でのサポート	法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援	法科大学院における、進路指導や就職支援	その他	回答者数
令和3年度	回答数	391	338	485	466	393	27	933
	割合	41.9%	36.2%	52.0%	49.9%	42.1%	2.9%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

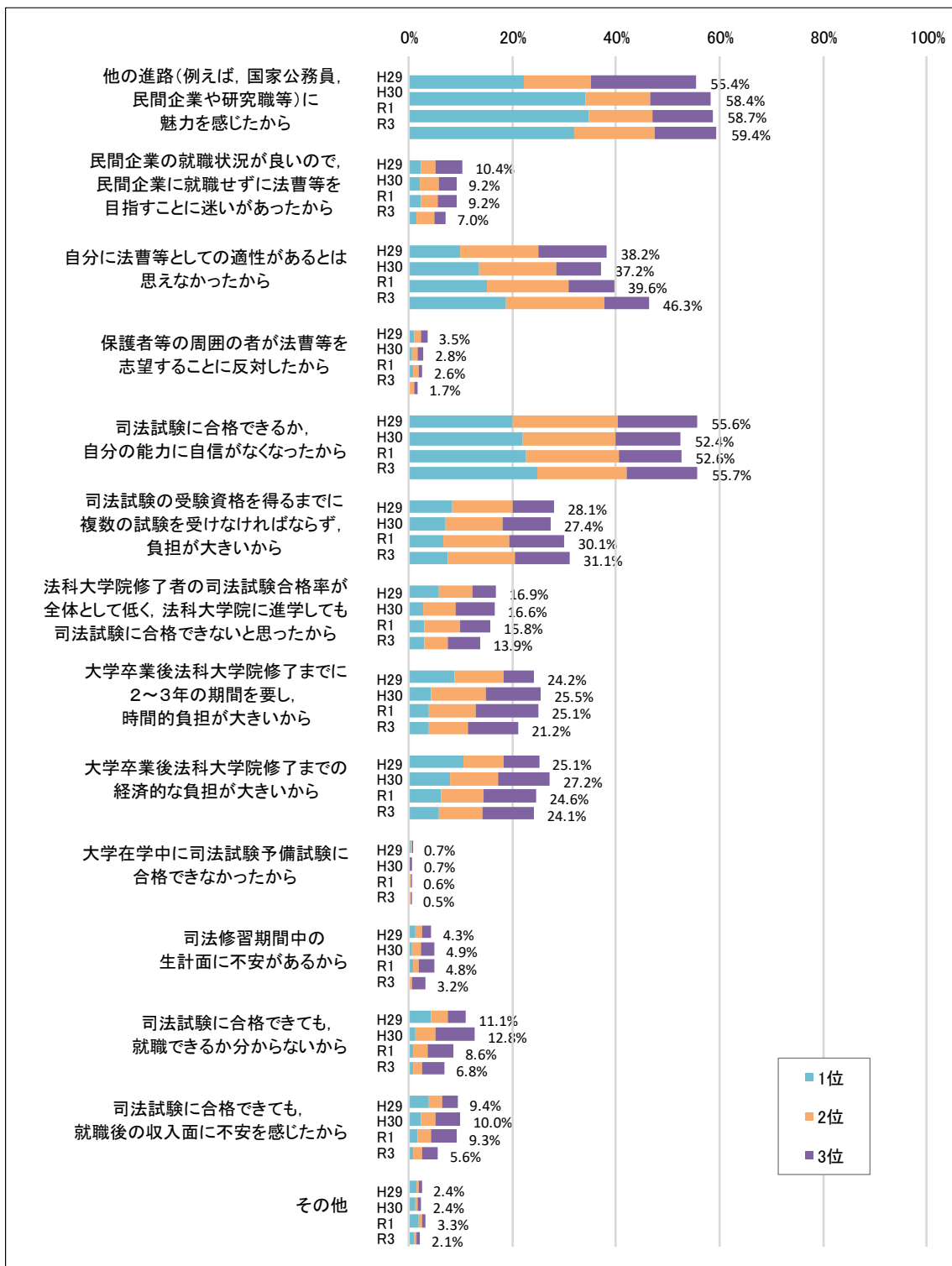
4. 法曹等を断念した(選択肢から外した)理由

過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生に、法曹等を断念した(選択肢から外した)理由を尋ねた結果、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから」との回答割合が60%弱と最も高く、続いて「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから」との回答割合が55%前後となった。次いで回答割合が高いのは「自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから」との選択肢であり、本選択肢の回答割合は平成30年度以降増加傾向にあるところ、令和3年度調査では約46%で令和元年度調査から5ポイント以上増加している。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

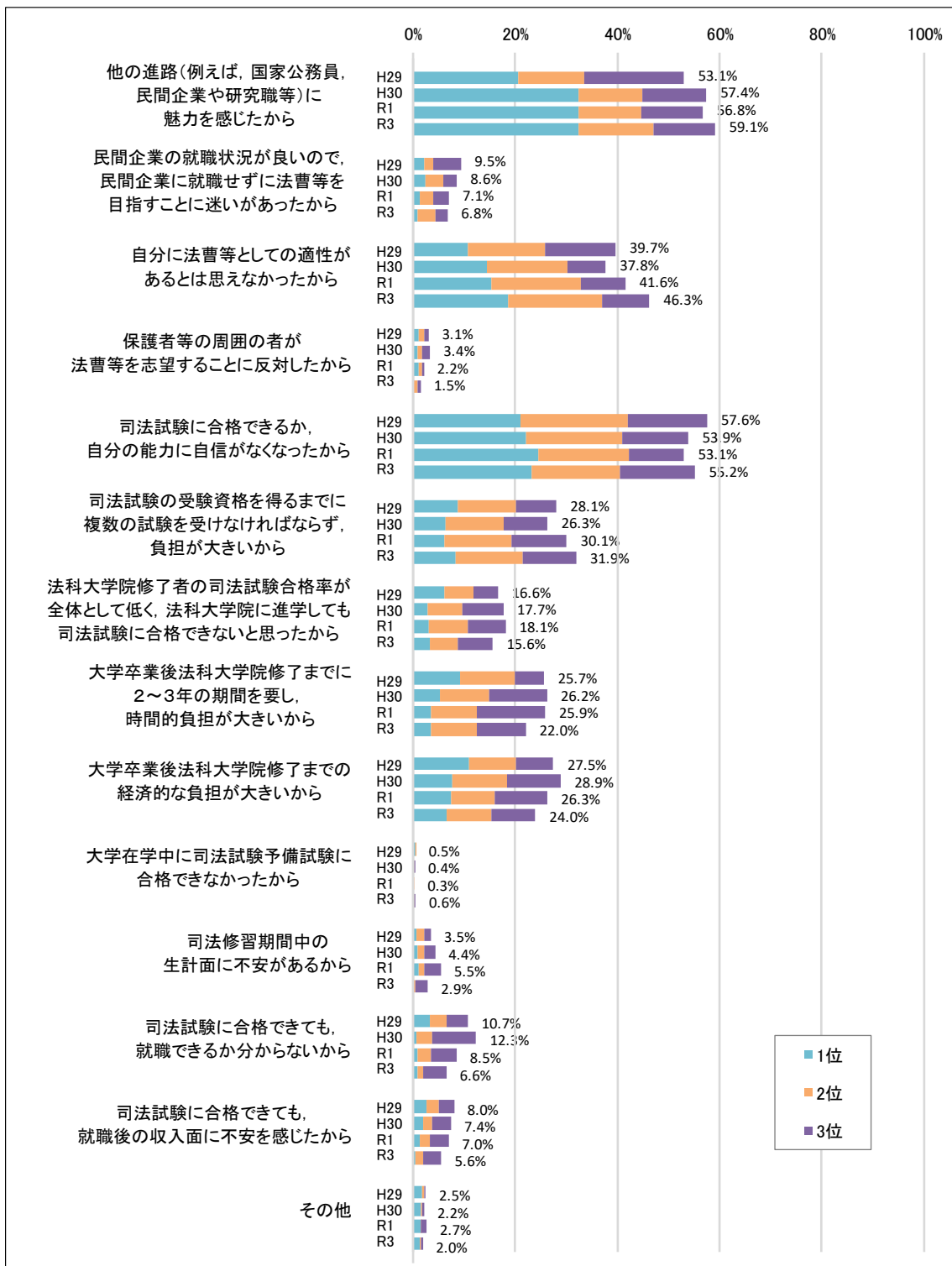
なお、「その他」として、令和3年度調査では、「仕事のハードさ、ワークライフバランスへの不安」、「法科大学院卒業後、法曹になれずに修了(原文ママ)となった場合、就職やキャリアの面で取り返しのつかないほどマイナスになると聞いたから」、「進路が狭まると感じたから」、「より早くお金を稼ぎたいと思ったから」、「弁護士が飽和しており、自分が検察とかになれるほど成績を取れると思わなかったから」などの回答があった。

ア 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



	SA	選択枚数	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せず法曹等を目指すことに迷いがあつたから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなつたから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいか	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思つたから	大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きいか	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいか	大学中に司法試験予備に合格できなかったから	司法修習期間中の生計面に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度	回答数	624	63	281	28	567	238	165	249	294	8	35	120	106	41	0	2,819
		割合	22.1%	2.2%	10.0%	1.0%	20.1%	8.4%	5.9%	8.8%	10.4%	0.3%	1.2%	4.3%	3.8%	1.5%	0.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	700	44	277	12	451	144	58	88	165	2	14	26	48	27	0	2,056
		割合	34.0%	2.1%	13.5%	0.6%	21.9%	7.0%	2.8%	4.3%	8.0%	0.1%	0.7%	1.3%	2.3%	1.3%	0.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	598	40	258	13	389	113	52	65	106	1	12	12	27	34	0	1,720
	割合	34.8%	2.3%	15.0%	0.8%	22.6%	6.6%	3.0%	3.8%	6.2%	0.1%	0.7%	0.7%	1.6%	2.0%	0.0%	100.0%	
	令和3年度	回答数	432	21	254	1	334	100	39	51	79	3	1	10	10	15	0	1,350
	割合	32.0%	1.6%	18.8%	0.1%	24.7%	7.4%	2.9%	3.8%	5.9%	0.2%	0.1%	0.7%	0.7%	1.1%	0.0%	100.0%	
2位	平成29年度	回答数	367	79	424	40	571	329	179	270	220	7	38	94	73	11	117	2,819
		割合	13.0%	2.8%	15.0%	1.4%	20.3%	11.7%	6.3%	9.6%	7.8%	0.2%	1.3%	3.3%	2.6%	0.4%	4.2%	100.0%
	平成30年度	回答数	260	76	309	23	369	227	126	218	188	3	35	79	59	9	75	2,056
		割合	12.6%	3.7%	15.0%	1.1%	17.9%	11.0%	6.1%	10.6%	9.1%	0.1%	1.7%	3.8%	2.9%	0.4%	3.6%	100.0%
	令和元年度	回答数	212	55	272	18	309	221	117	156	141	4	20	49	47	8	91	1,720
	割合	12.3%	3.2%	15.8%	1.0%	18.0%	12.8%	6.8%	9.1%	8.2%	0.2%	1.2%	2.8%	2.7%	0.5%	5.3%	100.0%	
	令和3年度	回答数	210	45	255	12	233	175	62	104	114	1	7	23	23	6	80	1,350
	割合	15.6%	3.3%	18.9%	0.9%	17.3%	13.0%	4.6%	7.7%	8.4%	0.1%	0.5%	1.7%	1.7%	0.4%	5.9%	100.0%	
3位	平成29年度	回答数	571	151	373	31	430	225	132	163	194	4	48	98	87	17	295	2,819
		割合	20.3%	5.4%	13.2%	1.1%	15.3%	8.0%	4.7%	5.8%	6.9%	0.1%	1.7%	3.5%	3.1%	0.6%	10.5%	100.0%
	平成30年度	回答数	240	70	178	23	258	192	157	219	207	9	52	158	98	13	182	2,056
		割合	11.7%	3.4%	8.7%	1.1%	12.5%	9.3%	7.6%	10.7%	10.1%	0.4%	2.5%	7.7%	4.8%	0.6%	8.9%	100.0%
	令和元年度	回答数	199	63	151	14	206	183	103	210	176	5	51	87	86	14	172	1,720
	割合	11.6%	3.7%	8.8%	0.8%	12.0%	10.6%	6.0%	12.2%	10.2%	0.3%	3.0%	5.1%	5.0%	0.8%	10.0%	100.0%	
	令和3年度	回答数	160	29	116	10	185	145	86	131	133	3	35	59	43	8	207	1,350
	割合	11.9%	2.1%	8.6%	0.7%	13.7%	10.7%	6.4%	9.7%	9.9%	0.2%	2.6%	4.4%	3.2%	0.6%	15.3%	100.0%	
合計	平成29年度	回答数	1,562	293	1,078	99	1,568	792	476	682	708	19	121	312	266	69	412	2,819
		割合	55.4%	10.4%	38.2%	3.5%	55.6%	28.1%	16.9%	24.2%	25.1%	0.7%	4.3%	11.1%	9.4%	2.4%	14.6%	100.0%
	平成30年度	回答数	1,200	190	764	58	1,078	563	341	525	560	14	101	263	205	49	257	2,056
		割合	58.4%	9.2%	37.2%	2.8%	52.4%	27.4%	16.6%	25.5%	27.2%	0.7%	4.9%	12.8%	10.0%	2.4%	12.5%	100.0%
	令和元年度	回答数	1,009	158	681	45	904	517	272	431	423	10	83	148	160	56	263	1,720
	割合	58.7%	9.2%	39.6%	2.6%	52.6%	30.1%	15.8%	25.1%	24.6%	0.6%	4.8%	8.6%	9.3%	3.3%	15.3%	100.0%	
	令和3年度	回答数	802	95	625	23	752	420	187	286	326	7	43	92	76	29	287	1,350
	割合	59.4%	7.0%	46.3%	1.7%	55.7%	31.1%	13.9%	21.2%	24.1%	0.5%	3.2%	6.8%	5.6%	2.1%	21.3%	100.0%	

イ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



	SA	選択枚	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せず法曹を目指すことに迷いがあつたから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなつたから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいか	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思つたから	大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きいか	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいか	大学中に司法試験予備に合格できなかったから	司法修習期間中の生計面に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度	回答数	260	28	136	15	266	110	77	116	139	5	9	41	33	23	0	1,258
		割合	20.7%	2.2%	10.8%	1.2%	21.1%	8.7%	6.1%	9.2%	11.0%	0.4%	0.7%	3.3%	2.6%	1.8%	0.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	322	25	145	8	221	64	29	53	76	1	8	7	21	16	0	996
		割合	32.3%	2.5%	14.6%	0.8%	22.2%	6.4%	2.9%	5.3%	7.6%	0.1%	0.8%	0.7%	2.1%	1.6%	0.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	254	11	120	9	193	48	25	28	59	0	8	7	10	12	0	784
2位	平成29年度	回答数	163	22	189	13	262	145	73	135	114	1	18	42	32	5	44	1,258
		割合	13.0%	1.7%	15.0%	1.0%	20.8%	11.5%	5.8%	10.7%	9.1%	0.1%	1.4%	3.3%	2.5%	0.4%	3.5%	100.0%
	平成30年度	回答数	125	34	157	9	186	114	67	96	107	1	14	31	16	1	38	996
		割合	12.6%	3.4%	15.8%	0.9%	18.7%	11.4%	6.7%	9.6%	10.7%	0.1%	1.4%	3.1%	1.6%	0.1%	3.8%	100.0%
	令和元年度	回答数	97	20	137	5	138	104	59	70	67	2	9	21	16	1	38	784
3位	平成29年度	回答数	245	69	174	11	196	98	59	72	93	0	17	52	36	4	132	1,258
		割合	19.5%	5.5%	13.8%	0.9%	15.6%	7.8%	4.7%	5.7%	7.4%	0.0%	1.4%	4.1%	2.9%	0.3%	10.5%	100.0%
	平成30年度	回答数	125	27	74	17	130	84	80	112	105	2	22	85	37	5	91	996
		割合	12.6%	2.7%	7.4%	1.7%	13.1%	8.4%	8.0%	11.2%	10.5%	0.2%	2.2%	8.5%	3.7%	0.5%	9.1%	100.0%
	令和元年度	回答数	94	25	69	3	85	84	58	105	80	0	26	39	29	8	79	784
合計	平成29年度	回答数	668	119	499	39	724	353	209	323	346	6	44	135	101	32	176	1,258
		割合	53.1%	9.5%	39.7%	3.1%	57.6%	28.1%	16.6%	25.7%	27.5%	0.5%	3.5%	10.7%	8.0%	2.5%	14.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	572	86	376	34	537	262	176	261	288	4	44	123	74	22	129	996
		割合	57.4%	8.6%	37.8%	3.4%	53.9%	26.3%	17.7%	26.2%	28.9%	0.4%	4.4%	12.3%	7.4%	2.2%	13.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	445	56	326	17	416	236	142	203	206	2	43	67	55	21	117	784
令和3年度	回答数	424	49	332	11	396	229	112	158	172	4	21	47	40	14	142	717	
	割合	59.1%	6.8%	46.3%	1.5%	55.2%	31.9%	15.6%	22.0%	24.0%	0.6%	2.9%	6.6%	5.6%	2.0%	19.8%	100.0%	

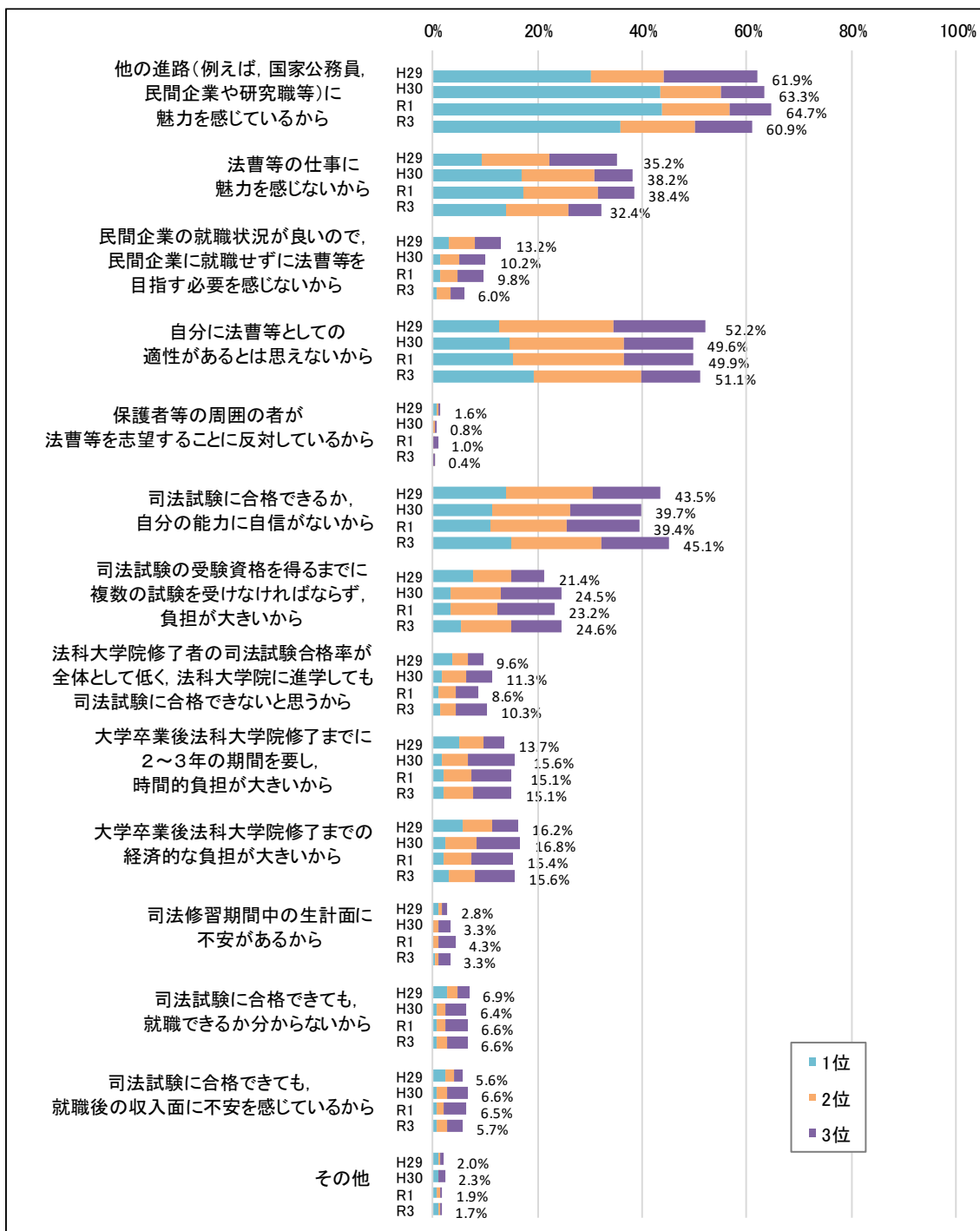
5. 法曹等を志望しない(選択肢の1つとしても考えない)理由

法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)学生に、その理由を尋ねた結果、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから」との回答割合が60%を超えて最も高く、続いて「自分に法曹等としての適性があるとは思えないから」が50%前後、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから」が40%前後となった。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

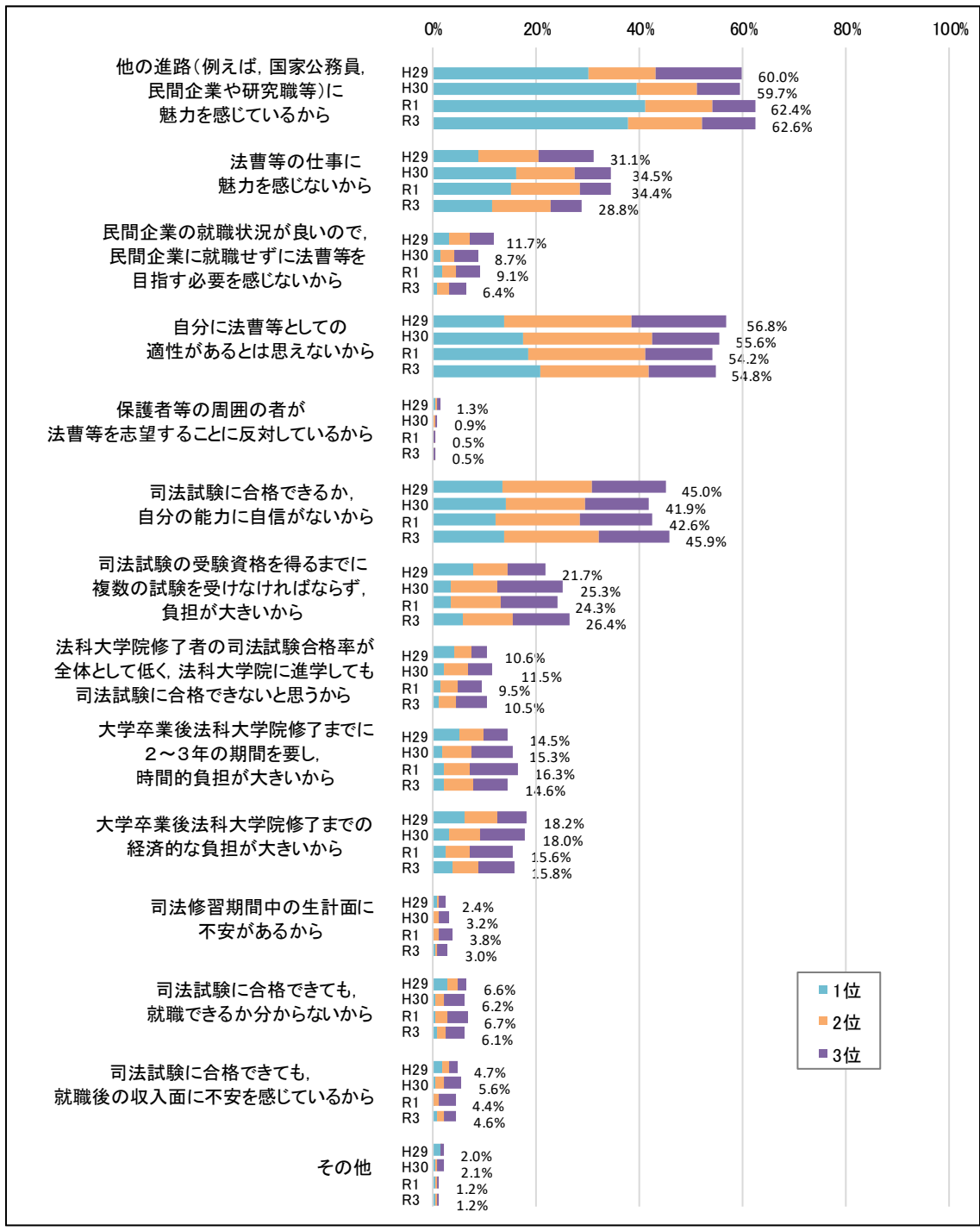
なお、「その他」として、令和3年度調査では、「法曹についてよく知らない、別世界で考えたこともない」、「法曹は自営業に近く収入が不安定」、「休みが取れないから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)学生



	SA	選取	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就かず法曹を目指す必要を感じないから	自分に法曹等としての適性があるとは思えないから	保護者等の周囲の者が法曹を志望することに反対しているから	司法試験に合格できるか、自分の自信がないから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから	大学卒業後法科大学院修了まで2～3年間の期間を要し、時間的負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	司法修習期間中の生計に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるか分からないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから	その他	選択無し	回答者数	
1位	平成29年度	回答数	1,395	438	139	588	39	648	353	174	236	273	53	125	110	56	0	4,627	
		割合	30.1%	9.5%	3.0%	12.7%	0.8%	14.0%	7.6%	3.8%	5.1%	5.9%	1.1%	2.7%	2.4%	1.2%	0.0%	100.0%	
	平成30年度	回答数	1,279	496	46	427	3	329	103	56	47	75	2	18	22	29	0	2,932	
		割合	43.6%	16.9%	1.6%	14.6%	0.1%	11.2%	3.5%	1.9%	1.6%	2.6%	0.1%	0.6%	0.8%	1.0%	0.0%	100.0%	
	令和元年度	回答数	1,129	445	40	394	0	282	89	31	50	58	5	18	17	21	0	2,579	
		割合	43.8%	17.3%	1.6%	15.3%	0.0%	10.9%	3.5%	1.2%	1.9%	2.2%	0.2%	0.7%	0.7%	0.8%	0.0%	100.0%	
	令和3年度	回答数	1,144	447	25	619	1	480	174	45	62	101	12	27	27	31	0	3,195	
		割合	35.8%	14.0%	0.8%	19.4%	0.0%	15.0%	5.4%	1.4%	1.9%	3.2%	0.4%	0.8%	0.8%	1.0%	0.0%	100.0%	
	2位	平成29年度	回答数	643	598	229	1,017	16	760	342	145	208	257	35	89	73	14	201	4,627
			割合	13.9%	12.9%	4.9%	22.0%	0.3%	16.4%	7.4%	3.1%	4.5%	5.6%	0.8%	1.9%	1.6%	0.3%	4.3%	100.0%
平成30年度		回答数	337	411	106	648	6	439	276	133	154	174	29	56	58	7	98	2,932	
		割合	11.5%	14.0%	3.6%	22.1%	0.2%	15.0%	9.4%	4.5%	5.3%	5.9%	1.0%	1.9%	2.0%	0.2%	3.3%	100.0%	
令和元年度		回答数	338	367	84	548	7	380	233	83	137	130	27	47	37	13	148	2,579	
		割合	13.1%	14.2%	3.3%	21.2%	0.3%	14.7%	9.0%	3.2%	5.3%	5.0%	1.0%	1.8%	1.4%	0.5%	5.7%	100.0%	
令和3年度		回答数	454	382	79	656	3	553	303	99	183	156	22	61	64	13	167	3,195	
		割合	14.2%	12.0%	2.5%	20.5%	0.1%	17.3%	9.5%	3.1%	5.7%	4.9%	0.7%	1.9%	2.0%	0.4%	5.2%	100.0%	
3位		平成29年度	回答数	828	595	241	810	18	603	293	123	188	221	43	106	76	22	460	4,627
			割合	17.9%	12.9%	5.2%	17.5%	0.4%	13.0%	6.3%	2.7%	4.1%	4.8%	0.9%	2.3%	1.6%	0.5%	9.9%	100.0%
	平成30年度	回答数	239	212	146	380	13	396	338	143	256	243	67	115	114	31	239	2,932	
		割合	8.2%	7.2%	5.0%	13.0%	0.4%	13.5%	11.5%	4.9%	8.7%	8.3%	2.3%	3.9%	3.9%	1.1%	8.2%	100.0%	
	令和元年度	回答数	201	179	128	345	18	354	277	109	202	208	80	106	114	14	244	2,579	
		割合	7.8%	6.9%	5.0%	13.4%	0.7%	13.7%	10.7%	4.2%	7.8%	8.1%	3.1%	4.1%	4.4%	0.5%	9.5%	100.0%	
	令和3年度	回答数	347	205	88	359	9	407	309	185	236	242	70	123	92	9	514	3,195	
		割合	10.9%	6.4%	2.8%	11.2%	0.3%	12.7%	9.7%	5.8%	7.4%	7.6%	2.2%	3.8%	2.9%	0.3%	16.1%	100.0%	
	合計	平成29年度	回答数	2,866	1,631	609	2,415	73	2,011	988	442	632	751	131	320	259	92	661	4,627
			割合	61.9%	35.2%	13.2%	52.2%	1.6%	43.5%	21.4%	9.6%	13.7%	16.2%	2.8%	6.9%	5.6%	2.0%	14.3%	100.0%
平成30年度		回答数	1,855	1,119	298	1,455	22	1,164	717	332	457	492	98	189	194	67	337	2,932	
		割合	63.3%	38.2%	10.2%	49.6%	0.8%	39.7%	24.5%	11.3%	15.6%	16.8%	3.3%	6.4%	6.6%	2.3%	11.5%	100.0%	
令和元年度		回答数	1,668	991	252	1,287	25	1,016	599	223	389	396	112	171	168	48	392	2,579	
		割合	64.7%	38.4%	9.8%	49.9%	1.0%	39.4%	23.2%	8.6%	15.1%	15.4%	4.3%	6.6%	6.5%	1.9%	15.2%	100.0%	
令和3年度		回答数	1,945	1,034	192	1,634	13	1,440	786	329	481	499	104	211	183	53	681	3,195	
		割合	60.9%	32.4%	6.0%	51.1%	0.4%	45.1%	24.6%	10.3%	15.1%	15.6%	3.3%	6.6%	5.7%	1.7%	21.3%	100.0%	

イ 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)女性



	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せず法曹を目指すことに迷いがあつたから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかつたから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなつたから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいため	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思つたから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいため	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいため	司法修習期間中の生活に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	選択無し	回答者数	
1位	平成29年度	回答数	577	168	59	266	11	260	148	76	97	116	14	54	37	25	0	1,908	
		割合	30.2%	8.8%	3.1%	13.9%	0.6%	13.6%	7.8%	4.0%	5.1%	6.1%	0.7%	2.8%	1.9%	1.3%	0.0%	100.0%	
	平成30年度	回答数	495	202	17	221	0	176	43	25	21	38	0	6	6	8	0	1,258	
		割合	39.3%	16.1%	1.4%	17.6%	0.0%	14.0%	3.4%	2.0%	1.7%	3.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.6%	0.0%	100.0%	
	令和元年度	回答数	480	176	20	218	0	144	42	16	26	30	2	6	3	7	0	1,170	
		割合	41.0%	15.0%	1.7%	18.6%	0.0%	12.3%	3.6%	1.4%	2.2%	2.6%	0.2%	0.5%	0.3%	0.6%	0.0%	100.0%	
	令和3年度	回答数	563	169	10	307	1	206	88	18	30	54	7	10	11	9	0	1,483	
		割合	38.0%	11.4%	0.7%	20.7%	0.1%	13.9%	5.9%	1.2%	2.0%	3.6%	0.5%	0.7%	0.7%	0.6%	0.0%	100.0%	
	2位	平成29年度	回答数	250	221	79	469	6	326	130	68	90	124	10	37	22	3	73	1,908
			割合	13.1%	11.6%	4.1%	24.6%	0.3%	17.1%	6.8%	3.6%	4.7%	6.5%	0.5%	1.9%	1.2%	0.2%	3.8%	100.0%
平成30年度		回答数	147	143	36	312	5	194	116	60	75	79	13	19	21	3	35	1,258	
		割合	11.7%	11.4%	2.9%	24.8%	0.4%	15.4%	9.2%	4.8%	6.0%	6.3%	1.0%	1.5%	1.7%	0.2%	2.8%	100.0%	
令和元年度		回答数	153	156	34	265	1	190	111	41	59	52	11	25	9	3	60	1,170	
		割合	13.1%	13.3%	2.9%	22.6%	0.1%	16.2%	9.5%	3.5%	5.0%	4.4%	0.9%	2.1%	0.8%	0.3%	5.1%	100.0%	
令和3年度		回答数	212	169	38	315	2	272	144	50	86	76	6	26	21	5	61	1,483	
		割合	14.3%	11.4%	2.6%	21.2%	0.1%	18.3%	9.7%	3.4%	5.8%	5.1%	0.4%	1.8%	1.4%	0.3%	4.1%	100.0%	
3位		平成29年度	回答数	317	204	86	349	8	273	136	58	90	107	21	35	31	11	182	1,908
			割合	16.6%	10.7%	4.5%	18.3%	0.4%	14.3%	7.1%	3.0%	4.7%	5.6%	1.1%	1.8%	1.6%	0.6%	9.5%	100.0%
	平成30年度	回答数	109	89	57	166	6	157	159	60	97	109	27	53	43	16	110	1,258	
		割合	8.7%	7.1%	4.5%	13.2%	0.5%	12.5%	12.6%	4.8%	7.7%	8.7%	2.1%	4.2%	3.4%	1.3%	8.7%	100.0%	
	令和元年度	回答数	97	70	53	151	5	165	131	54	106	101	32	47	39	4	115	1,170	
		割合	8.3%	6.0%	4.5%	12.9%	0.4%	14.1%	11.2%	4.6%	9.1%	8.6%	2.7%	4.0%	3.3%	0.3%	9.8%	100.0%	
	令和3年度	回答数	154	89	47	190	4	202	159	87	100	104	31	55	36	4	221	1,483	
		割合	10.4%	6.0%	3.2%	12.8%	0.3%	13.6%	10.7%	5.9%	6.7%	7.0%	2.1%	3.7%	2.4%	0.3%	14.9%	100.0%	
	合計	平成29年度	回答数	1,144	593	224	1,084	25	859	414	202	277	347	45	126	90	39	255	1,908
			割合	60.0%	31.1%	11.7%	56.8%	1.3%	45.0%	21.7%	10.6%	14.5%	18.2%	2.4%	6.6%	4.7%	2.0%	13.4%	100.0%
平成30年度		回答数	751	434	110	699	11	527	318	145	193	226	40	78	70	27	145	1,258	
		割合	59.7%	34.5%	8.7%	55.6%	0.9%	41.9%	25.3%	11.5%	15.3%	18.0%	3.2%	6.2%	5.6%	2.1%	11.5%	100.0%	
令和元年度		回答数	730	402	107	634	6	499	284	111	191	183	45	78	51	14	175	1,170	
		割合	62.4%	34.4%	9.1%	54.2%	0.5%	42.6%	24.3%	9.5%	16.3%	15.6%	3.8%	6.7%	4.4%	1.2%	15.0%	100.0%	
令和3年度	回答数	929	427	95	812	7	680	391	155	216	234	44	91	68	18	282	1,483		
	割合	62.6%	28.8%	6.4%	54.8%	0.5%	45.9%	26.4%	10.5%	14.6%	15.8%	3.0%	6.1%	4.6%	1.2%	19.0%	100.0%		

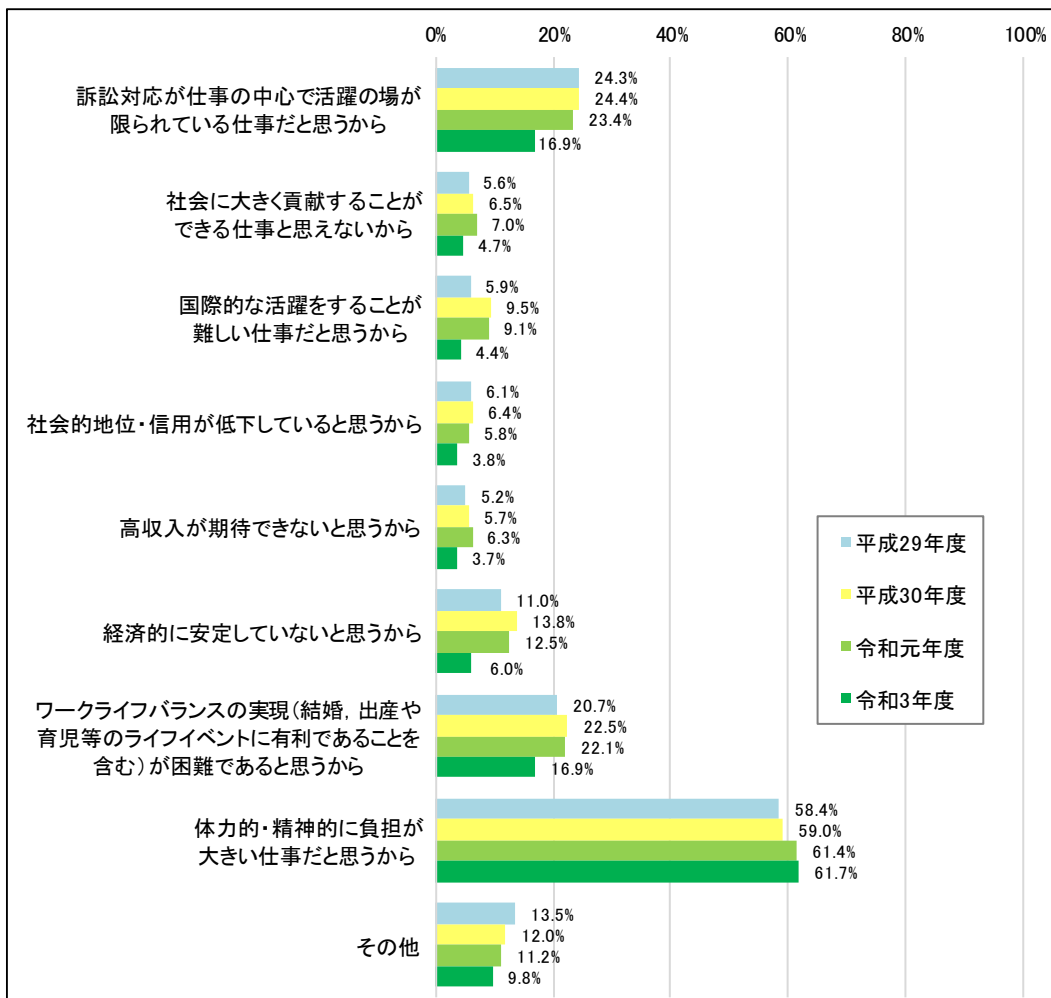
6. 法曹等に魅力を感じない理由

法曹等を志望又は選択肢の1つとしても考えたことがなく、またその理由として「法曹等の仕事に魅力を感じないから」と回答した学生に、その理由を尋ねた結果、「体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから」が60%前後で最多となった。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

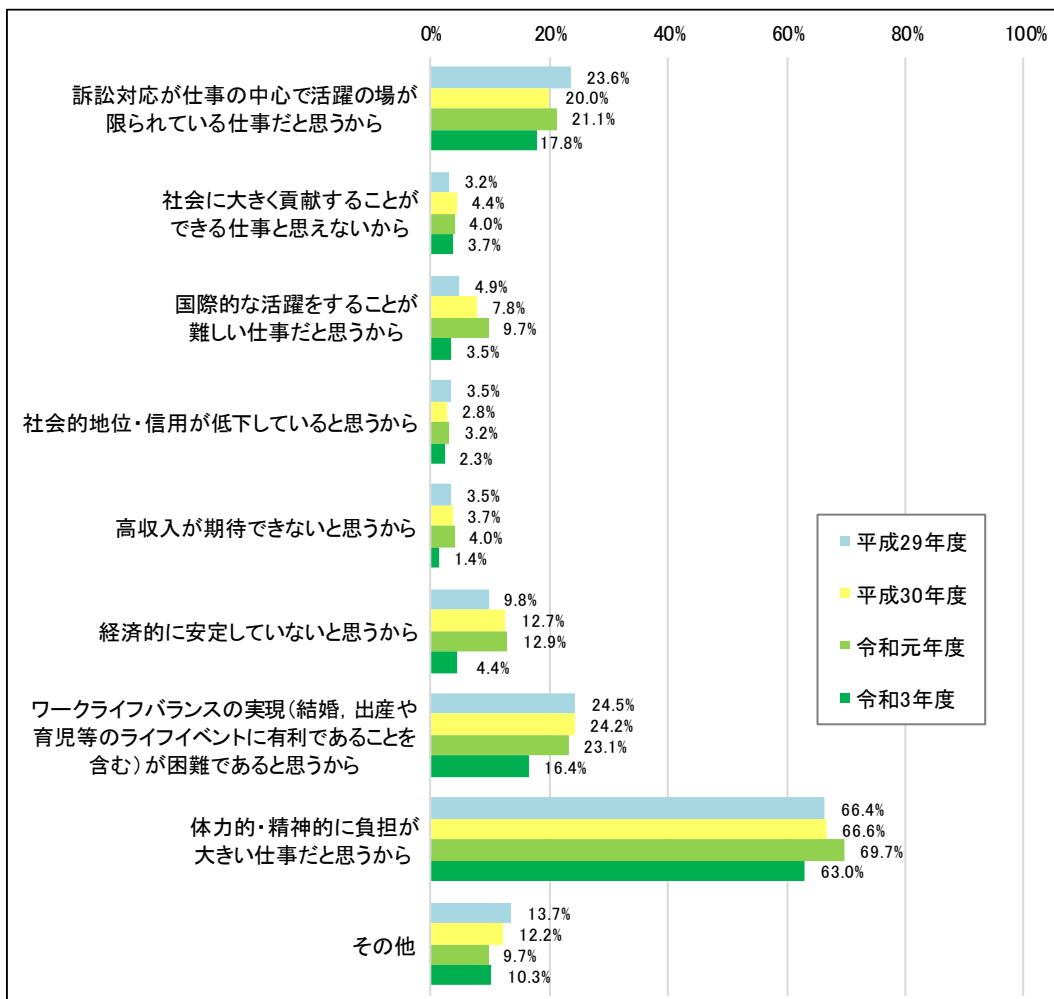
なお、「その他」として、令和3年度調査では、「勉強量が多くて大変そう・試験が難しそう」、「なるための難易度の割に稼げる額が少なく、コスパが悪い」、「地味・堅い」、「責任が重い」、「自分の意思や思いに反する主張・弁護等をせざるを得ない場面に遭遇するイメージがある」、「弁護士事務所でアルバイトをしていたが、人間性や古い組織体質(女性だけにお茶出しや食器洗いがあある等)に幻滅したから」、「仕事内容が自分には向いていない・合わない」「よく知らない」などの回答があった。

ア 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)学生



MA	選択肢	訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから	社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから	国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから	社会的地位・信用が低下していると思うから	高収入が期待できないと思うから	経済的に安定していないと思うから	ワークライフバランスの実現(結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む)が困難であると思うから	体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから	その他	回答者数
平成29年度	回答数	397	91	97	99	85	180	338	952	221	1,631
	割合	24.3%	5.6%	5.9%	6.1%	5.2%	11.0%	20.7%	58.4%	13.5%	-
平成30年度	回答数	273	73	106	72	64	154	252	660	134	1,119
	割合	24.4%	6.5%	9.5%	6.4%	5.7%	13.8%	22.5%	59.0%	12.0%	-
令和元年度	回答数	232	69	90	57	62	124	219	608	111	991
	割合	23.4%	7.0%	9.1%	5.8%	6.3%	12.5%	22.1%	61.4%	11.2%	-
令和3年度	回答数	175	49	45	39	38	62	175	638	101	1,034
	割合	16.9%	4.7%	4.4%	3.8%	3.7%	6.0%	16.9%	61.7%	9.8%	-

イ 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)女性



MA	選択肢	訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから	社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから	国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから	社会的地位・信用が低下していると思うから	高収入が期待できないと思うから	経済的に安定していないと思うから	ワークライフバランスの実現(結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む)が困難であると思うから	体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから	その他	回答者数
平成29年度	回答数	140	19	29	21	21	58	145	394	81	593
	割合	23.6%	3.2%	4.9%	3.5%	3.5%	9.8%	24.5%	66.4%	13.7%	-
平成30年度	回答数	87	19	34	12	16	55	105	289	53	434
	割合	20.0%	4.4%	7.8%	2.8%	3.7%	12.7%	24.2%	66.6%	12.2%	-
令和元年度	回答数	85	16	39	13	16	52	93	280	39	402
	割合	21.1%	4.0%	9.7%	3.2%	4.0%	12.9%	23.1%	69.7%	9.7%	-
令和3年度	回答数	76	16	15	10	6	19	70	269	44	427
	割合	17.8%	3.7%	3.5%	2.3%	1.4%	4.4%	16.4%	63.0%	10.3%	-

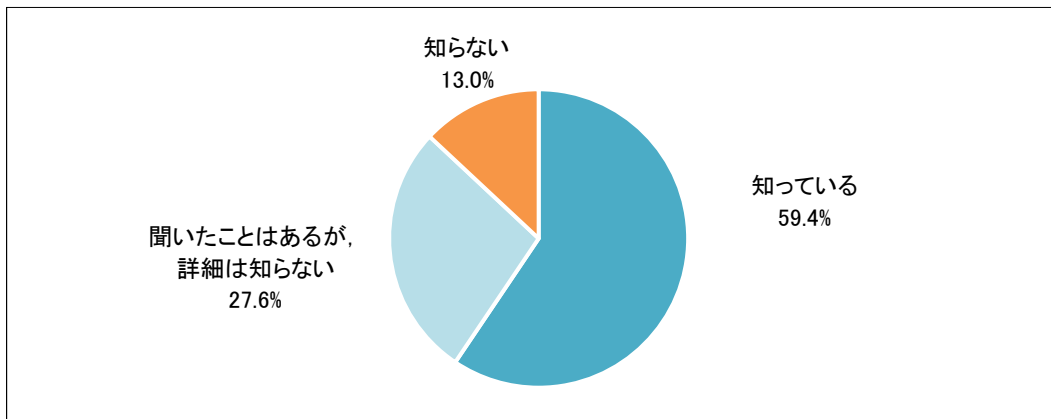
第6 法曹コース(連携法曹基礎課程)・法科大学院への進学希望の有無等

1. 法曹コースの認知度

法曹コースの認知度は学生全体で約 60%、現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生においては約 80%に及び、法曹等を志望している学生においては 90%を超えている。

法曹等を志望していない学生においても約 50%に認知されている。

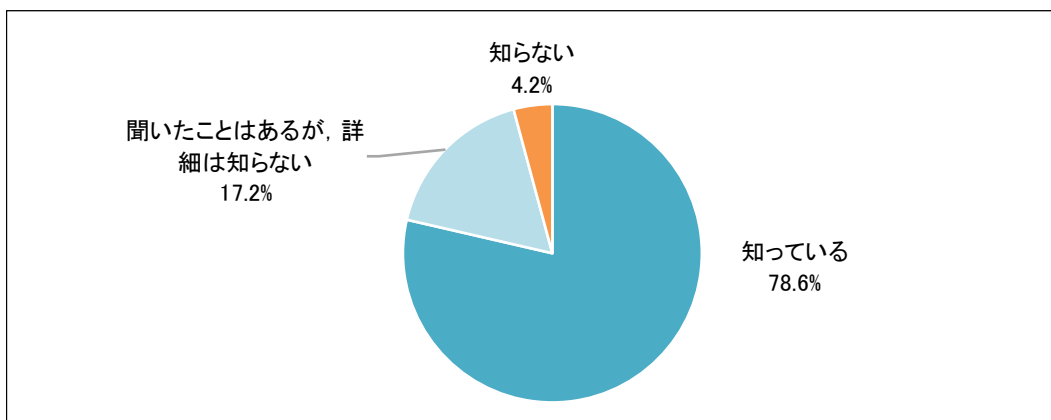
ア 全学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	4,107	1,904	900	6,911
	割合	59.4%	27.6%	13.0%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

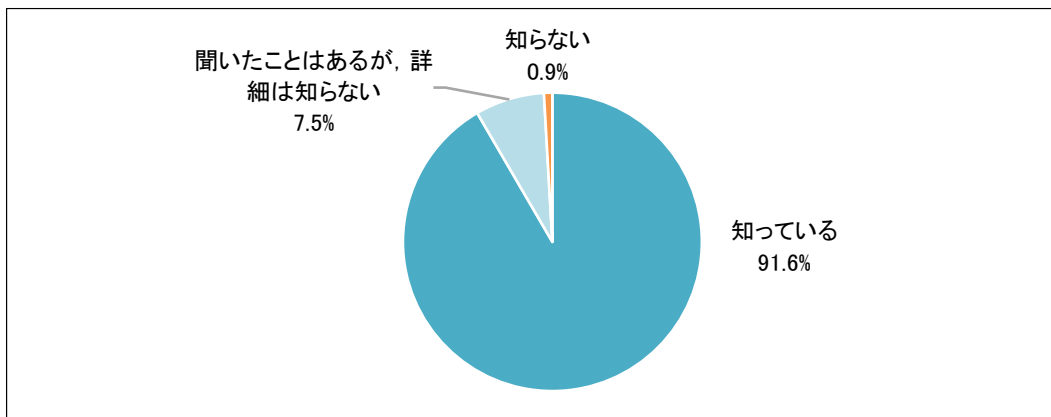
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	1,860	407	99	2,366
	割合	78.6%	17.2%	4.2%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

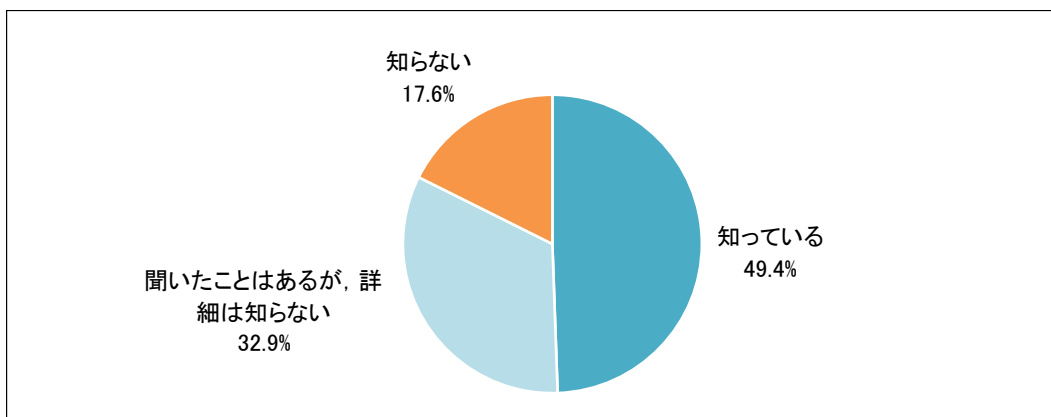
ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	906	74	9	989
	割合	91.6%	7.5%	0.9%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

エ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	2,247	1,497	801	4,545
	割合	49.4%	32.9%	17.6%	100.0%

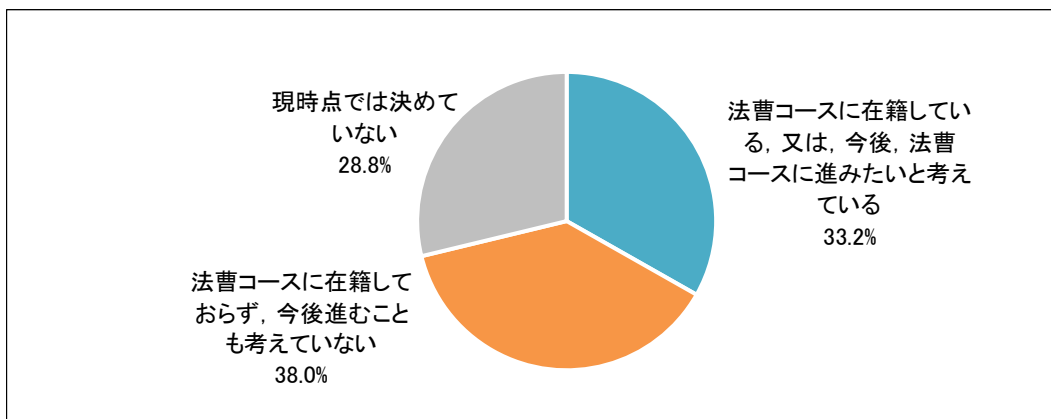
※令和3年度調査で新たに追加した質問

2. 法曹コースへの進学希望

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹コースに在籍しているか又は法曹コースへの進学を希望しているかを尋ねた結果、在籍又は希望していると回答した学生は約33%、在籍せず希望もしていないと回答した学生は38%、未定と回答した学生は約29%であった。

女性のみを見た場合もほぼ同様であった。

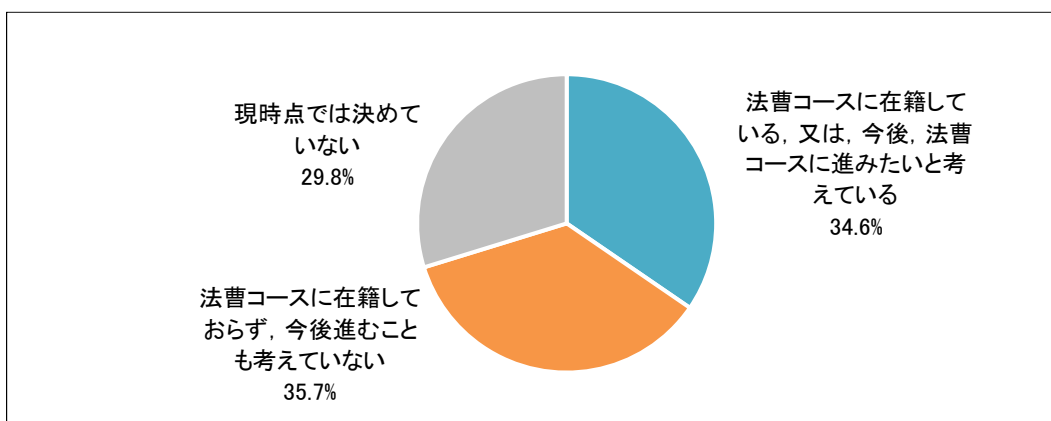
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている	法曹コースに在籍しておらず、今後進むことも考えていない	現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	786	899	681	2,366
	割合	33.2%	38.0%	28.8%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている	法曹コースに在籍しておらず、今後進むことも考えていない	現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	352	363	303	1,018
	割合	34.6%	35.7%	29.8%	100.0%

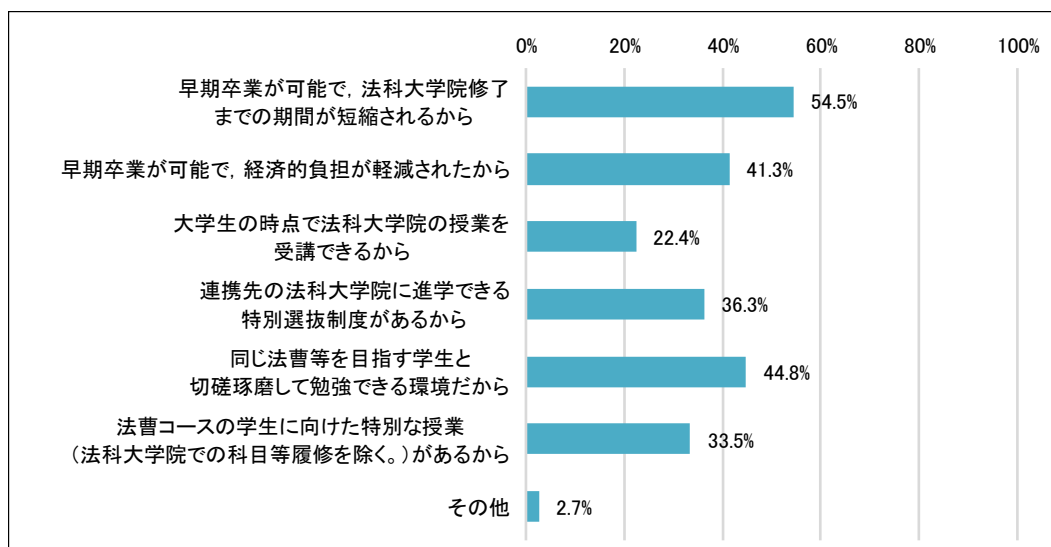
※令和3年度調査で新たに追加した質問

3. 法曹コースへの進学希望

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍しているか又は法曹コースへの進学を希望している学生に、法曹コースを希望した理由を尋ねた結果、「早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから」との回答割合が50%を超え、最多であった。続いて、「同じ法曹等を目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから」(約45%)、「早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから」(約41%)、「連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから」(約36%)、「法曹コースの学生に向けた特別な授業があるから」(約34%)となった。

女性のみを見た場合もほぼ同様であった。

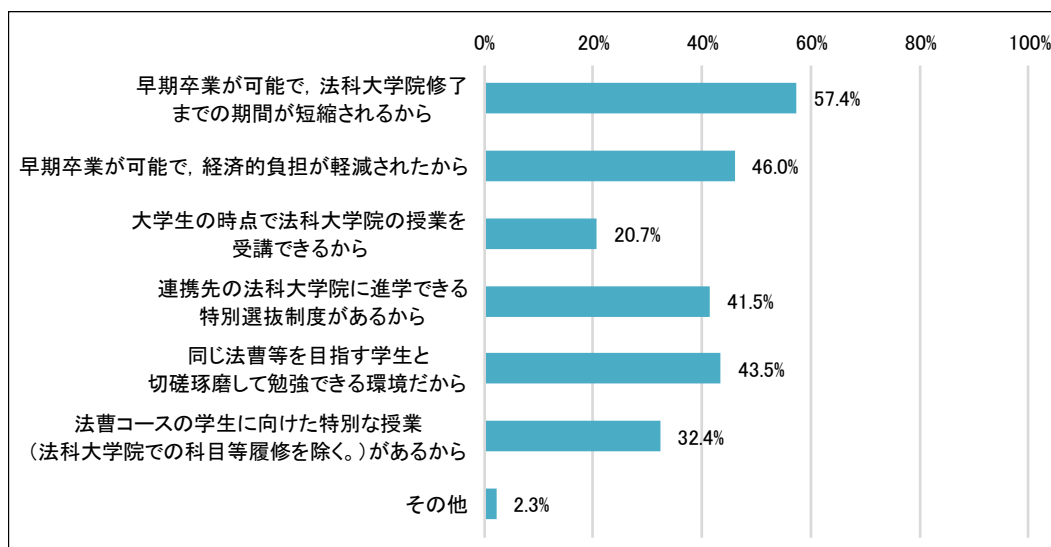
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから	大学生の時点で法科大学院の授業を受講できるから	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから	同じ法曹等を志望する学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから	法曹コースの学生に向けた特別な授業があるから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	428	325	176	285	352	263	21	786
	割合	54.5%	41.3%	22.4%	36.3%	44.8%	33.5%	2.7%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから	大学生の時点で法科大学院の授業を受講できるから	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから	同じ法曹等を志望する学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから	法曹コースの学生に向けた特別な授業があるから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	202	162	73	146	153	114	8	352
	割合	57.4%	46.0%	20.7%	41.5%	43.5%	32.4%	2.3%	-

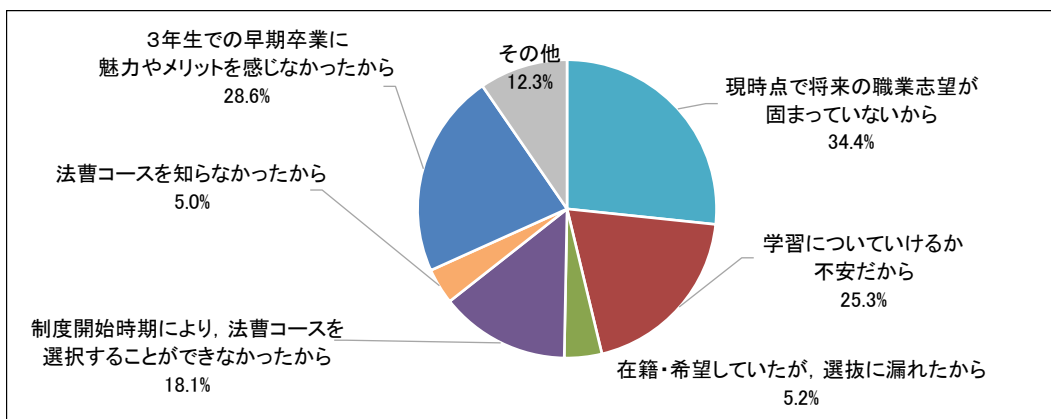
※令和3年度調査で新たに追加した質問

4. 法曹コースを希望しない理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍しておらず、希望もしていない学生に、法曹コースを希望しない理由を尋ねた結果、「現時点で将来の職業志望が固まっていないから」との回答割合が約34%、「3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから」が約29%、「学習についていけるか不安だから」が約25%であった。

女性について見ると、「現時点で将来の職業志望が固まっていないから」が約39%、「学習についていけるか不安だから」が約30%、「3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから」が約24%となっており、全体の回答と比べ、学習面への不安を理由とする回答の割合が相対的に高かった。

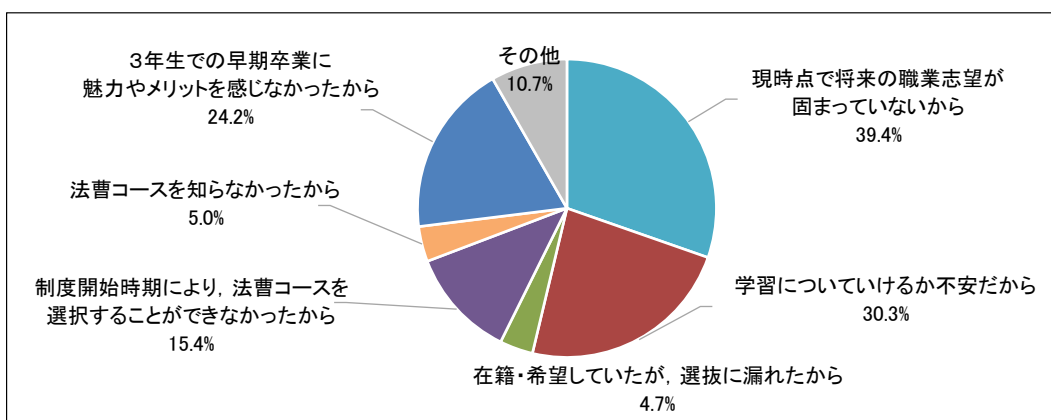
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	現時点で将来の職業志望が固まっていないから	学習についていけるか不安だから	在籍・希望していたが、選抜に漏れたから	制度開始時期により、法曹コースを選択することができなかったから	法曹コースを知らなかったから	3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	309	227	47	163	45	257	111	899
	割合	34.4%	25.3%	5.2%	18.1%	5.0%	28.6%	12.3%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	現時点で将来の職業志望が固まっていないから	学習についていけるか不安だから	在籍・希望していたが、選抜に漏れたから	制度開始時期により、法曹コースを選択することができなかったから	法曹コースを知らなかったから	3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	143	110	17	56	18	88	39	363
	割合	39.4%	30.3%	4.7%	15.4%	5.0%	24.2%	10.7%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

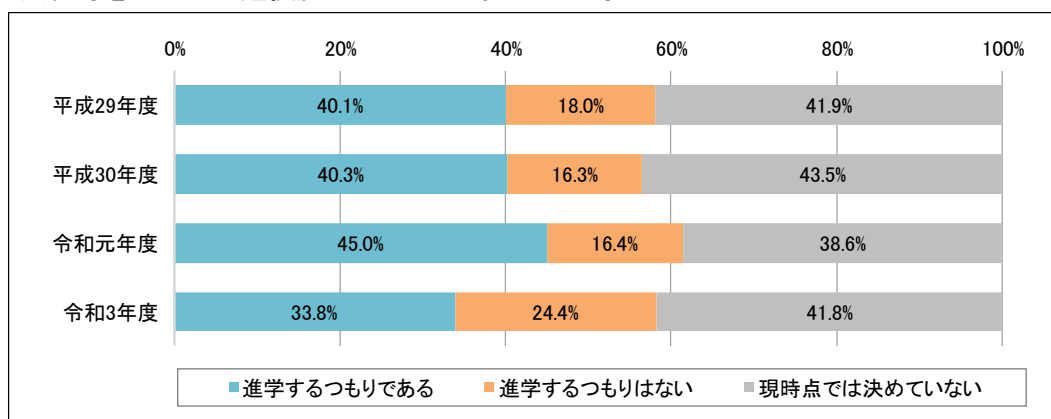
5. 法科大学院への進学予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法科大学院への進学予定について尋ねた結果、令和3年度調査においては、約34%の学生が「進学するつもりである」と回答した。法科大学院進学予定者の割合は、学生全体を見た場合と女性のみを見た場合のいずれにおいても、令和3年度調査の結果が令和元年度調査と比べて10ポイント以上減少している。

一方で、現在法曹等を志望している学生に限って見た場合には、約63%の学生が法科大学院に進学予定であると回答しており、その割合は平成29年度以降ほぼ変わっていない。

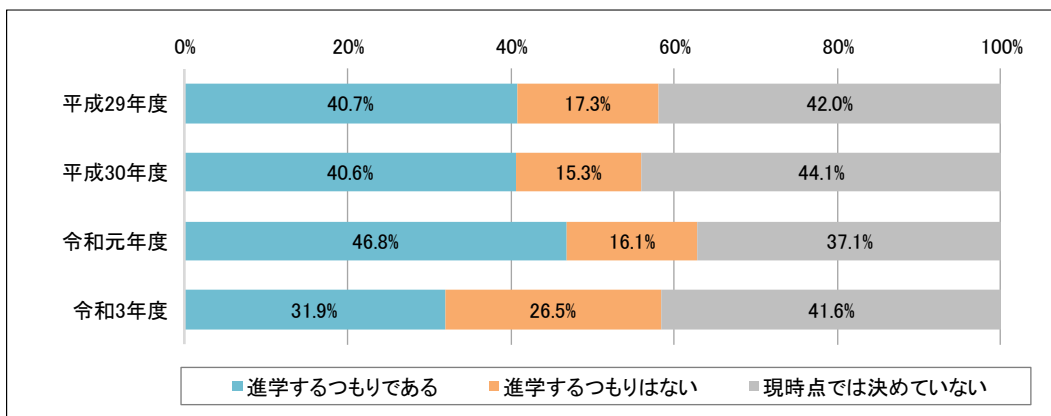
法曹コースの在籍状況や進学希望の有無との関係で見ると、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生の場合、約65%が法科大学院に進学するつもりであると回答している。これに対し、法曹コースに在籍しておらず、進学を希望してもない学生については、法科大学院に「進学するつもりである」と回答した割合は約26%にとどまっている。さらに、法曹コースへの進学について未定であると回答した学生の場合には、法科大学院に「進学するつもりである」との回答割合は10%以下にとどまり、70%以上が法科大学院への進学についても未定であると回答している。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



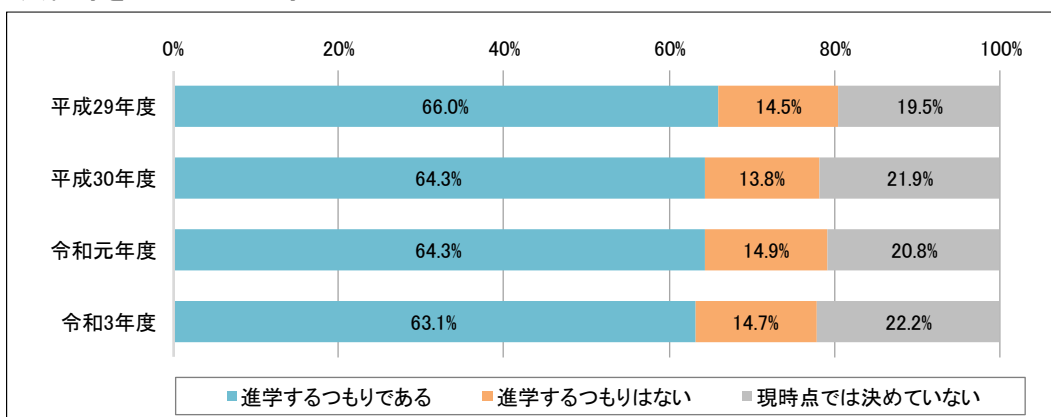
SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない	回答者数
平成29年度	回答数	887	398	927	2,212
	割合	40.1%	18.0%	41.9%	100.0%
平成30年度	回答数	705	285	761	1,751
	割合	40.3%	16.3%	43.5%	100.0%
令和元年度	回答数	682	248	585	1,515
	割合	45.0%	16.4%	38.6%	100.0%
令和3年度	回答数	798	575	985	2,358
	割合	33.8%	24.4%	41.8%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



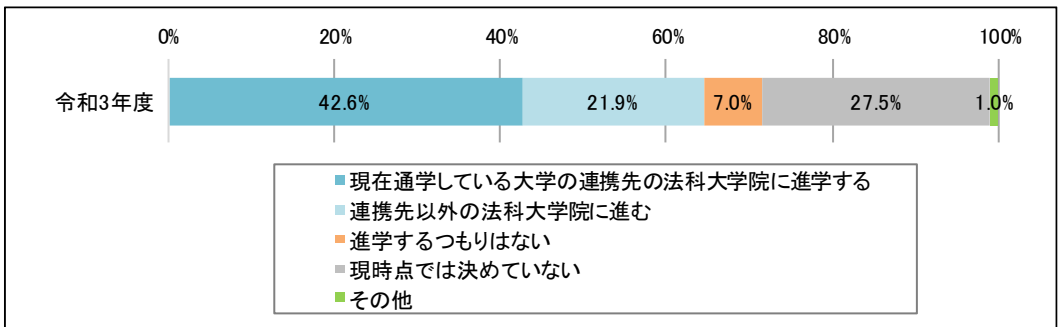
SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	322	137	332	791
	割合	40.7%	17.3%	42.0%	100.0%
平成 30 年度	回答数	270	102	293	665
	割合	40.6%	15.3%	44.1%	100.0%
令和元年度	回答数	271	93	215	579
	割合	46.8%	16.1%	37.1%	100.0%
令和 3 年度	回答数	324	270	423	1,017
	割合	31.9%	26.5%	41.6%	100.0%

ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	713	157	211	1,081
	割合	66.0%	14.5%	19.5%	100.0%
平成 30 年度	回答数	567	122	193	882
	割合	64.3%	13.8%	21.9%	100.0%
令和元年度	回答数	553	128	179	860
	割合	64.3%	14.9%	20.8%	100.0%
令和 3 年度	回答数	620	144	218	982
	割合	63.1%	14.7%	22.2%	100.0%

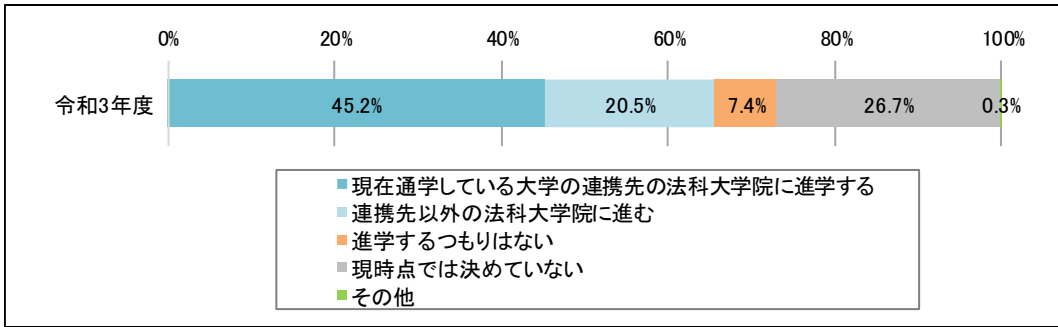
エ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生



SA	選択肢	現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する	連携先以外の法科大学院に進む	進学するつもりはない	現時点では決めていない	その他	回答者数
令和3年度	回答数	335	172	55	216	8	786
	割合	42.6%	21.9%	7.0%	27.5%	1.0%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

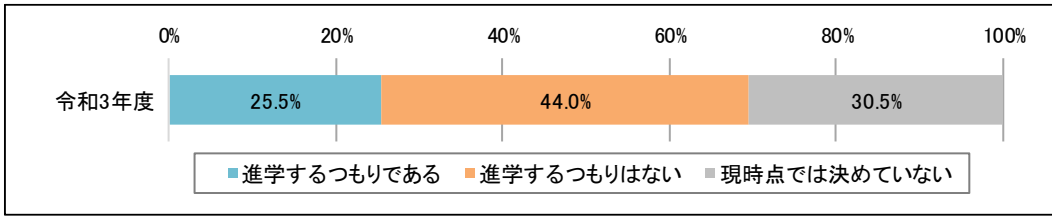
オ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している女性



SA	選択肢	現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する	連携先以外の法科大学院に進む	進学するつもりはない	現時点では決めていない	その他	回答者数
令和3年度	回答数	159	72	26	94	1	352
	割合	45.2%	20.5%	7.4%	26.7%	0.3%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

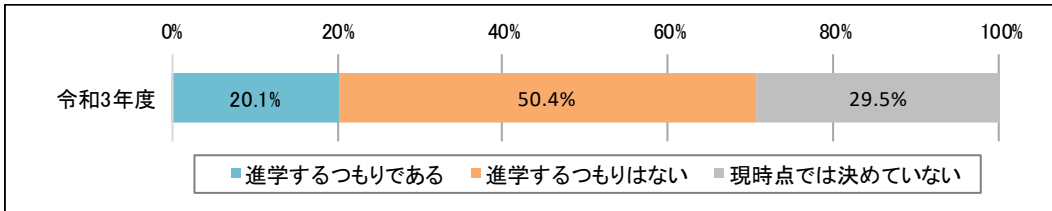
カ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない学生



SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	229	396	274	899
	割合	25.5%	44.0%	30.5%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

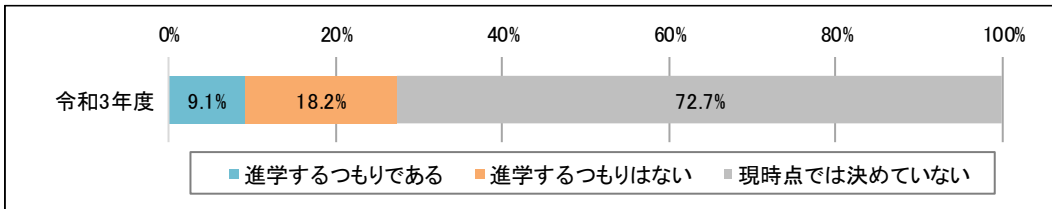
キ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない女性



SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	73	183	107	363
	割合	20.1%	50.4%	29.5%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

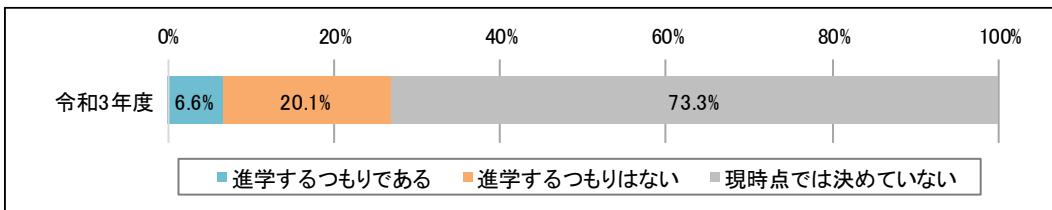
ク 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である学生



SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	62	124	495	681
	割合	9.1%	18.2%	72.7%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

ケ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である女性



SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	20	61	222	303
	割合	6.6%	20.1%	73.3%	100.0%

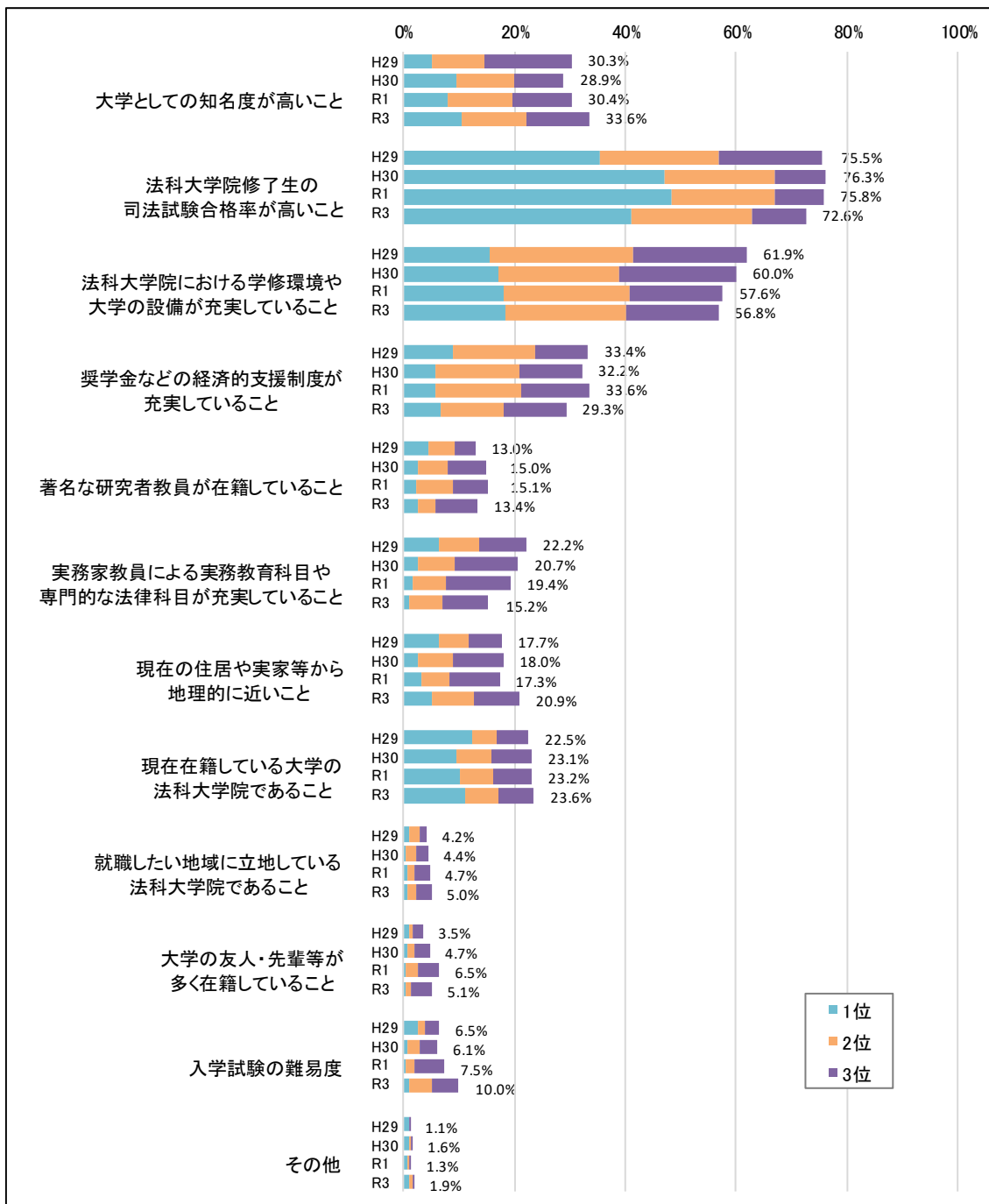
※令和3年度調査で新たに追加した質問

6. 法科大学院選択の際に重視するもの

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法科大学院に進学するつもりであると回答した学生に、法科大学院を選択する際に重視することを、その度合いが高いものから順に3つ選んでもらった結果、「法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと」との回答割合が70%以上で最多、続いて「法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること」となった(回答割合は60%前後)。

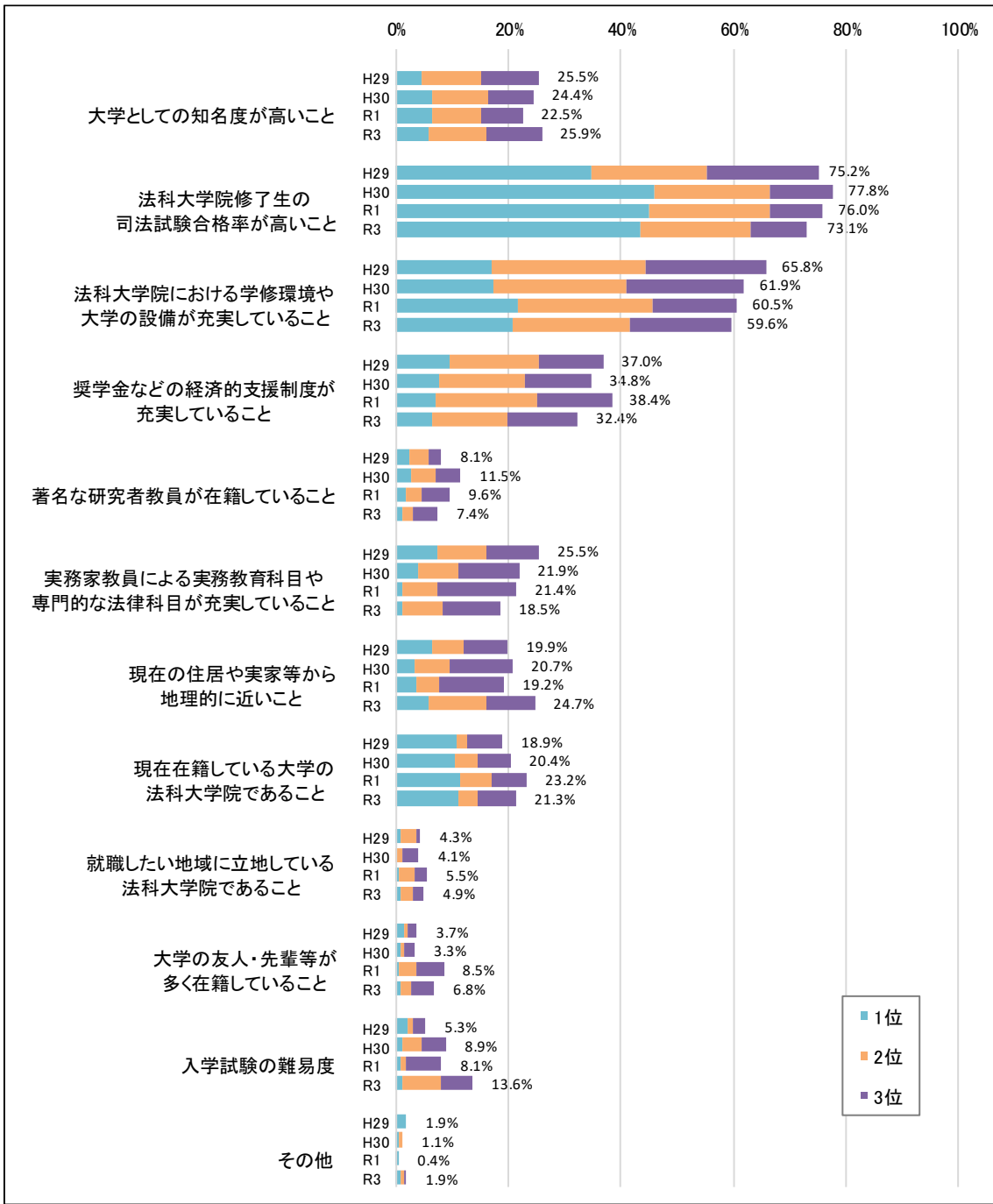
女性に限って見た場合も全体的な傾向は大きく変わらないが、学生全体に比して、「大学としての知名度が高いこと」及び「著名な研究者教員が在籍していること」との回答割合が相対的に低かった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



	SA	選取 支	大学と しての 知名度 が高い こと	法科大 学院修 了生の 司法試 験合格 率が高い こと	法科大 学院に おける 学修環 境や大 学の設 備が充 実して いること	奨学金 などの 経済的 支援制 度が充 実して いること	著名者 が籍し ている こと	実務家 教員に よる実 務科目 や専門 的な法 律が充 実して いること	現在の 住居等 から地 理的に 近いこと	現在籍 している 大学の 法科大 学院で あること	就職し たい地 域に立 地して いる法 科大学 院である こと	大学の 友人・先 輩等が 多く在 籍して いること	入学試 験の難 易度	その他	選択 無し	回答 者数
1位	平成29年度	回答数	45	314	137	79	41	57	56	109	10	8	23	8	0	887
		割合	5.1%	35.4%	15.4%	8.9%	4.6%	6.4%	6.3%	12.3%	1.1%	0.9%	2.6%	0.9%	0.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	67	332	121	41	18	18	19	67	4	5	6	7	0	705
		割合	9.5%	47.1%	17.2%	5.8%	2.6%	2.6%	2.7%	9.5%	0.6%	0.7%	0.9%	1.0%	0.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	55	330	124	39	15	11	22	70	6	3	2	5	0	682
		割合	8.1%	48.4%	18.2%	5.7%	2.2%	1.6%	3.2%	10.3%	0.9%	0.4%	0.3%	0.7%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	84	329	148	54	21	9	41	88	5	3	8	8	0	798
		割合	10.5%	41.2%	18.5%	6.8%	2.6%	1.1%	5.1%	11.0%	0.6%	0.4%	1.0%	1.0%	0.0%	100.0%
2位	平成29年度	回答数	85	191	232	133	41	65	49	41	17	7	11	0	15	887
		割合	9.6%	21.5%	26.2%	15.0%	4.6%	7.3%	5.5%	4.6%	1.9%	0.8%	1.2%	0.0%	1.7%	100.0%
	平成30年度	回答数	74	141	154	106	38	47	44	44	12	10	14	2	19	705
		割合	10.5%	20.0%	21.8%	15.0%	5.4%	6.7%	6.2%	6.2%	1.7%	1.4%	2.0%	0.3%	2.7%	100.0%
	令和元年度	回答数	80	127	154	105	45	42	34	41	8	15	11	2	18	682
		割合	11.7%	18.6%	22.6%	15.4%	6.6%	6.2%	5.0%	6.0%	1.2%	2.2%	1.6%	0.3%	2.6%	100.0%
	令和3年度	回答数	94	172	172	90	24	46	61	49	14	9	34	6	27	798
		割合	11.8%	21.6%	21.6%	11.3%	3.0%	5.8%	7.6%	6.1%	1.8%	1.1%	4.3%	0.8%	3.4%	100.0%
3位	平成29年度	回答数	139	165	180	84	33	75	52	50	10	16	24	2	57	887
		割合	15.7%	18.6%	20.3%	9.5%	3.7%	8.5%	5.9%	5.6%	1.1%	1.8%	2.7%	0.2%	6.4%	100.0%
	平成30年度	回答数	63	65	148	80	50	81	64	52	15	18	23	2	44	705
		割合	8.9%	9.2%	21.0%	11.3%	7.1%	11.5%	9.1%	7.4%	2.1%	2.6%	3.3%	0.3%	6.2%	100.0%
	令和元年度	回答数	72	60	115	85	43	79	62	47	18	26	38	2	35	682
		割合	10.6%	8.8%	16.9%	12.5%	6.3%	11.6%	9.1%	6.9%	2.6%	3.8%	5.6%	0.3%	5.1%	100.0%
	令和3年度	回答数	90	78	133	90	62	66	65	51	21	29	38	1	74	798
		割合	11.3%	9.8%	16.7%	11.3%	7.8%	8.3%	8.1%	6.4%	2.6%	3.6%	4.8%	0.1%	9.3%	100.0%
合計	平成29年度	回答数	269	670	549	296	115	197	157	200	37	31	58	10	72	887
		割合	30.3%	75.5%	61.9%	33.4%	13.0%	22.2%	17.7%	22.5%	4.2%	3.5%	6.5%	1.1%	8.1%	100.0%
	平成30年度	回答数	204	538	423	227	106	146	127	163	31	33	43	11	63	705
		割合	28.9%	76.3%	60.0%	32.2%	15.0%	20.7%	18.0%	23.1%	4.4%	4.7%	6.1%	1.6%	8.9%	100.0%
	令和元年度	回答数	207	517	393	229	103	132	118	158	32	44	51	9	53	682
		割合	30.4%	75.8%	57.6%	33.6%	15.1%	19.4%	17.3%	23.2%	4.7%	6.5%	7.5%	1.3%	7.8%	100.0%
	令和3年度	回答数	268	579	453	234	107	121	167	188	40	41	80	15	101	798
		割合	33.6%	72.6%	56.8%	29.3%	13.4%	15.2%	20.9%	23.6%	5.0%	5.1%	10.0%	1.9%	12.7%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



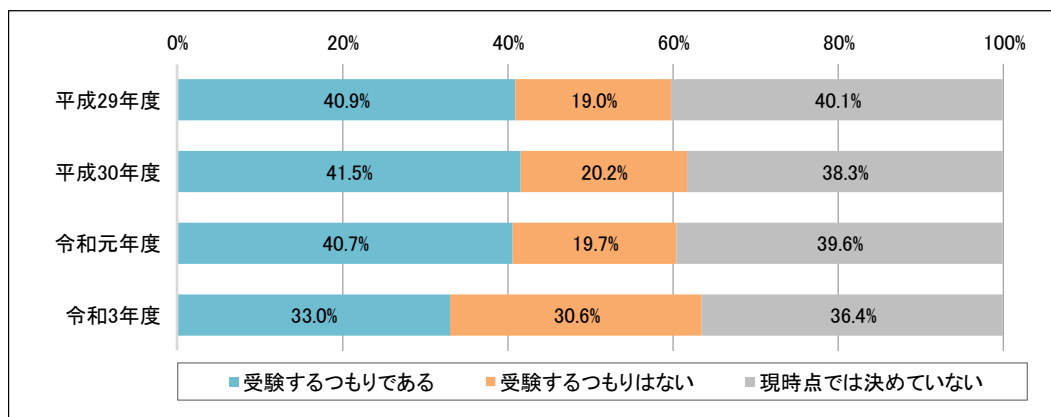
	SA	選取 支	大学と しての 知名度 が高い こと	法科大 学院修 了生の 司法試 験合格 率が高い こと	法科大 学院に おける 学修環 境や大 学の設 備が充 実して いること	奨学金 などの 経済的 支援制 度が充 実して いること	著名者 が籍し ている こと	実務家 教員に よる実 務科目 や専門 的な法 律が充 実して いること	現在の 住居や 実家等 からの 地理的 に近 いこと	現在在 籍して いる大 法科大 学院で あること	就職し たい地 域に立 地して いる法 科大学 院である こと	大学の 友人・先 輩等が 多く在 籍して いること	入学試 験の難 易度	その他	選択 無し	回答 者数	
1位	平成29年度 回答数		15	112	55	31	8	24	21	35	3	5	7	6	0	322	
	割合		4.7%	34.8%	17.1%	9.6%	2.5%	7.5%	6.5%	10.9%	0.9%	1.6%	2.2%	1.9%	0.0%	100.0%	
	平成30年度 回答数		17	124	47	21	7	11	9	28	0	2	3	1	0	270	
	割合		6.3%	45.9%	17.4%	7.8%	2.6%	4.1%	3.3%	10.4%	0.0%	0.7%	1.1%	0.4%	0.0%	100.0%	
	令和元年度 回答数		17	122	59	19	5	3	10	31	1	1	2	1	0	271	
	割合		6.3%	45.0%	21.8%	7.0%	1.8%	1.1%	3.7%	11.4%	0.4%	0.4%	0.7%	0.4%	0.0%	100.0%	
	令和3年度 回答数		19	141	67	21	4	4	19	36	3	3	4	3	0	324	
	割合		5.9%	43.5%	20.7%	6.5%	1.2%	1.2%	5.9%	11.1%	0.9%	0.9%	1.2%	0.9%	0.0%	100.0%	
	2位	平成29年度 回答数		34	66	88	51	11	28	18	6	9	2	3	0	6	322
		割合		10.6%	20.5%	27.3%	15.8%	3.4%	8.7%	5.6%	1.9%	2.8%	0.6%	0.9%	0.0%	1.9%	100.0%
平成30年度 回答数			27	56	64	41	12	19	17	11	3	2	9	2	7	270	
割合			10.0%	20.7%	23.7%	15.2%	4.4%	7.0%	6.3%	4.1%	1.1%	0.7%	3.3%	0.7%	2.6%	100.0%	
令和元年度 回答数			24	58	65	49	7	17	11	15	8	9	3	0	5	271	
割合			8.9%	21.4%	24.0%	18.1%	2.6%	6.3%	4.1%	5.5%	3.0%	3.3%	1.1%	0.0%	1.8%	100.0%	
令和3年度 回答数			33	63	68	43	6	23	33	11	7	6	22	2	7	324	
割合			10.2%	19.4%	21.0%	13.3%	1.9%	7.1%	10.2%	3.4%	2.2%	1.9%	6.8%	0.6%	2.2%	100.0%	
3位		平成29年度 回答数		33	64	69	37	7	30	25	20	2	5	7	0	23	322
		割合		10.2%	19.9%	21.4%	11.5%	2.2%	9.3%	7.8%	6.2%	0.6%	1.6%	2.2%	0.0%	7.1%	100.0%
	平成30年度 回答数		22	30	56	32	12	29	30	16	8	5	12	0	18	270	
	割合		8.1%	11.1%	20.7%	11.9%	4.4%	10.7%	11.1%	5.9%	3.0%	1.9%	4.4%	0.0%	6.7%	100.0%	
	令和元年度 回答数		20	26	40	36	14	38	31	17	6	13	17	0	13	271	
	割合		7.4%	9.6%	14.8%	13.3%	5.2%	14.0%	11.4%	6.3%	2.2%	4.8%	6.3%	0.0%	4.8%	100.0%	
	令和3年度 回答数		32	33	58	41	14	33	28	22	6	13	18	1	25	324	
	割合		9.9%	10.2%	17.9%	12.7%	4.3%	10.2%	8.6%	6.8%	1.9%	4.0%	5.6%	0.3%	7.7%	100.0%	
	合計	平成29年度 回答数		82	242	212	119	26	82	64	61	14	12	17	6	29	322
		割合		25.5%	75.2%	65.8%	37.0%	8.1%	25.5%	19.9%	18.9%	4.3%	3.7%	5.3%	1.9%	9.0%	100.0%
平成30年度 回答数			66	210	167	94	31	59	56	55	11	9	24	3	25	270	
割合			24.4%	77.8%	61.9%	34.8%	11.5%	21.9%	20.7%	20.4%	4.1%	3.3%	8.9%	1.1%	9.3%	100.0%	
令和元年度 回答数			61	206	164	104	26	58	52	63	15	23	22	1	18	271	
割合			22.5%	76.0%	60.5%	38.4%	9.6%	21.4%	19.2%	23.2%	5.5%	8.5%	8.1%	0.4%	6.6%	100.0%	
令和3年度 回答数			84	237	193	105	24	60	80	69	16	22	44	6	32	324	
割合			25.9%	73.1%	59.6%	32.4%	7.4%	18.5%	24.7%	21.3%	4.9%	6.8%	13.6%	1.9%	9.9%	100.0%	

7. 予備試験受験予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生の、大学在学中の予備試験受験予定について、平成29年度以降、「受験するつもりである(受験したことがある)」との回答割合は約40%であったところ、令和3年度調査においては33%と、令和元年度に比して7ポイント以上減少している。

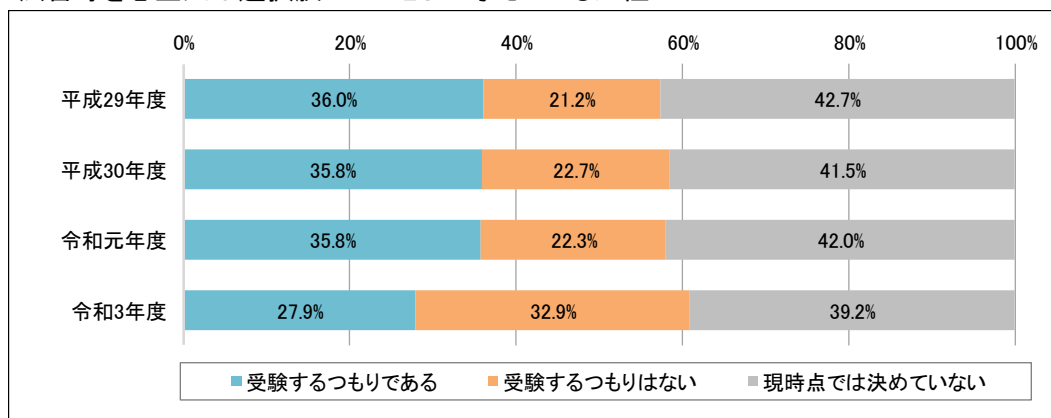
女性に限って見た場合、大学在学中に予備試験を受験する予定と回答した学生の割合は、全体に比して相対的に低いが、経年変化は全体と変わらず、平成29年度から令和元年度はほぼ同数で推移し、令和3年度に減少している。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	受験するつもりである	受験するつもりはない	現時点では決めていない	回答者数
平成29年度	回答数	904	420	888	2,212
	割合	40.9%	19.0%	40.1%	100.0%
平成30年度	回答数	727	353	671	1,751
	割合	41.5%	20.2%	38.3%	100.0%
令和元年度	回答数	616	299	600	1,515
	割合	40.7%	19.7%	39.6%	100.0%
令和3年度	回答数	781	723	862	2,366
	割合	33.0%	30.6%	36.4%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	受験するつもりである	受験するつもりはない	現時点では決めていない	回答者数
平成29年度	回答数	285	168	338	791
	割合	36.0%	21.2%	42.7%	100.0%
平成30年度	回答数	238	151	276	665
	割合	35.8%	22.7%	41.5%	100.0%
令和元年度	回答数	207	129	243	579
	割合	35.8%	22.3%	42.0%	100.0%
令和3年度	回答数	284	335	399	1,018
	割合	27.9%	32.9%	39.2%	100.0%

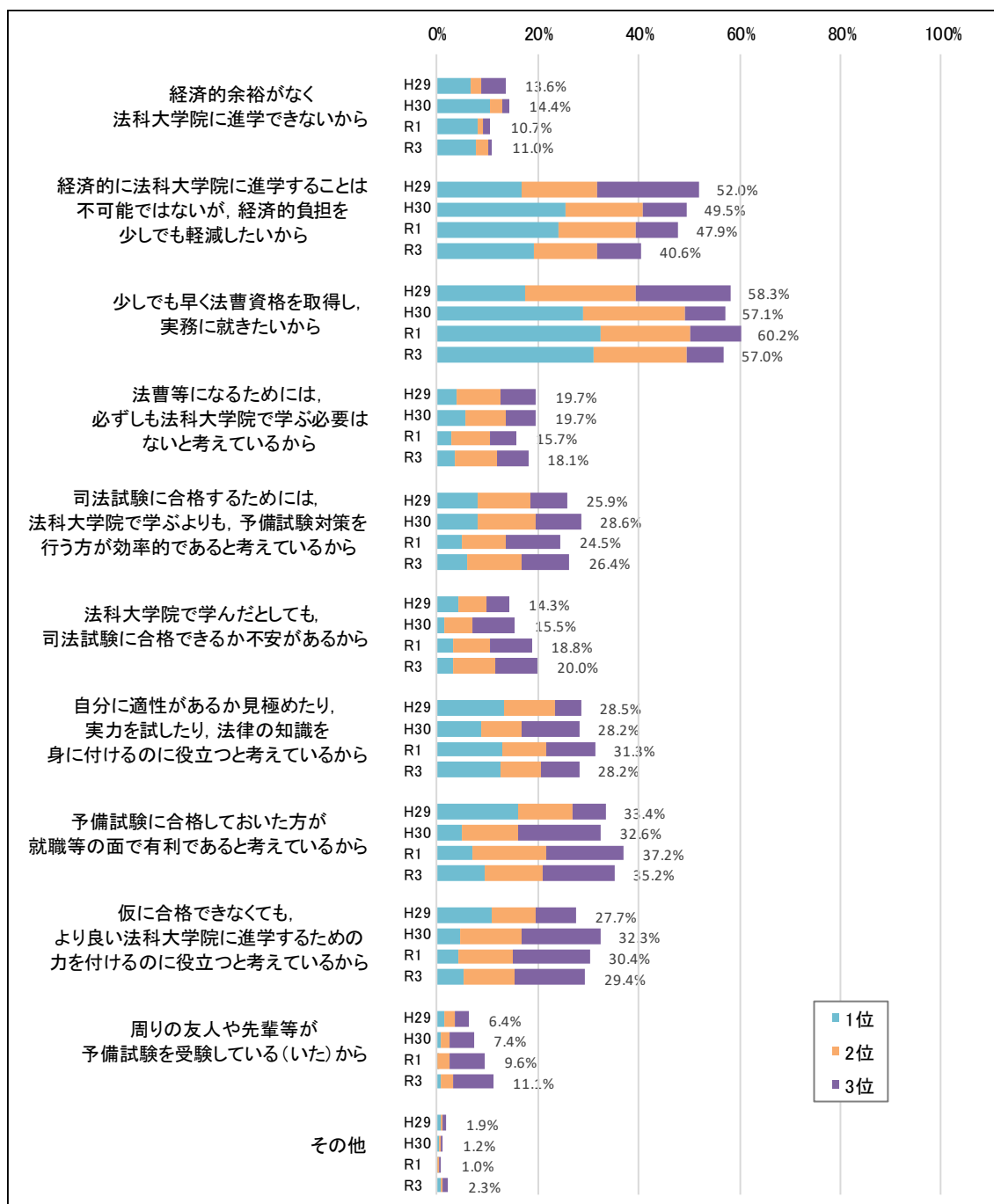
8. 予備試験受験理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験予定であると回答した学生に、予備試験の受験理由を尋ねた結果、「少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから」の回答割合が約60%で最多であった。次いで「経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから」の回答割合が高いが、本回答割合については、平成29年度の52%から一貫して減少しており、令和3年度は約41%となっている。

女性に限って見た場合もほぼ同様である。

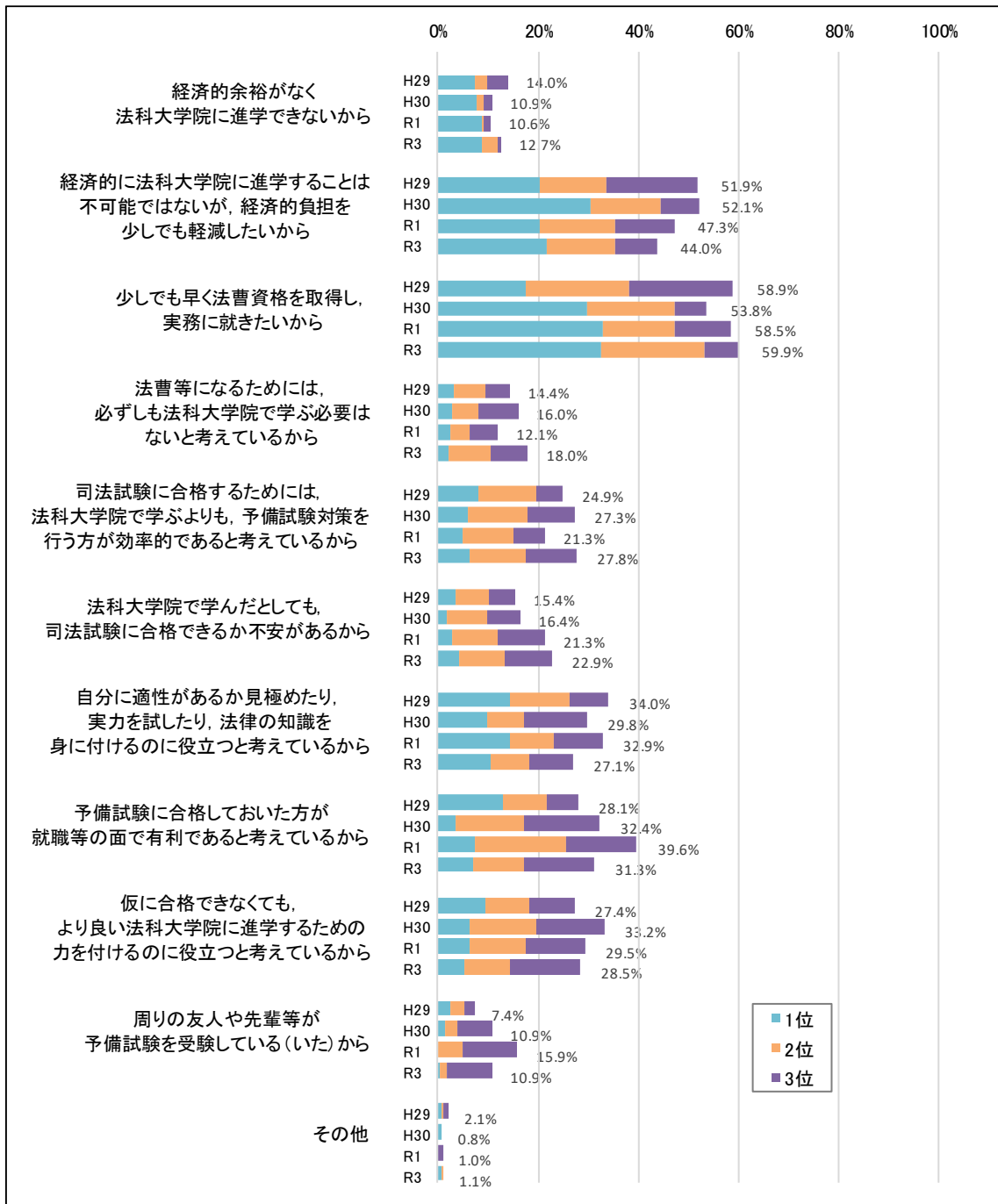
なお、「その他」として、令和3年度調査では「予備試験を受けて早期に合格出来れば社会人になるのも早いから、収入が早く安定する」、「予備試験合格者の司法試験合格率が高いから」、「予備試験ルート合格者の方が就職その他の面で優遇されると聞くから」、「実力を試す、選択肢を増やすため」、「予備試験のために勉強することが大学院に進学するとしても役に立つから」、「法科大学院の課題に追われ、資格試験の学習に支障が出ている人を数名知っているため」、「法科大学院に進んだのちに司法試験に落ちた時に、就職に不利になる可能性があるから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



	SA	選考用紙	経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから	経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから	少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから	司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから	法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから	自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから	予備試験に合格した方が就職等の面で有利であると考えているから	仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから	周りの友人や先輩等が予備試験を受験している(いた)から	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度 回答数	61	151	159	37	74	38	119	146	97	14	8	0	904	
	割合	6.7%	16.7%	17.6%	4.1%	8.2%	4.2%	13.2%	16.2%	10.7%	1.5%	0.9%	0.0%	100.0%	
	平成30年度 回答数	76	185	210	41	60	12	63	36	34	6	4	0	727	
	割合	10.5%	25.4%	28.9%	5.6%	8.3%	1.7%	8.7%	5.0%	4.7%	0.8%	0.6%	0.0%	100.0%	
	令和元年度 回答数	49	149	200	18	30	19	80	43	26	1	1	0	616	
	割合	8.0%	24.2%	32.5%	2.9%	4.9%	3.1%	13.0%	7.0%	4.2%	0.2%	0.2%	0.0%	100.0%	
	令和3年度 回答数	61	150	244	27	48	24	99	73	41	7	7	0	781	
	割合	7.8%	19.2%	31.2%	3.5%	6.1%	3.1%	12.7%	9.3%	5.2%	0.9%	0.9%	0.0%	100.0%	
	平成29年度 回答数	18	135	197	77	94	50	92	96	79	18	3	45	904	
	割合	2.0%	14.9%	21.8%	8.5%	10.4%	5.5%	10.2%	10.6%	8.7%	2.0%	0.3%	5.0%	100.0%	
2位	平成30年度 回答数	18	113	147	59	82	40	60	80	87	12	2	27	727	
	割合	2.5%	15.5%	20.2%	8.1%	11.3%	5.5%	8.3%	11.0%	12.0%	1.7%	0.3%	3.7%	100.0%	
	令和元年度 回答数	8	94	110	46	54	47	53	91	67	15	1	30	616	
	割合	1.3%	15.3%	17.9%	7.5%	8.8%	7.6%	8.6%	14.8%	10.9%	2.4%	0.2%	4.9%	100.0%	
	令和3年度 回答数	18	99	143	66	83	67	63	92	80	17	2	51	781	
	割合	2.3%	12.7%	18.3%	8.5%	10.6%	8.6%	8.1%	11.8%	10.2%	2.2%	0.3%	6.5%	100.0%	
	平成29年度 回答数	44	184	171	64	66	41	47	60	74	26	6	121	904	
	割合	4.9%	20.4%	18.9%	7.1%	7.3%	4.5%	5.2%	6.6%	8.2%	2.9%	0.7%	13.4%	100.0%	
	平成30年度 回答数	11	62	58	43	66	61	82	121	114	36	3	70	727	
	割合	1.5%	8.5%	8.0%	5.9%	9.1%	8.4%	11.3%	16.6%	15.7%	5.0%	0.4%	9.6%	100.0%	
3位	令和元年度 回答数	9	52	61	33	67	50	60	95	94	43	4	48	616	
	割合	1.5%	8.4%	9.9%	5.4%	10.9%	8.1%	9.7%	15.4%	15.3%	7.0%	0.6%	7.8%	100.0%	
	令和3年度 回答数	7	68	58	48	75	65	58	110	109	63	9	111	781	
	割合	0.9%	8.7%	7.4%	6.1%	9.6%	8.3%	7.4%	14.1%	14.0%	8.1%	1.2%	14.2%	100.0%	
	合計 平成29年度 回答数	123	470	527	178	234	129	258	302	250	58	17	166	904	
	割合	13.6%	52.0%	58.3%	19.7%	25.9%	14.3%	28.5%	33.4%	27.7%	6.4%	1.9%	18.4%	100.0%	
	平成30年度 回答数	105	360	415	143	208	113	205	237	235	54	9	97	727	
	割合	14.4%	49.5%	57.1%	19.7%	28.6%	15.5%	28.2%	32.6%	32.3%	7.4%	1.2%	13.3%	100.0%	
	令和元年度 回答数	66	295	371	97	151	116	193	229	187	59	6	78	616	
	割合	10.7%	47.9%	60.2%	15.7%	24.5%	18.8%	31.3%	37.2%	30.4%	9.6%	1.0%	12.7%	100.0%	
令和3年度 回答数	86	317	445	141	206	156	220	275	230	87	18	162	781		
割合	11.0%	40.6%	57.0%	18.1%	26.4%	20.0%	28.2%	35.2%	29.4%	11.1%	2.3%	20.7%	100.0%		

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



	SA	選択肢	経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから	経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから	少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから	司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから	法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから	自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから	予備試験に合格した方が就職等の面で有利であると考えているから	仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから	周りの友人や先輩等が予備試験を受験している(いた)から	その他	選択無し	回答者数	
1位	平成29年度	回答数	21	58	50	9	23	10	41	37	27	7	2	0	285	
		割合	7.4%	20.4%	17.5%	3.2%	8.1%	3.5%	14.4%	13.0%	9.5%	2.5%	0.7%	0.0%	100.0%	
	平成30年度	回答数	18	73	71	7	14	4	23	8	15	3	2	0	238	
		割合	7.6%	30.7%	29.8%	2.9%	5.9%	1.7%	9.7%	3.4%	6.3%	1.3%	0.8%	0.0%	100.0%	
	令和元年度	回答数	18	42	68	5	10	6	30	15	13	0	0	0	207	
		割合	8.7%	20.3%	32.9%	2.4%	4.8%	2.9%	14.5%	7.2%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	令和3年度	回答数	25	62	93	6	18	12	30	20	15	1	2	0	284	
		割合	8.8%	21.8%	32.7%	2.1%	6.3%	4.2%	10.6%	7.0%	5.3%	0.4%	0.7%	0.0%	100.0%	
	2位	平成29年度	回答数	7	38	59	18	33	19	34	25	25	8	1	18	285
			割合	2.5%	13.3%	20.7%	6.3%	11.6%	6.7%	11.9%	8.8%	8.8%	2.8%	0.4%	6.3%	100.0%
平成30年度		回答数	4	33	42	12	29	19	18	33	32	6	0	10	238	
		割合	1.7%	13.9%	17.6%	5.0%	12.2%	8.0%	7.6%	13.9%	13.4%	2.5%	0.0%	4.2%	100.0%	
令和元年度		回答数	1	31	30	8	21	19	18	38	23	10	0	8	207	
		割合	0.5%	15.0%	14.5%	3.9%	10.1%	9.2%	8.7%	18.4%	11.1%	4.8%	0.0%	3.9%	100.0%	
令和3年度		回答数	9	39	58	24	32	26	22	29	26	4	1	14	284	
		割合	3.2%	13.7%	20.4%	8.5%	11.3%	9.2%	7.7%	10.2%	9.2%	1.4%	0.4%	4.9%	100.0%	
3位		平成29年度	回答数	12	52	59	14	15	15	22	18	26	6	3	43	285
			割合	4.2%	18.2%	20.7%	4.9%	5.3%	5.3%	7.7%	6.3%	9.1%	2.1%	1.1%	15.1%	100.0%
	平成30年度	回答数	4	18	15	19	22	16	30	36	32	17	0	29	238	
		割合	1.7%	7.6%	6.3%	8.0%	9.2%	6.7%	12.6%	15.1%	13.4%	7.1%	0.0%	12.2%	100.0%	
	令和元年度	回答数	3	25	23	12	13	19	20	29	25	23	2	13	207	
		割合	1.4%	12.1%	11.1%	5.8%	6.3%	9.2%	9.7%	14.0%	12.1%	11.1%	1.0%	6.3%	100.0%	
	令和3年度	回答数	2	24	19	21	29	27	25	40	40	26	0	31	284	
		割合	0.7%	8.5%	6.7%	7.4%	10.2%	9.5%	8.8%	14.1%	14.1%	9.2%	0.0%	10.9%	100.0%	
	合計	平成29年度	回答数	40	148	168	41	71	44	97	80	78	21	6	61	285
			割合	14.0%	51.9%	58.9%	14.4%	24.9%	15.4%	34.0%	28.1%	27.4%	7.4%	2.1%	21.4%	100.0%
平成30年度		回答数	26	124	128	38	65	39	71	77	79	26	2	39	238	
		割合	10.9%	52.1%	53.8%	16.0%	27.3%	16.4%	29.8%	32.4%	33.2%	10.9%	0.8%	16.4%	100.0%	
令和元年度		回答数	22	98	121	25	44	44	68	82	61	33	2	21	207	
		割合	10.6%	47.3%	58.5%	12.1%	21.3%	21.3%	32.9%	39.6%	29.5%	15.9%	1.0%	10.1%	100.0%	
令和3年度		回答数	36	125	170	51	79	65	77	89	81	31	3	45	284	
		割合	12.7%	44.0%	59.9%	18.0%	27.8%	22.9%	27.1%	31.3%	28.5%	10.9%	1.1%	15.8%	100.0%	

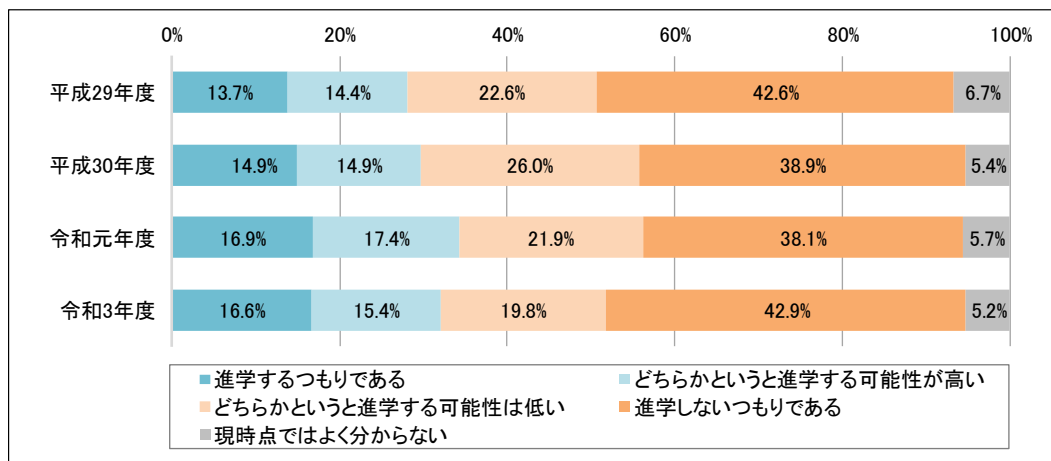
9. 予備試験に合格した場合の法科大学院進学予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験予定であると回答した学生に、予備試験に合格した場合の法科大学院進学予定を尋ねた結果、「進学するつもりである」と「どちらかというに進学する可能性が高い」との回答割合の合計は約30%であった。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

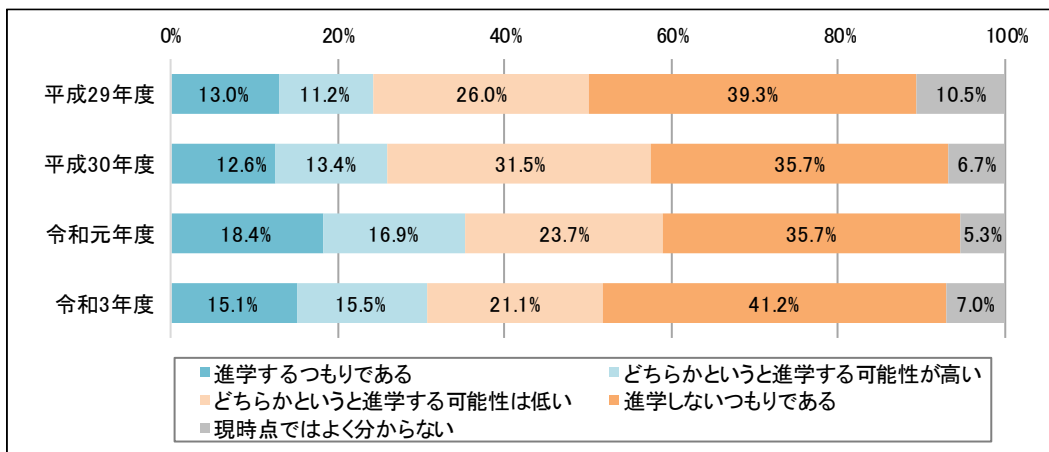
また、法曹等を志望している学生に限定した場合には、「進学するつもりである」と「どちらかというに進学する可能性が高い」との回答割合の合計は35%であった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



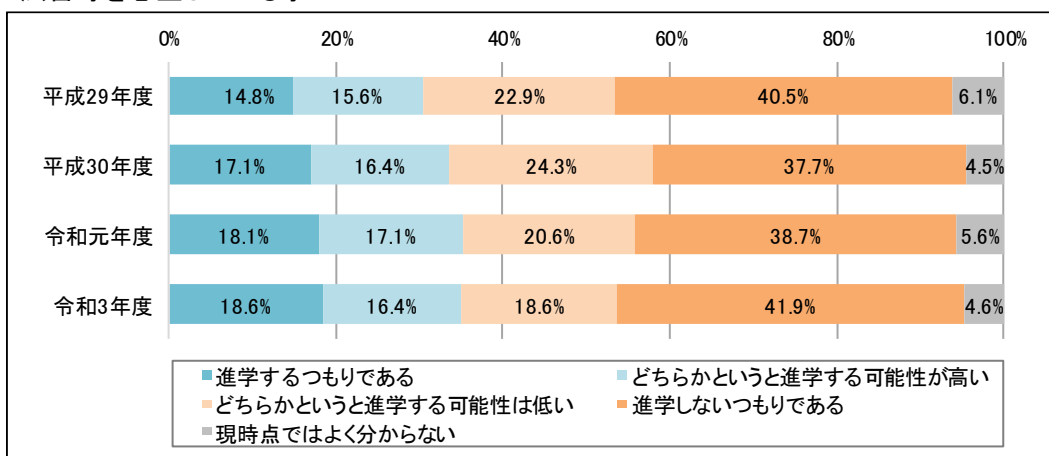
SA	選択肢	進学するつもりである	どちらかというに進学する可能性が高い	どちらかというに進学する可能性は低い	進学しないつもりである	現時点ではよく分からない	回答者数
平成29年度	回答数	124	130	204	385	61	904
	割合	13.7%	14.4%	22.6%	42.6%	6.7%	100.0%
平成30年度	回答数	108	108	189	283	39	727
	割合	14.9%	14.9%	26.0%	38.9%	5.4%	100.0%
令和元年度	回答数	104	107	135	235	35	616
	割合	16.9%	17.4%	21.9%	38.1%	5.7%	100.0%
令和3年度	回答数	130	120	155	335	41	781
	割合	16.6%	15.4%	19.8%	42.9%	5.2%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	進学するつもりである	どちらかというに進学する可能性が高い	どちらかというに進学する可能性は低い	進学しないつもりである	現時点ではよく分からない	回答者数
平成 29 年度	回答数	37	32	74	112	30	285
	割合	13.0%	11.2%	26.0%	39.3%	10.5%	100.0%
平成 30 年度	回答数	30	32	75	85	16	238
	割合	12.6%	13.4%	31.5%	35.7%	6.7%	100.0%
令和元年度	回答数	38	35	49	74	11	207
	割合	18.4%	16.9%	23.7%	35.7%	5.3%	100.0%
令和 3 年度	回答数	43	44	60	117	20	284
	割合	15.1%	15.5%	21.1%	41.2%	7.0%	100.0%

ウ 法曹等を志望している学生



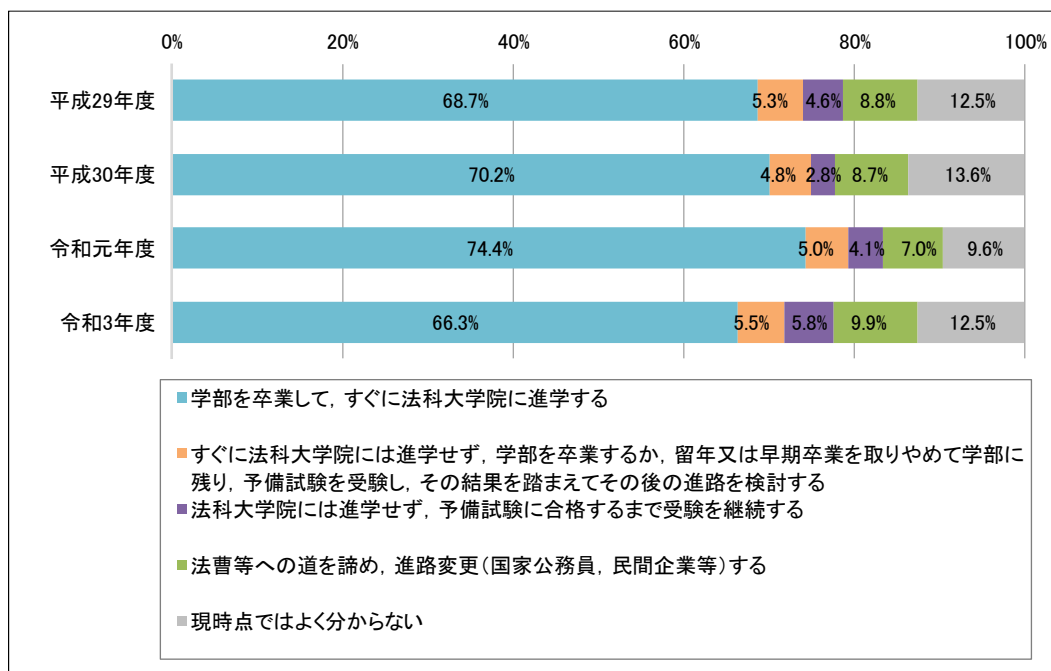
SA	選択肢	進学するつもりである	どちらかというに進学する可能性が高い	どちらかというに進学する可能性は低い	進学しないつもりである	現時点ではよく分からない	回答者数
平成 29 年度	回答数	106	112	164	290	44	716
	割合	14.8%	15.6%	22.9%	40.5%	6.1%	100.0%
平成 30 年度	回答数	100	96	142	220	26	584
	割合	17.1%	16.4%	24.3%	37.7%	4.5%	100.0%
令和元年度	回答数	94	89	107	201	29	520
	割合	18.1%	17.1%	20.6%	38.7%	5.6%	100.0%
令和 3 年度	回答数	113	100	113	255	28	609
	割合	18.6%	16.4%	18.6%	41.9%	4.6%	100.0%

10. 予備試験に合格しなかった場合の法科大学院進学予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験予定であると回答した学生に、在学中に予備試験に合格しなかった場合の進路について尋ねた結果、「学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する」との回答割合が最も高く、70%前後であった。

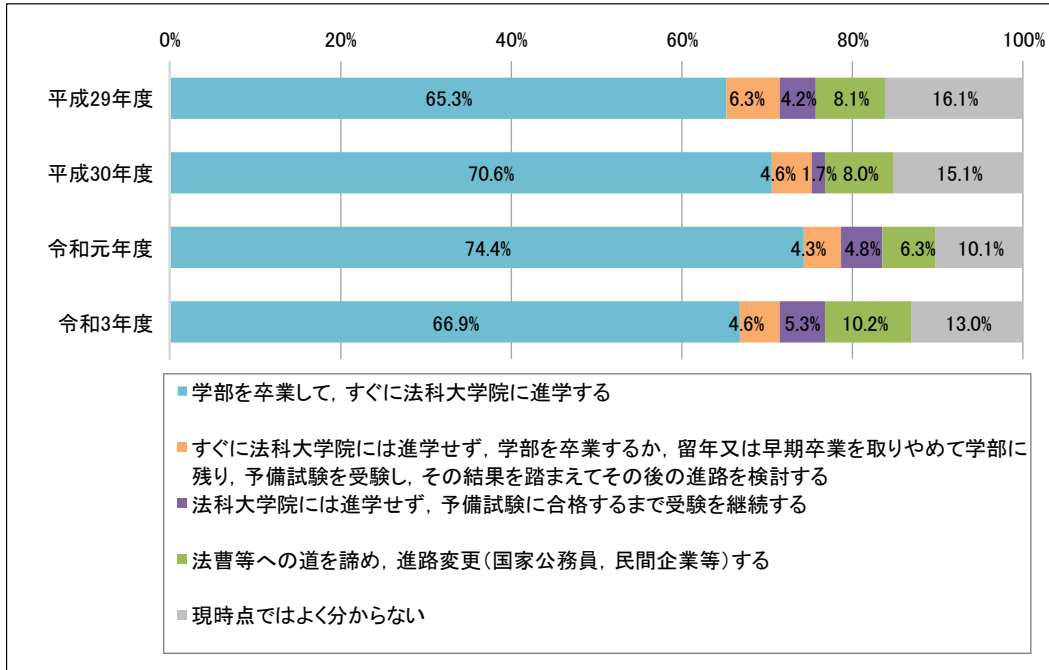
「現時点ではよく分からない」を除くその他の選択肢の回答割合は、おおむね5～10%にとどまった。女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業するか、留年又は早期卒業を取りやめて学部に残り、予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	現時点ではよく分からない	回答者数
平成29年度	回答数	621	48	42	80	113	904
	割合	68.7%	5.3%	4.6%	8.8%	12.5%	100.0%
平成30年度	回答数	510	35	20	63	99	727
	割合	70.2%	4.8%	2.8%	8.7%	13.6%	100.0%
令和元年度	回答数	458	31	25	43	59	616
	割合	74.4%	5.0%	4.1%	7.0%	9.6%	100.0%
令和3年度	回答数	518	43	45	77	98	781
	割合	66.3%	5.5%	5.8%	9.9%	12.5%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業するか、留年又は早期卒業を取りやめて学部に残り、予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	現時点ではよく分からない	回答者数
平成29年度	回答数	186	18	12	23	46	285
	割合	65.3%	6.3%	4.2%	8.1%	16.1%	100.0%
平成30年度	回答数	168	11	4	19	36	238
	割合	70.6%	4.6%	1.7%	8.0%	15.1%	100.0%
令和元年度	回答数	154	9	10	13	21	207
	割合	74.4%	4.3%	4.8%	6.3%	10.1%	100.0%
令和3年度	回答数	190	13	15	29	37	284
	割合	66.9%	4.6%	5.3%	10.2%	13.0%	100.0%

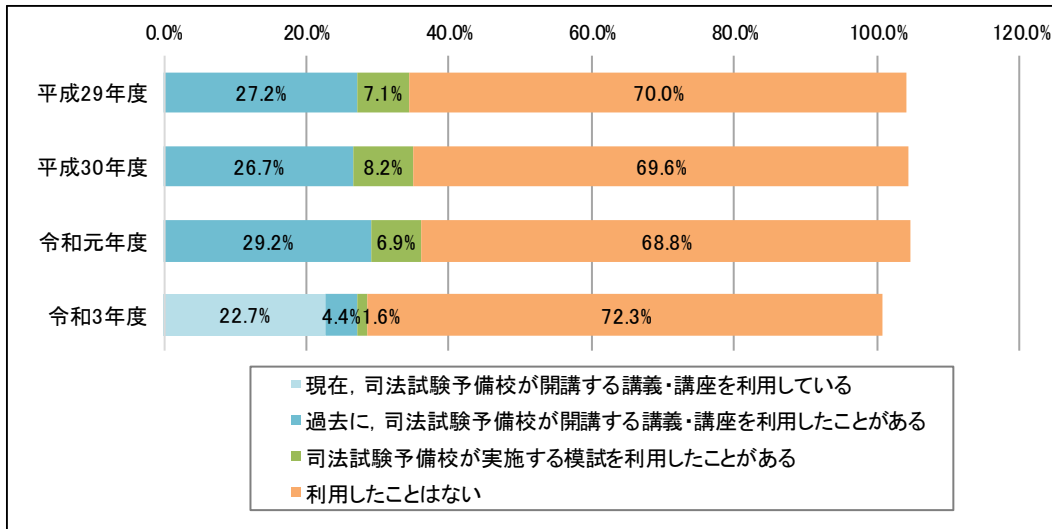
11. 司法試験予備校の利用の有無

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、司法試験予備校を利用したことがあるかを尋ねた結果、30%前後の学生が、現在利用している又は利用したことがあると回答した。ただし、その割合は平成29年度以降減少傾向にある。

女性に限って見た場合もほぼ同様である。

法曹等を志望している学生についてのみ見た場合には、司法試験予備校を現在利用している又は利用したことがあると回答した学生の割合は50%を超えていた。

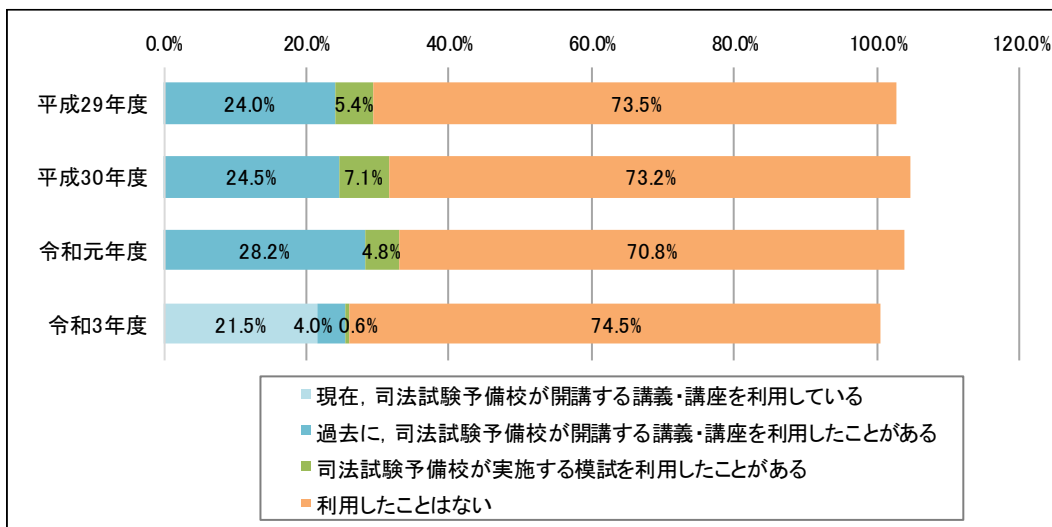
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している	過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
平成29年度	回答数	-	602	157	1,548	2,212
	割合	-	27.2%	7.1%	70.0%	-
平成30年度	回答数	-	467	144	1,219	1,751
	割合	-	26.7%	8.2%	69.6%	-
令和元年度	回答数	-	442	104	1,043	1,515
	割合	-	29.2%	6.9%	68.8%	-
令和3年度	回答数	537	104	37	1,710	2,366
	割合	22.7%	4.4%	1.6%	72.3%	-

※最初の選択肢(現在、予備校を利用している)は令和3年度調査から新たに設けたもの

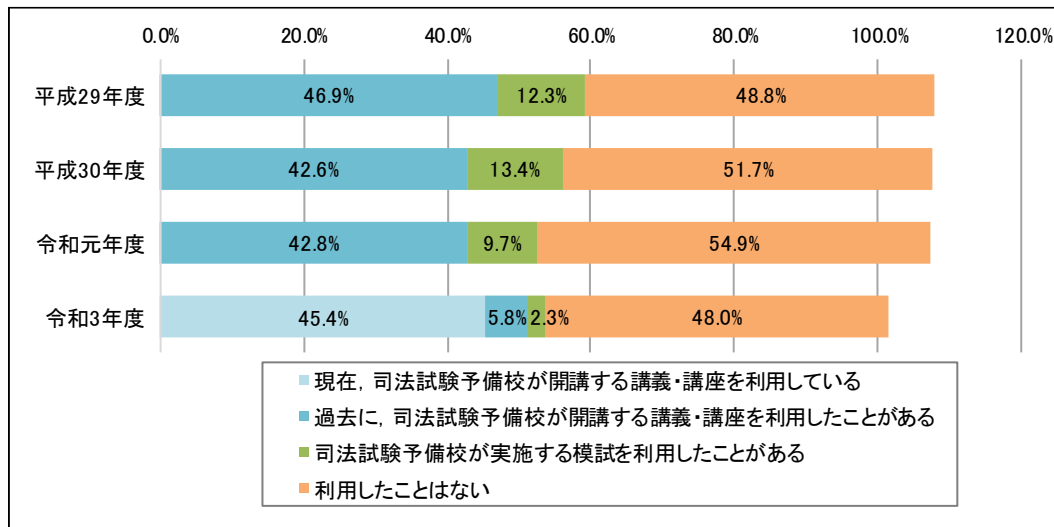
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している	過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
平成29年度	回答数	-	190	43	581	791
	割合	-	24.0%	5.4%	73.5%	-
平成30年度	回答数	-	163	47	487	665
	割合	-	24.5%	7.1%	73.2%	-
令和元年度	回答数	-	163	28	410	579
	割合	-	28.2%	4.8%	70.8%	-
令和3年度	回答数	219	41	6	758	1,018
	割合	21.5%	4.0%	0.6%	74.5%	-

※最初の選択肢(現在、予備校を利用している)は令和3年度調査から新たに設けたもの

ウ 法曹等を志望している学生



MA	選択肢	現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している	過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
平成29年度	回答数	-	507	133	528	1,081
	割合	-	46.9%	12.3%	48.8%	-
平成30年度	回答数	-	376	118	456	882
	割合	-	42.6%	13.4%	51.7%	-
令和元年度	回答数	-	368	83	472	860
	割合	-	42.8%	9.7%	54.9%	-
令和3年度	回答数	449	57	23	475	989
	割合	45.4%	5.8%	2.3%	48.0%	-

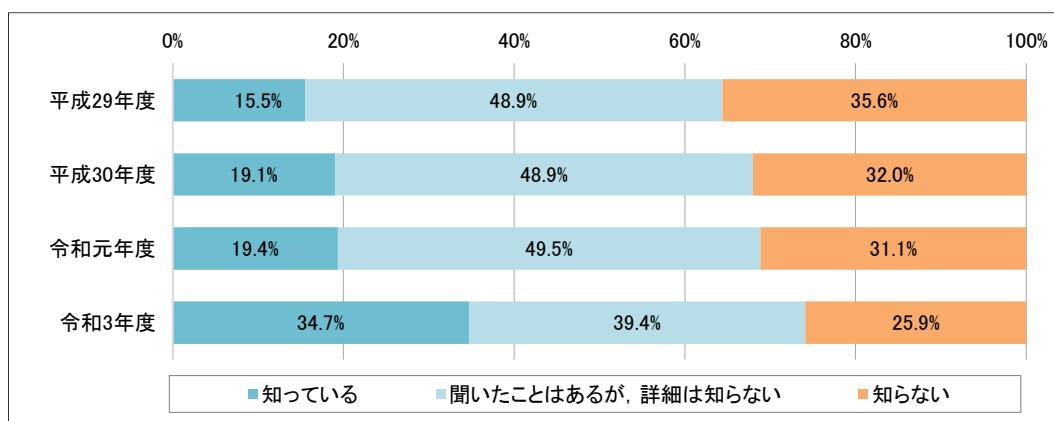
※最初の選択肢(現在、予備校を利用している)は令和3年度調査から新たに設けたもの

第7 法曹等の活動領域拡大についての認知度・関心

1. 法曹等の活動領域拡大についての認知度

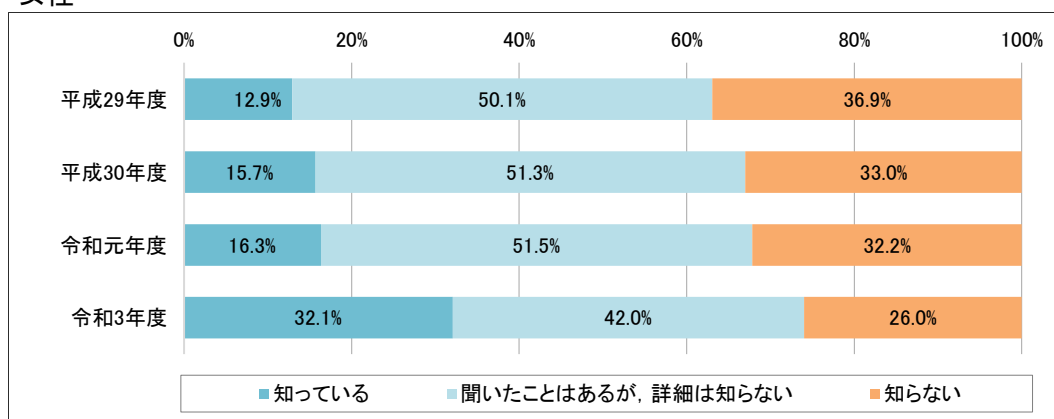
法曹等の活動領域の広がりについての認知度は向上しており、令和3年度調査では「知っている」との回答割合は30%を超え、「聞いたことはあるが、詳細は知らない」を合わせると70%を超えている。同回答割合は、現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生においては90%、法曹等を志望している学生においては95%に及び、法曹等を志望していない学生においても65%以上に認知されている。

ア 全学生



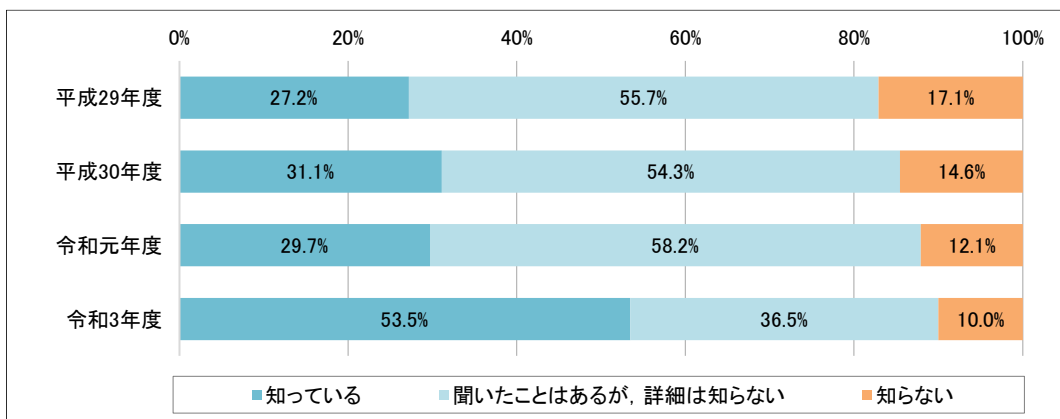
SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成29年度	回答数	1,498	4,720	3,440	9,658
	割合	15.5%	48.9%	35.6%	100.0%
平成30年度	回答数	1,285	3,296	2,158	6,739
	割合	19.1%	48.9%	32.0%	100.0%
令和元年度	回答数	1,126	2,877	1,811	5,814
	割合	19.4%	49.5%	31.1%	100.0%
令和3年度	回答数	2,401	2,721	1,789	6,911
	割合	34.7%	39.4%	25.9%	100.0%

イ 女性



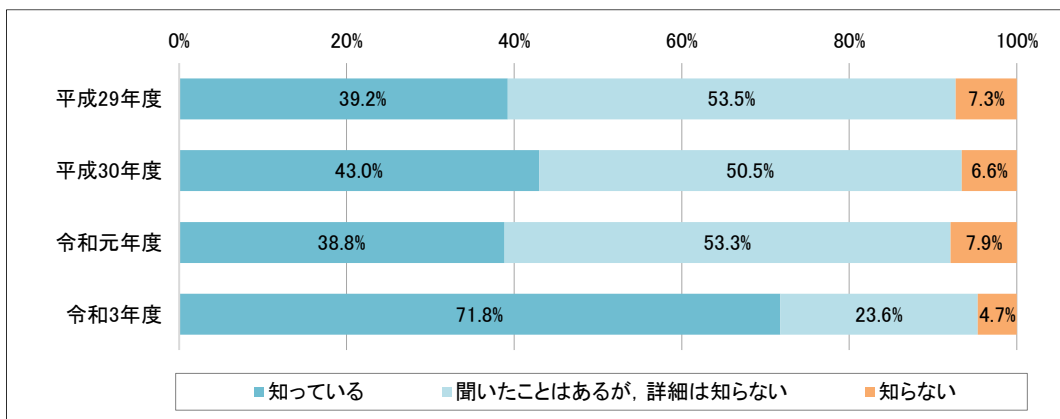
SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成29年度	回答数	511	1,984	1,462	3,957
	割合	12.9%	50.1%	36.9%	100.0%
平成30年度	回答数	458	1,498	963	2,919
	割合	15.7%	51.3%	33.0%	100.0%
令和元年度	回答数	414	1,304	815	2,533
	割合	16.3%	51.5%	32.2%	100.0%
令和3年度	回答数	1,032	1,350	836	3,218
	割合	32.1%	42.0%	26.0%	100.0%

ウ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



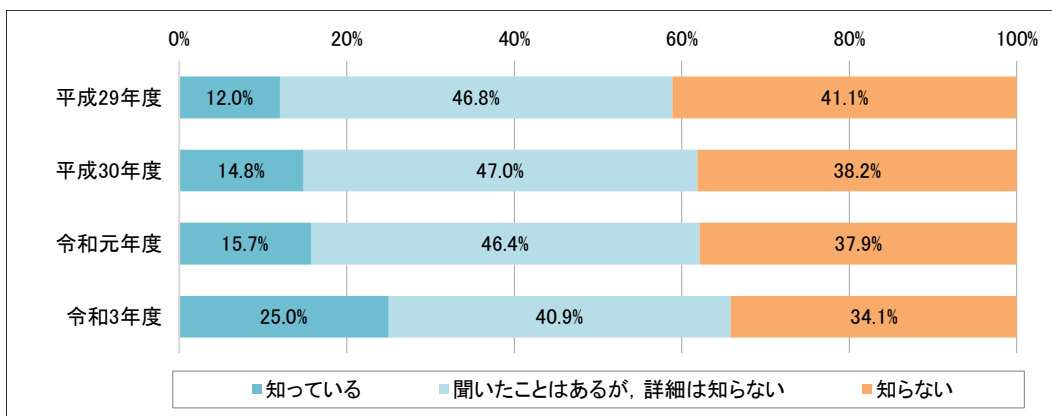
SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成 29 年度	回答数	602	1,232	378	2,212
	割合	27.2%	55.7%	17.1%	100.0%
平成 30 年度	回答数	545	951	255	1,751
	割合	31.1%	54.3%	14.6%	100.0%
令和元年度	回答数	450	882	183	1,515
	割合	29.7%	58.2%	12.1%	100.0%
令和 3 年度	回答数	1,265	864	237	2,366
	割合	53.5%	36.5%	10.0%	100.0%

エ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成 29 年度	回答数	424	578	79	1,081
	割合	39.2%	53.5%	7.3%	100.0%
平成 30 年度	回答数	379	445	58	882
	割合	43.0%	50.5%	6.6%	100.0%
令和元年度	回答数	334	458	68	860
	割合	38.8%	53.3%	7.9%	100.0%
令和 3 年度	回答数	710	233	46	989
	割合	71.8%	23.6%	4.7%	100.0%

オ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生

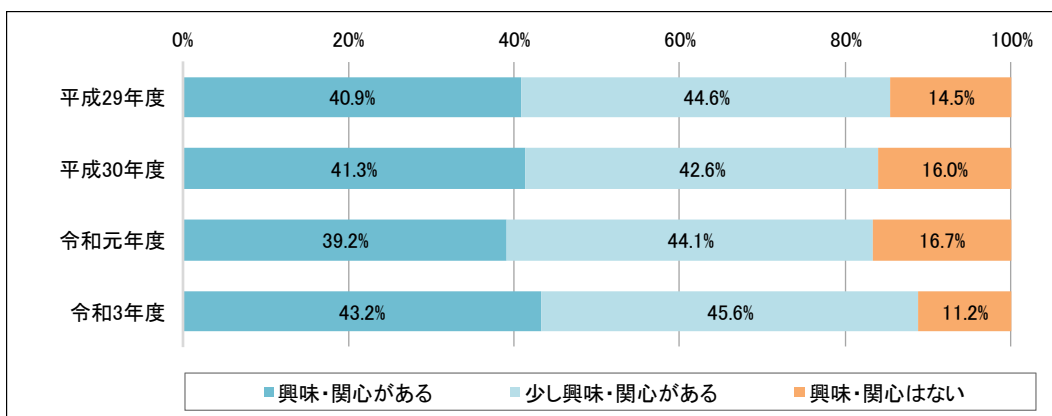


SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成 29 年度	回答数	896	3,488	3,062	7,446
	割合	12.0%	46.8%	41.1%	100.0%
平成 30 年度	回答数	740	2,345	1,903	4,988
	割合	14.8%	47.0%	38.2%	100.0%
令和元年度	回答数	676	1,995	1,628	4,299
	割合	15.7%	46.4%	37.9%	100.0%
令和 3 年度	回答数	1,136	1,857	1,552	4,545
	割合	25.0%	40.9%	34.1%	100.0%

2. 拡大領域への関心の有無

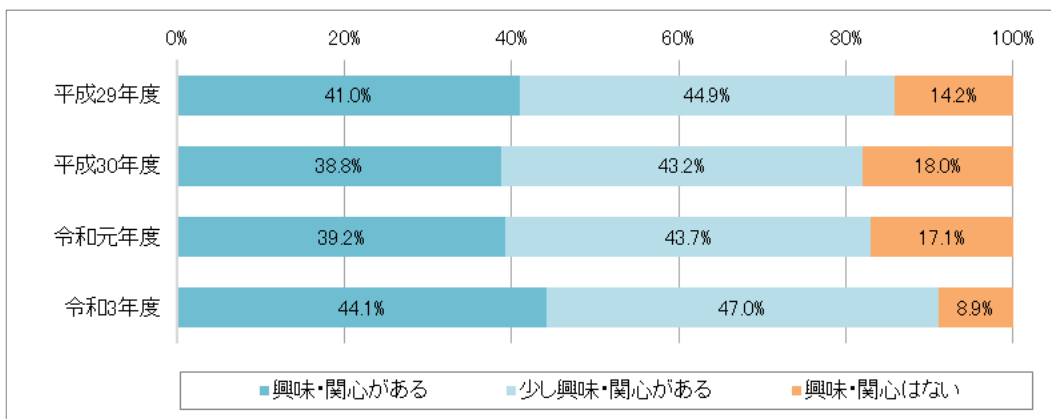
現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、将来の進路を考える上で拡大領域で働くことに興味や関心があるかを尋ねた結果、令和3年度調査では約43%の学生が「興味・関心がある」と回答した。「少し興味・関心がある」と回答した学生と合わせると約90%に及んでおり、両回答の割合は平成30年度以降増加傾向にある。女性に限って見た場合も同様である。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
平成 29 年度	回答数	904	987	321	2,212
	割合	40.9%	44.6%	14.5%	100.0%
平成 30 年度	回答数	724	746	281	1,751
	割合	41.3%	42.6%	16.0%	100.0%
令和元年度	回答数	594	668	253	1,515
	割合	39.2%	44.1%	16.7%	100.0%
令和 3 年度	回答数	1,023	1,078	265	2,366
	割合	43.2%	45.6%	11.2%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



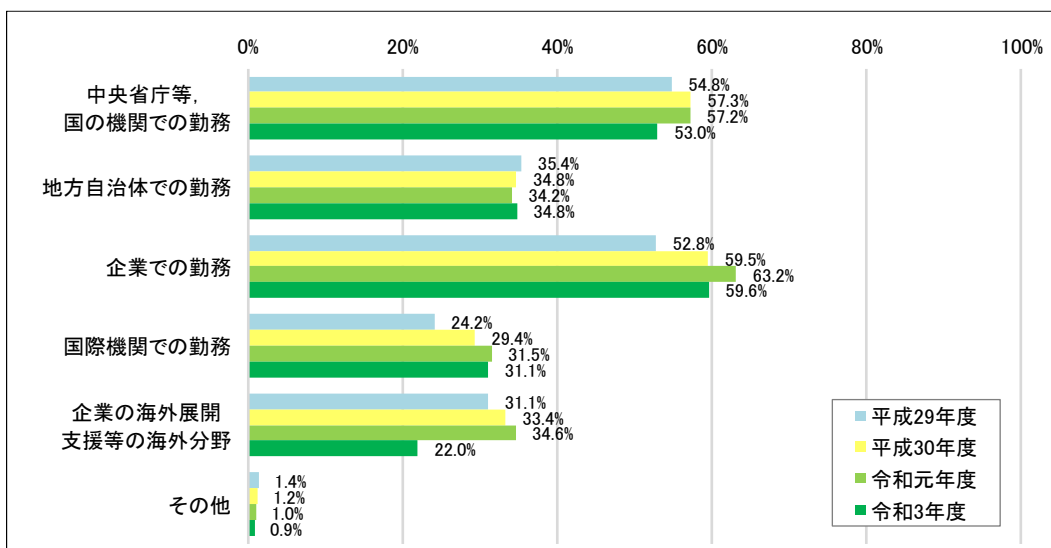
SA	選択肢	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
平成 29 年度	回答数	324	355	112	791
	割合	41.0%	44.9%	14.2%	100.0%
平成 30 年度	回答数	258	287	120	665
	割合	38.8%	43.2%	18.0%	100.0%
令和元年度	回答数	227	253	99	579
	割合	39.2%	43.7%	17.1%	100.0%
令和 3 年度	回答数	449	478	91	1,018
	割合	44.1%	47.0%	8.9%	100.0%

3. 具体的な関心分野

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、拡大領域で働くことに興味や関心がある又は少し興味・関心があると回答した学生に、具体的にどのような分野に興味・関心があるかを尋ねた結果、「企業での勤務」と回答した学生の割合が最も高く(令和3年度調査で約60%)、次いで「中央省庁等、国の機関での勤務」(令和3年度調査で53%)となった。ただし、これらの回答割合は平成29年度から令和元年度までは増加傾向にあったところ、令和3年度調査では減少している。また、「企業の海外展開支援等の海外分野」との回答割合は、令和3年度調査において令和元年度から10ポイント以上減少している。

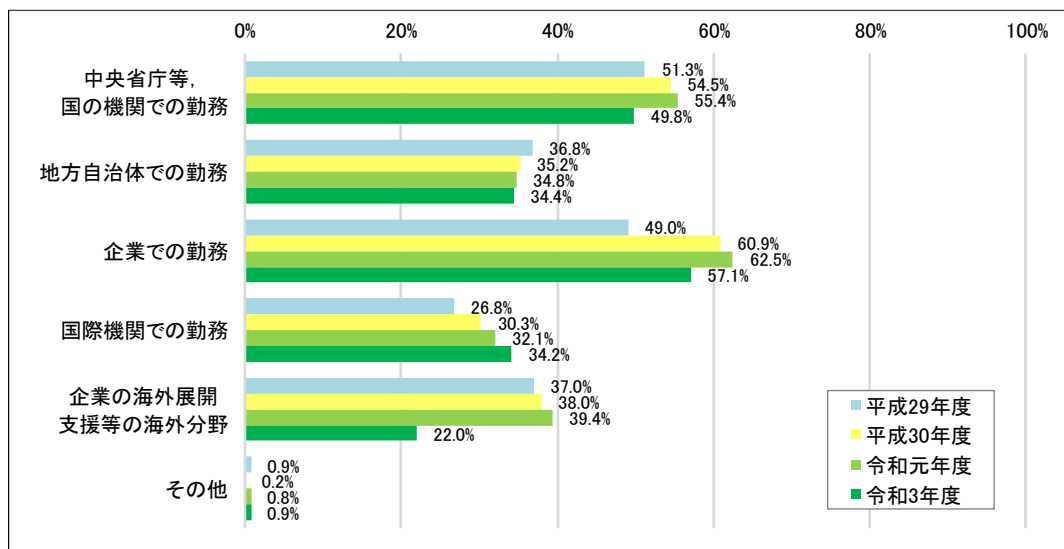
女性に限って見た場合にもほぼ同様である。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	中央省庁等、国の機関での勤務	地方自治体での勤務	企業での勤務	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	その他	回答者数
平成29年度	回答数	1,037	669	999	457	588	27	1,891
	割合	54.8%	35.4%	52.8%	24.2%	31.1%	1.4%	-
平成30年度	回答数	842	511	875	432	491	18	1,470
	割合	57.3%	34.8%	59.5%	29.4%	33.4%	1.2%	-
令和元年度	回答数	722	431	797	398	437	13	1,262
	割合	57.2%	34.2%	63.2%	31.5%	34.6%	1.0%	-
令和3年度	回答数	1,114	731	1,253	653	462	18	2,101
	割合	53.0%	34.8%	59.6%	31.1%	22.0%	0.9%	-

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	中央省庁等、国の機関での勤務	地方自治体での勤務	企業での勤務	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	その他	回答者数
平成29年度	回答数	348	250	333	182	251	6	679
	割合	51.3%	36.8%	49.0%	26.8%	37.0%	0.9%	-
平成30年度	回答数	297	192	332	165	207	1	545
	割合	54.5%	35.2%	60.9%	30.3%	38.0%	0.2%	-
令和元年度	回答数	266	167	300	154	189	4	480
	割合	55.4%	34.8%	62.5%	32.1%	39.4%	0.8%	-
令和3年度	回答数	462	319	529	317	204	8	927
	割合	49.8%	34.4%	57.1%	34.2%	22.0%	0.9%	-